



デバイスマネージャ、リリース
12.1.3

目次

新機能および変更された情報.....	1
物理.....	2
インベントリ.....	2
モジュール - ステータスと構成.....	2
電源ユニット.....	3
温度センサー.....	4
ファン.....	4
スイッチ.....	4
ISL.....	5
NP リンク.....	6
ISL の統計.....	6
ホスト.....	7
エンクロージャ.....	7
Device Manager - 基本設定.....	8
インターフェイス.....	9
仮想インターフェイス グループ.....	11
仮想 FC インターフェイス.....	11
イーサネット インターフェイス.....	12
仮想 FC イーサネット.....	13
クイック構成ツール.....	13
イーサネット インターフェイス.....	14
イーサネット インターフェイス iSCSI.....	15
イーサネット インターフェイス iSCSI TCP.....	16
イーサネット インターフェイス VLAN.....	17
イーサネット VLAN.....	17
FC インターフェイス モニター トラフィック.....	17
FC インターフェイス モニター プロトコル.....	18
FC インターフェイス モニター 破棄.....	18
FC インターフェイス モニター リンク エラー.....	19
FC インターフェイス モニター フレーム エラー.....	19
FC インターフェイス モニター クラス 2 トラフィック.....	20
FC インターフェイス モニター クラス 2 エラー.....	20
FC インターフェイス モニター FICON.....	20
オーバーサブスクリプションの確認.....	21
仮想 FC インターフェイス モニター トラフィック.....	21
仮想 FC インターフェイス モニター 廃棄.....	21
仮想 FC インターフェイス モニター エラー.....	22
イーサネット インターフェイス Dot3Stats.....	22

インターフェイス モニター	23
イーサネット ポートチャンネル	23
イーサネット インターフェイス モニター iSCSI 接続	24
イーサネット インターフェイス モニター TCP	24
FCIP モニター	25
SVC インターフェイスのモニター	25
SVC NPort のモニター	26
SVC セッション FCP のモニター	26
SVC セッション その他のモニター	26
FCIP インターフェイス	27
システム タイムアウト	27
インターフェイス ライセンス	28
全般	28
FC インターフェイス全般	29
FC インターフェイス Rx BB クレジット	31
FC インターフェイスその他	32
FC Interfaces FLOGI	33
FC インターフェイス ELP	34
FC インターフェイス トランク構成	35
FCIP インターフェイスの障害	35
FC インターフェイス IP	36
FC インターフェイス物理	36
FC インターフェイス機能	36
FC インターフェイス FICON ピア	37
インターフェイス NPorts (SVC)	38
インターフェイス セッション	38
IP 統計 TCP	38
ポート チャンネル イーサネット インターフェイス	39
ポート チャンネル FC インターフェイス	39
ポート チャンネル全般	40
FlexAttach グローバル	41
FlexAttach 仮想 PWWN	41
FlexAttach 物理から仮想 WWN へ	41
FIPS	41
FCIP FICON 構成	42
ポート チャンネルの自動作成	42
SPAN セッション	42
Span グローバル	43
SPAN 送信元インターフェイス	43
ポート トラッキングの依存関係	43
ポート トラッキングの強制シャットダウン	43

ポートガード.....	43
帯域幅予約：48ポート96Gbpsファイバチャネルモジュール.....	44
帯域幅予約：48ポート48Gbpsファイバチャネルモジュール.....	44
帯域幅予約：24ポート48Gbpsファイバチャネルモジュール.....	45
帯域幅予約：48ポート256Gbpsファイバチャネルモジュール.....	45
帯域幅予約：32ポート256Gbpsファイバチャネルモジュール.....	46
DS-X9448-768K9 (Luke) ラインカード帯域幅の予約.....	47
FC.....	48
VSAN 全般.....	50
VSAN メンバーシップ.....	51
VSAN Interop-4 WWN.....	51
VSAN タイマー.....	51
VSAN デフォルトゾーンポリシー.....	52
IVR ローカルトポロジ.....	52
IVR ファブリックID.....	52
IVR デフォルトファブリックID ID.....	52
IVR のアクション.....	53
IVR RDI VSAN.....	53
IVR アクティブトポロジ.....	53
IVR ゾーンセットステータス.....	53
IVR の不一致.....	53
IVR ドメイン.....	54
IVR FCID.....	54
IVR Zoneset アクティブゾーン.....	54
IVR Zoneset アクティブゾーン属性.....	54
IVR ゾーンセット名.....	55
DPVM アクション.....	55
DPVM 構成データベース.....	56
DPVM アクティブデータベース.....	56
実行中の Domain Manager.....	56
Domain Manager の構成.....	56
Domain Manager ドメイン.....	58
Domain Manager の統計情報.....	58
Domain Manager インターフェイス.....	58
Domain Manager 永続FCID.....	59
Domain Manager が許可する DomainIds.....	59
Zoneset アクティブゾーン.....	59
Zoneset ゾーンなし.....	60
Zoneset ステータス.....	60
Zoneset ポリシー.....	61
Zoneset アクティブゾーンの属性.....	61

Zoneset を拡張.....	62
Zoneset 読み取り専用違反.....	62
Zoneset 統計.....	62
Zoneset LUN ゾーン分割統計.....	63
Zoneset メンバー.....	63
ファブリック構成サーバーの検出.....	64
ファブリック構成サーバー インターコネクト要素.....	64
Fabric Config Server プラットフォーム (エンクロージャ).....	65
ファブリック構成サーバー ファブリック ポート.....	65
FC ルート.....	65
FDMI HBA.....	66
FDMI ポート.....	66
FDMI バージョン.....	66
フロー統計情報.....	67
FCC.....	67
診断.....	67
FSPF 全般.....	68
FSPF インターフェイス.....	68
FSPF インターフェイスの統計.....	69
SDV 仮想デバイス.....	70
SDV リアルデバイス.....	70
LUN の検出.....	71
LUN ターゲット.....	71
LUN.....	71
デバイス エイリアス.....	72
デバイス エイリアスの構成.....	72
デバイス エイリアスのモード.....	72
デバイス エイリアスの不一致.....	72
ネーム サーバー全般.....	72
ネーム サーバーの詳細.....	73
ネーム サーバー プロキシ.....	73
ネーム サーバー統計情報.....	74
優先パス マップとルート.....	74
アクティブな優先パス マップ.....	74
優先パス すべての一致基準.....	75
優先パスのアクティブな一致基準.....	75
優先パスのすべての設定.....	76
RSCN Nx 登録.....	76
RSCN マルチ PID サポート.....	76
RSCN イベント.....	76
RSCN 統計情報.....	76

マルチキャスト ルート	77
QoS ポリシーマップ	77
QoS クラス マップ	77
QoS 一致ステートメント	77
ポリシー マップによる QoS クラスマップ	78
VSAN による QoS ポリシー マップ	78
QoS DWRR	78
QoS レート制限	78
タイマーとポリシー	78
WWN マネージャ	79
NPV トラフィック マップ	80
NPV ロード バランサ	80
NPV 外部インターフェイスの使用状況	80
NP リンク	81
FCoE	82
構成	82
VSAN-VLAN マッピング	82
VLAN-VSAN マッピング	82
FCoE 統計	82
Ficon	84
FICON VSAN	84
FICON VSAN ファイル	85
グローバル	85
FICON ポート属性	85
FICON ポート構成	86
FICON ポート番号	87
FICON VSAN ディレクタの履歴	87
ファブリック バインド アクション	87
ファブリック バインド構成 データベース	88
ファブリック バインド アクティブ データベース	88
ファブリック バインド データベースの差異	88
ファブリック バインド違反	89
ファブリック バインド統計	89
ファブリック バインド EFMD 統計	90
IP ストレージ	91
FCIP プロファイル	91
FCIP トンネル	92
FCIP トンネル (詳細)	93
FCIP トンネル (FICON TA)	93
FCIP トンネル統計情報	94
FCIP XRC 統計情報	94

iSCSI 接続.....	94
iSCSI イニシエータ	95
iSCSI セッション イニシエータ	96
モジュール制御	96
iSCSI グローバル.....	96
iSCSI セッション 統計情報.....	97
iSCSI ターゲット.....	97
iSCSI iSLB VRRP.....	98
iSCSI イニシエータ アクセス	98
イニシエータの特定のターゲット	98
iSCSI イニシエータ PWWN	99
iSCSI セッション.....	99
iSCSI セッションの詳細	99
IP サービス.....	101
IP ルート	101
IP 統計情報 ICMP	102
IP 統計情報 IP.....	102
IP 統計情報 SNMP	104
IP 統計情報 UDP	105
mgmt0 統計情報.....	106
TCP UDP TCP	106
TCP UDP UDP	106
VRRP 全般.....	106
VRRP IP アドレス	107
VRRP 統計情報.....	107
CDP 全般.....	108
CDP ネイバー	108
iSNS プロファイラ	109
iSNS サーバー	109
iSNS エンティティ	110
iSNS Cloud 検出.....	110
iSNS Cloud.....	111
iSNS Cloud インターフェイス.....	111
モニター ダイアログ コントロール	111
iSNS の詳細 iSCSI ノード	112
iSNS 詳細ポータル	112
セキュリティ	114
セキュリティ ロール	115
セキュリティ ロールのルール	115
機能グループ マネージャ	116
AAA LDAP サーバー	116

AAA サーバー グループ	117
AAA 検索マップ	117
AAA アプリケーション	118
AAA デフォルト	118
AAA 全般	119
AAAの統計情報.....	119
iSCSI ユーザー.....	122
共通ロール.....	122
SNMP セキュリティ ユーザー.....	122
SNMP セキュリティ コミュニティ.....	123
セキュリティ ユーザー グローバル	123
FC-SP 全般/パスワード.....	124
FC-SP インターフェイス.....	124
FC-SP ローカル パスワード	125
FC-SP リモート パスワード	125
FC-SP 統計情報.....	125
FC-SP SA (セキュリティ アソシエーション)	125
FC-SP ESP インターフェイス	125
PKI 全般	126
PKI RSA キー ペア	126
PKI 信頼ポイント	127
PKI 信頼ポイント アクション.....	127
PKI LDAP	128
PKI 認定マップ	128
PKI 認定マップ - アプリケーション	128
PKI 信頼ポイントの詳細	129
IKE グローバル	129
IKE IKE 事前共有認証.....	130
IKE ポリシー	130
IKE イニシエータ バージョン	131
IKE トンネル	131
IPSEC グローバル	131
IPSEC トランスフォーム セット	131
IPSEC クリプト マップ セット エントリ	132
IPSEC インターフェイス.....	132
IPSEC トンネル	132
IP ACL プロファイル.....	133
IP ACL インターフェイス	133
IP フィルタ処理プロファイル	133
SSH/Telnet	135
ポート セキュリティのアクション	136

ポートセキュリティ構成データベース	137
ポートセキュリティアクティブデータベース	137
ポートセキュリティデータベースの相違点	138
ポートセキュリティ違反	138
ポートセキュリティ統計情報	139
IPsec	139
イベント	140
Call Home 全般	140
Call Home 接続先	141
Call Home 電子メールのセットアップ	141
Call Home アラート	141
Call Home HTTP プロキシ サーバー	142
Call Home SMTP サーバー	142
Call Home ユーザー定義コマンド	142
遅延トラップ	142
Call Home プロファイル	143
イベント接続先アドレス	143
イベント接続先セキュリティ (詳細)	143
イベント フィルタ全般	144
イベント フィルタ インターフェイス	145
イベント フィルタ制御	145
リンク インシデント履歴	145
RMON しきい値制御	145
RMON しきい値 64 ビット アラーム	146
RMON しきい値 32 ビット アラーム	147
RMON しきい値 イベント	147
RMON しきい値 ログ	148
管理者	149
構成のコピー	150
フラッシュ ファイル	150
コンパクトフラッシュ	150
ライセンス機能	150
ライセンス マネージャ キー	151
ライセンス マネージャのインストール	151
ライセンス マネージャの使用状況	152
ポートライセンス	153
機能セット	153
機能制御	153
NTP サーバー	153
NTP 全般	154
実行中のプロセス	154

起動時/実行中の構成の表示.....	154
EPLD のバージョンの表示.....	155
フラッシュ ファイルのコピー.....	155
TAC Pac ファイルの生成.....	155
技術サポートの表示.....	156
イメージバージョンの表示.....	156
導入準備ログの表示.....	156
サマリ ビュー.....	157
RLIR ERL.....	157
優先ホスト.....	158
優先パス.....	158
iSCSI アドバタイズ インターフェイスの編集.....	158
DNS 全般.....	159
DNS サーバー	159
Cisco Fabric Services (CFS) の機能.....	159
Cisco Fabric Services (CFS) IP マルチキャスト.....	161
Cisco Fabric Service (CFS) IP 静的ピア.....	161
Cisco Fabric Services (CFS) のリージョンごとの機能.....	161
Cisco Fabric Services (CFS) のすべてのリージョン.....	161
Cisco Fabric Services (CFS) のオーナー.....	161
Cisco Fabric Services (CFS) のマージ.....	162
ログ.....	163
SysLog (レポート以降).....	163
SysLog (重大なイベント).....	163
アカウントिंग ログ.....	164
スイッチ ロギング.....	164
Syslog シビラティ (重大度) レベル.....	164
Syslog サーバー.....	164
エンド デバイス - ホスト.....	166
インテリジェント機能 - サマリ.....	167
Data Mobility Manager - モジュール.....	168
ストレージ メディア暗号化.....	169
メンバー.....	169
インターフェイス.....	169
ホスト.....	169
SSM 機能.....	170
サマリ.....	170
FCWA.....	170
SSM.....	171
MSM.....	171
SANTap CVT.....	172

SANTap DVT.....	172
NASB.....	172
NASB ターゲット.....	172
仮想イニシエータ.....	173
DMM レート.....	173
FCWA 構成ステータス.....	173
統計ステータス.....	174
統計 I/O トラフィック.....	174
統計 I/O トラフィックの詳細.....	174
統計 SCSI コマンド.....	175
統計 SCSI エラー.....	175
統計 SCSI 検知エラー.....	175
コンパクト.....	176
Copyright.....	178

新機能と更新情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

リリースバージョン	特長	説明
NDFC リリース 12.1.3	整理し直したコンテンツ	このドキュメント内のコンテンツは元来 『Cisco NDFC-Fabric Controller Configuration Guide』 または 『Cisco NDFC-SAN Controller Configuration Guide』 で提供されました。 リリース 12.1.3 以降、このコンテンツは現在、このドキュメントでのみ提供されており、これらのドキュメントでは提供されなくなっています。

[物理]

このセクションには、DCNM SAN セットアップの物理属性が含まれています。

- [Inventory](#)
- [モジュール - ステータスと構成](#)
- [電源モジュール](#)
- [温度センサー](#)
- [ファン](#)
- [スイッチ](#)
- [ISL](#)
- [NP リンク](#)
- [ISL の統計](#)
- [ホスト](#)
- [ラック](#)
- [デバイスマネージャ - プリファレンス](#)

インベントリ

フィールド	説明
名前	現場交換可能ユニット (FRU) の名前。
ModelName	モデル名の識別子。
SerialNumber	プライマリおよびセカンダリ シリアル番号。
HardwareRevision	ハードウェア リビジョン。
SoftwareRevision	Cisco NX-OS ソフトウェアのリリース バージョン。
Alias	ネットワーク マネージャによって指定されたエイリアス名。
AssetID	ネットワーク マネージャによって指定された、ユーザーが割り当てた資産の追跡識別子。

Modules - ステータスと構成

フィールド	説明
Name	モジュールの説明。
Module	モジュール名の識別子。
OperStatus	モジュールの動作状態。
Reset	クリックしてモジュールを再起動します。

フィールド	説明
RateModeOverSubscriptionLimit	このオプションを選択して、それをサポートするモジュールのオーバーサブスクリプション比率の制限を制御します。デフォルトでは、制限は有効になっています。このオプションを無効にすると、使用可能な帯域幅に関係なく、モジュールのすべてのインターフェイスが最大管理速度で動作できるようになります。
BandwidthFairnessConfig	このオプションを選択して、それをサポートするモジュールの帯域幅の公平性を制御します。デフォルトでは、帯域幅の公平性が有効になっています。
BandwidthFairnessOper	帯域幅の公平性が有効か無効かを示します。デフォルトでは、帯域幅の公平性が有効になっています。
X2 xcvrFrequency Config	モジュールのトランシーバ周波数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • notApplicable - モジュールがこの構成をサポートしていない場合は、これを選択します。 • xcvrFreqX2FC - モジュールの FC トランシーバ周波数を 10 ギガバイトに設定するには、これを選択します。 • xcvrFreqX2Eth - モジュールのイーサネット トランシーバ周波数を 10 ギガバイトに設定するには、これを選択します。
ResetReasonDescription	モジュールが最後にリセットされた理由。
ローカル スイッチング モード	ローカル スイッチング モジュールのステータスを表示します。
StatusLastChangeTime	OperStatus の変更時刻。
Power Admin	フィールド交換可能ユニット (FRU) の電源をオンまたはオフにすることができます。
Power Oper	フィールド交換可能ユニット (FRU) の動作電源状態。
電流	フィールド交換可能ユニット (FRU) によって供給される電流。

電源

フィールド	説明
名前	電源の場所。
TotalPowerAvailable	使用可能な電力を表示します。結合モードでは、総電力は 2 つの電源の容量のうち少ない方の 2 倍となります。
冗長/結合	選択して、電源装置の構成方法を決定します。冗長モードでは、1 つが故障した場合にバックアップ電源を提供できますが、利用可能な総電力は少なくなります。
ModelName	モデル識別子。

OperStatus	電源動作の状態。
フィールド	説明
TotalAvailable	電源の使用に利用可能な総電力。モードが冗長の場合、使用可能な合計電力は、電源モジュールの電源容量よりも少ない電源容量です。モードが結合の場合、使用可能な合計電力は、動作中の電源のモジュールの少ない方の電源容量の2倍になります。
TotalReserved	電源が投入されている FRU に使用される合計電流。



UrosとParadiseへの電源供給が中断またはオフになった場合、電源テーブルの OperStatus に「offEnvOther」と表示されます。ただし、電源が切断されたデバイスの対応するエントリは、インベントリ テーブルに残ります。

温度センサー

フィールド	説明
名前	センサーの位置。
Threshold Major	主要な温度しきい値。
Threshold Minor	副次的な温度しきい値。
Current	センサーによって認識された最新の測定値を報告します。
Status	センサーの現在の動作ステータス。

ファン

フィールド	説明
名前	ファンの場所。
ModelName	モデル識別子。
OperStatus	現在の運用状況。

スイッチ

フィールド	説明
Description	スイッチとソフトウェアの説明。
UpTime	システムのネットワーク管理部分が最後に再初期化された以降の時間。
Name	この管理対象ノードの管理上割り当てられた名前。
Location	このノードの物理的な場所（例：電話ブース、3階）。

Contact	このスイッチの連絡先担当者。この担当者への連絡方法に関する情報も含む。
SwitchWWN	このスイッチの World-Wide Name。
フィールド	説明
ClockDateAndTime	システムの現在のローカル日時。これを設定することは、自動化された時計と予定表を設定することと同じです。
TimeZone	システムの現在のローカル タイム ゾーン。タイム ゾーンは GMT の形式で入力する必要があります。タイム ゾーンと GMT (グリニッジ標準時) との時間差です。
ProcessorRAM	プロセッサで使用可能な RAM の合計バイト数。
NVRAM	エンティティ内の NVRAM の合計バイト数。
NVRAMUsed	使用中の NVRAM のバイト数。
FIPSMODEACTIVATION	デバイスの FIPS モードを有効化または無効化します。FIPS 140-2 は暗号モジュールに関する一連のセキュリティ要件であり、暗号モジュールに対する米国政府の要求条件を詳細に記述しています。モジュールは、ハードウェアとソフトウェアの両方で構成されます (例: データセンターのスイッチングまたはルーティング モジュール)。FIP モードを有効にするための要求が受信され、その要求に応じて一連のセルフテストが正常に実行される場合、モジュールは FIPS 対応モードにあると言われます。セルフテストが失敗した場合は、適切なエラーが返されます。
CPUUtilization	アクティブ スーパーバイザでの CPU の平均使用率。
MemoryUtilization	アクティブ スーパーバイザでのメモリの平均使用率。
FlashPartitionSize	フラッシュ パーティション サイズ。
FlashPartitionFreeSpace	フラッシュ パーティション内の空き領域。
ステータス	スイッチ全体のステータス。
ベンダー	Cisco、McData、Brocade などのスイッチ ベンダーの名前。
モデル	MDS 9134 または MDS 9124 などのスイッチ モデル名。
リリース	スイッチ ソフトウェア バージョン。
NumFCPorts	スイッチ内の物理 FC ポートの数。
WWN	検出されたイーサネット VDC の MAC アドレス。
VDCId	検出されたイーサネット VDC の一意の ID。
FCoE 対応	true の場合、検出されたイーサネット VDC に対して FCoE が有効になります。

ISL

フィールド	説明
-------	----

スイッチから	リンクのソーススイッチ。
送信元インターフェイス	リンクのソース E_port のポートインデックス。
スイッチに	リンクのもう一方の端にあるスイッチ。
インターフェイスへ	リンクの宛先 E_port のポートインデックス。
フィールド	説明
ステータス (Status)	リンクの動作ステータス。

NP リンク

フィールド	説明
NPIV (コア)	NPIV コア スイッチ。
F Port	NPIV コア スイッチの接続された F ポート。
NPV	NPV スイッチ。
NP Port	NPV スイッチの接続ポート。
Status	リンクの動作ステータス。

ISL 統計

フィールド	説明
Description	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。ポート チャネルと FCIP の場合、このフィールドは、メンバーが使用可能な場合は常にメンバーを表示します。FCIP の場合、圧縮されていれば、このフィールドには compress と表示されます。
VSAN(s)	VSAN メンバーシップ。
Mode	ポートの動作モード> (凡例を参照)。
Connected To	アタッチされたポート。これは、ホスト、ストレージ、またはスイッチポートである可能性があります。
Speed	最大帯域幅 (Gbps)
Rx	次のいずれかになります。使用率 % バイト数 フレーム数 平均フレーム サイズ
Rx Comp	FCIP デバイスで受信したパケットの IP 圧縮比。
Tx	次のいずれかになります。使用率 % バイト数 フレーム数 平均フレーム サイズ
Tx Comp	FCIP デバイスで送信したパケットの IP 圧縮比。

エラー	<p>インターフェイス上の Rx および Tx エラーの総数。Rx エラーのタイプには、CRC エラー、フレームの分断化、サポートされていないクラスフレーム、Runt フレーム、Jabber フレーム、ジャイアント フレームなどがあります。Tx エラーのタイプは一般に CRC エラーですが、発生するのはまれです。[エラー (Errors)] フィールドが空でない場合は、Rx エラーが発生している可能性があります。エラー カウントの詳細な内訳については、適切なインターフェイスの [モニタ (Monitor)] ダイアログ ボックスを確認してください。</p>
-----	---

破棄	インターフェイスでの Rx と Tx の破棄の合計数。Rx フレームの破棄は、通常、プロトコル エラーが原因です。まれに、ハードウェア エラーなしでフレームが受信されたにもかかわらず、MAC アドレスに設定されているフィルタリング ルールの不一致により、フレームが破棄されることがあります。Tx フレームが破棄された場合には、タイムアウト フレーム破棄（ポートがオフラインまたはアップしていない）か、スーパーバイザに返送されなかったタイムアウト フレーム（クラス F/2 フレーム）の可能性があります。[破棄 (Discards)] フィールドが空でない場合は、タイムアウト フレームが原因である可能性があります。
ログ	オンにすると、ポーリング間隔ごとにレコードをメッセージログに書き込みます。

ホスト

フィールド	説明
Enclosure Name	エンクロージャの名前
Alias	このエントリのデバイスエイリアス。
Port WWN	このホストに割り当てられた PWWN。
Fcid	このホストに割り当てられた FC ID。
Link Status	リンクの動作ステータス。
Serial Number	シリアル番号。
Model	モデル名。
Firmware Ver	この HBA が実行しているファームウェアのバージョン。
Driver Ver	この HBA が使用しているドライバのバージョン。
Information	この HBA に対応する情報一覧です。
Switch Interface	エンドデバイスに接続されているスイッチのインターフェイス。

ラック

フィールド	説明
IP Address	エンクロージャの IP アドレス。
Elem. Mgr Use HTTP	ローカル エンクロージャを起動するために HTTP を使用します。
Elem. Mgr URL/Path	ローカル エンクロージャを起動するために使用する URL
デバイスタイプ	ホストの場合は HBA です。ストレージの場合は SCSI ターゲットです。
ベンダー	ホストの場合は HBA です。ストレージの場合は SCSI ターゲットです。
モデル	ホストの場合は HBA です。ストレージの場合は SCSI ターゲットです。
Firmware Ver	この HBA が実行しているファームウェアのバージョン。
Driver Ver	この HBA を制御するドライバ ソフトウェアのバージョン レベル。
OS	この HBA を制御するオペレーティング システムのタイプとバージョン

他の情報:

この HBA に対応する情報一覧です。

デバイスマネージャ - プリファレンス

フィールド	説明
Retry Requests # time(s) after #sec timeout	タイムアウト (秒) 後の再試行回数。
Enable Status Polling	オンにすると、(指定された) 秒数ごとにステータスポーリングが有効になります。
Trace SNMP packets in Message Log	オンにすると、メッセージログ内の SNMP パケットのトレースが有効になります。
Register for Events after Open, listen on Port 1163	オンにすると、イベントが自動的に登録されます。
Show WWN Vendor	オンにすると、WWN ベンダー名の表示が有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> • Replace : 既存のベンダー名を新しいものに置き換えます。 • Prepend : 新しいベンダー名を現在のベンダー名の先頭に付けます。
Show Timestamps as Date/Time	オンにすると、タイムスタンプが日付/時刻形式で表示されます。
Telnet パス	Telnet クライアントへのパス。
Telnet の代わりに セキ ュアな シェルを使用し ます	セキュアシェルを使用する場合にオンにします。
CLI Session Timeout	CLI セッションの時間間隔 (秒単位)。CLI タイムアウトを無効にするには、0 を入力します。
物理ビューに ツールヒント を表示	オンにすると、ツールヒントが表示されます。
物理 ビュ ー ポートに付けるラベ ル	<ul style="list-style-type: none"> • FICON : デバイスビューのポートのラベルとして FICON を表示します。 • インターフェイス : デバイスビューのポートのラベルとしてインターフェイスを表示します。
表のエクスポート	<ul style="list-style-type: none"> • Tab-Delimited : テーブルをタブ区切りテキストファイルにエクスポートします。 • XML : テーブルを xml ファイルにエクスポートします。

インターフェイス

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [仮想インターフェイス グループ](#)
- [仮想 FC インターフェイス](#)
- [イーサネット インターフェイス](#)
- [仮想 FC イーサネット](#)
- [クイック構成ツール](#)
- [イーサネット インターフェイス](#)
- [Ethernet Interfaces iSCSI](#)
- [Ethernet Interfaces iSCSI TCP](#)
- [イーサネット インターフェイス VLAN](#)
- [イーサネット VLAN](#)
- [FC インターフェイス モニター トラフィック](#)
- [FC インターフェイス モニター プロトコル](#)
- [FC インターフェイス モニターの廃棄数](#)
- [FC インターフェイス モニター リンク エラー](#)
- [FC インターフェイス モニター フレーム エラー](#)
- [FC インターフェイス モニター クラス 2 トラフィック](#)
- [FC インターフェイス モニター クラス 2 エラー](#)
- [FC インターフェイス モニター FICON](#)
- [オーバーサブスクリプションの確認](#)
- [仮想 FC インターフェイス モニター トラフィック](#)
- [仮想 FC インターフェイス モニターの廃棄数](#)
- [仮想 FC インターフェイス モニター エラー](#)
- [イーサネット インターフェイス Dot3Stats](#)
- [インターフェイス モニタリング](#)
- [イーサネット ポートチャネル](#)
- [イーサネット インターフェイス モニター iSCSI 接続](#)
- [イーサネット インターフェイス モニター TCP](#)
- [FCIP Monitor](#)
- [SVC インターフェイスのモニタ](#)
- [SVC NPort のモニタ](#)
- [SVC セッション FCP のモニタ](#)

- SVC セッションその他のモニタ
- FCIP インターフェイス
- システム タイムアウト
- インターフェイス ライセンス
- 全般
- FC インターフェイス全般
- FC インターフェイス Rx BB クレジット
- FC インターフェイス その他
- FC インターフェイス FLOGI
- FC インターフェイス ELP
- FC インターフェイス トランク構成
- FCIP インターフェイス トランク 障害
- FC インターフェイス IP
- FC インターフェイス物理
- FC インターフェイス機能
- FC インターフェイス FICON ピア
- インターフェイス NPort (SVC)
- インターフェイス セッション
- IP 統計 TCP
- ポート チャネルイーサネット インターフェイス
- ポート チャネル FC インターフェイス
- ポート チャネル全般
- FlexAttach グローバル
- FlexAttach 仮想 PWWN
- FlexAttach 物理から仮想 WWN へ
- FIPS
- FCIP FICON Configuration
- ポート チャネルの自動作成
- SPAN セッション
- SPAN グローバル
- SPAN 送信元インターフェイス
- ポート トラッキングの依存関係
- ポート トラック強制シャットダウン
- ポートガード
- 帯域幅予約 : 48 ポート 96 Gbps ファイバ チャネル モジュール

- 帯域幅予約：48 ポート 48 Gbps ファイバ チャネル モジュール
- 帯域幅予約：24 ポート 48 Gbps ファイバ チャネル モジュール
- 帯域幅予約：48 ポート 256 Gbps ファイバ チャネル モジュール
- 帯域幅予約：32 ポート 256 Gbps ファイバ チャネル モジュール
- DS-X9448-768K9 (Luke) ラインカード帯域幅予約

仮想インターフェイス グループ

テーブルの [バインドされたイーサネット インターフェイス (Bound Ethernet Interface)] フィールドは変更できます。残りのフィールドは情報提供のみを目的としています。

フィールド	説明
スイッチ	この仮想インターフェイス グループ (VIG) をホストするスイッチの名前。
VIG ID	仮想インターフェイス グループ ID。
バインドイーサネット インターフェイス	この VIG に関連付けられた物理イーサネット インターフェイス。
仮想イーサネット インターフェイス	この VIG にバインドされた仮想イーサネット インターフェイス。
Virtual FC Interfaces	この VIG にバインドされた仮想 FC インターフェイス。
運用ステータス	VIG の現在の運用状態。
CreationTime	VIG が作成された日付と時刻。



この表は、4.0(1a) より前のバージョンを実行している N5k スイッチにのみ適用されます。

仮想 FC インターフェイス

テーブルの次のフィールドを変更できます: 説明、バインド タイプ、バインド インターフェイス、バインド MAC アドレス、FCF 優先度、VSAN ID ポート、モード管理、ステータス管理。残りのフィールドは情報提供のみを目的としています。

フィールド	説明
スイッチ	このインターフェイスをホストするスイッチの名前。
インターフェイス	インターフェイス名。
[説明 (Description)]	ネットワーク管理者によって指定されたインターフェイスのテキストによる説明。
VIG ID	この仮想 FC インターフェイスがバインドされる仮想インターフェイス グループ。
バインドタイプ	この仮想 FC インターフェイスに関連付けられているインターフェイスのタイプ - 物理イーサネット インターフェイスまたは FCoE ノード (ENode) の MAC アドレス。

バインドインターフェイス	物理イーサネット インターフェイスまたはこの仮想 FC インターフェイスに関連付けられているイーサネット ポート チャンネル。
Bind MACAddress	FCoE Node (ENode) または仮想 FC インターフェイスによって識別されるリモートのファイバチャネルフォワーダ (FCF) の MAC アドレス。
フィールド	説明
FCF Priority	FCF によって ENode にアドバタイズされる FCoE 初期化プロトコル (FIP) 優先度の値。
VSAN ID Port	インターフェイスが統計的に割り当てられている VSAN ID。
VSAN Id Dynamic	インターフェイスが統計的に割り当てられている VSAN の指数。
Mode Admin	ユーザーが構成したポート モード。仮想 FC インターフェイスは、ファブリック ポート (F ポート) モードのみをサポートします。
Rate Mode	インターフェイスを専用モードまたは共有モードとして指定します。
Speed Oper	動作速度。
Mode Oper	ポートの現在の動作モード。
Speed Admin	ユーザーが構成したポート速度。
Status Service	インターフェイスがイン サービスかアウト オブ サービスかを指定します。
Status Admin	インターフェイスの適切な状態。
Status Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
Status FailureCause	ポートの現在の動作状態の原因。
Status LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。



VIG Id フィールドは、4.0(1a) より前のバージョンを実行している N5k スイッチにのみ適用されます。

イーサネット インターフェイス

テーブルの [説明 (Description)] および [管理者 (fields)] フィールドは変更できます。残りのフィールドは情報提供のみを目的としています。

フィールド	説明
スイッチ	このインターフェイスをホストするスイッチの名前。
インターフェイス	インターフェイス名。
[説明 (Description)]	ネットワーク管理者によって指定されたインターフェイスのテキストによる説明。
VIG ID	この仮想インターフェイスが@バインドされる@仮想インターフェイス グループ。

バインドイーサネットインターフェイス	この仮想イーサネット インターフェイスに関連付けられた物理イーサネット インターフェイス。
Admin	インターフェイスの適切な状態。
Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前回の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。
フィールド	説明
CDP (Enable)	Cisco 検出プロトコルがこのインターフェイスで実行されているかどうかを示します。
Duplex Status	MAC エンティティの現在の動作モード。ステータス「不明 (unknown)」は、現在の二重モードを判別できなかったことを示します。
Enable Link Trap	このインターフェイスに対してリンク アップトラップまたはリンク ダウントラップを生成するかどうかを指定します。



この表は、4.0(1a) より前のバージョンを実行している N5k スイッチにのみ適用されます。

仮想 FC イーサネット

フィールド	説明
スイッチ	このインターフェイスをホストするスイッチの名前。
インターフェイス	vFC インターフェイスの名前と、他のインターフェイスとの関連付けを表示します。
Description	ネットワーク管理者によって指定されたインターフェイスのテキストによる説明。
Status Admin	インターフェイスの適切な状態。
Status Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
Speed Oper	インターフェイスの動作速度
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前回の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。

クイック構成ツール

フィールド	説明
Show All Interfaces	このチェックボックスをオンにすると、vFC へのバインドに使用できないインターフェイスを含む、使用可能なすべてのインターフェイスが表示されます。

自動 Assign vFC ID	このチェックボックスをオンにすると、vFC ID が自動的に選択されます。このオプションをオンにしない場合は、有効な vFC ID を手動で入力する必要があります。
Switch Operational Type	スイッチでファイバー チャネル インターフェイスを構成していない場合は、 [イーサネット スイッチ (Ethernet Switch)] をクリックします。ファイバー チャネルおよび FCoE インターフェイスを構成している場合は、 [FCoE スイッチ (FCoE Switch)] をクリックします。
インターフェイス	物理的なイーサネット インターフェイスの名前。物理イーサネット インターフェイスにカーソルをホバーさせると、関連付けられている仮想インターフェイスがツールチップにディスプレイされます。
FCoE VLAN (VSAN)	インターフェイスで使用される FCoE VLAN (VSAN) マッピング。
管理モード	vFC インターフェイスの管理モード、つまり F または E
フィールド	説明
Eth のみ	物理イーサネットを仮想インターフェイス抜きで構成。列ヘッダーの [Eth のみ (Eth Only)] ボタンをクリックして、すべてのインターフェイスをこの値に設定します。
vEth のみ	関連付けられた VIG と仮想イーサネット インターフェイスを持つように物理イーサネットを構成します。列ヘッダーの [vEth のみ (vEth Only)] ボタンをクリックして、すべてのインターフェイスをこの値に設定します。
vFC のみ	関連付けられた VIG と仮想 FC インターフェイスを持つように物理イーサネットを設定します。列ヘッダーの [vFC のみ (vFC Only)] ボタンをクリックして、すべてのインターフェイスをこの値に設定します。
vFC	関連付けられた VIG と仮想 FC インターフェイスを持つように物理イーサネットを設定します。列ヘッダーの [vFC] ボタンをクリックして、すべてのインターフェイスをこの値に設定します。
vEth + vFC	関連付けられた VIG、仮想イーサネット インターフェイス、および仮想 FC インターフェイスを持つように物理イーサネットを設定します。列ヘッダーの [vEth + vFC] ボタンをクリックして、すべてのインターフェイスをこの値に設定します。
アクション ステータスの構成	リクエストされた構成の変更の現在のステータスが表示されます。



vEth のみ、vFC のみ、vEth + vFC 列は、バージョン 4.0(1a)N1 を実行している N5K スイッチには適用されません。 [VLAN (VSAN) マッピング (VLAN(VSAN) Mapping)] 列には表示されません。

イーサネット インターフェイス

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスの「エイリアス」名。

MTU	インターフェイスで送受信できる最大フレームのサイズ（バイト数）。
Speed Oper	インターフェイスの動作速度。
Speed Admin	<ul style="list-style-type: none"> • notApplicable - 速度の変更はそのポートには適用されません。 • oneGigSpeed - IPStorage ポートは 1G として構成されています。 • tenGigSpeed - IPStorage ポートは 10G として構成されています。
障害原因	失敗の原因
PhysAddress	インターフェイスの MAC アドレス。
Status Admin	インターフェイスの適切な状態。
Status Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。
フィールド	説明
ConnectorPresent	コネクタが検出された場合は True。
CDP (Enable)	An indication of whether the Cisco Discovery Protocol is currently running on this interface.
IscsiAuthMethod	認証方式。
無差別モード	このオプションのオンとオフにより、パケット/フレームの宛先が決まります。このオプションがオンの場合、このインターフェイスは、このステーション宛てのパケット/フレームを受け入れます。このオプションがオフの場合、ステーションによって受け入れられたパケットはメディアで送信されます。このオプションをオンまたはオフにしても、インターフェイスによるブロードキャストおよびマルチキャスト パケット/フレームの受付には影響しません。
自動ネゴシエーション	このオプションを選択すると、自動ネゴシエーションが有効になります。
ビーコン モード	ビーコンモードでは、識別のためにインターフェイス LED に点滅モードを割り当てます。ビーコン モードを有効にするには、このオプションを選択します。
IPAddress/Mask	インターフェイスの IP アドレスとサブネット マスク。



SAN 管理ユーザーは、デバイス マネージャを使用して Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチのイーサネット インターフェイス設定を変更することができません。

イーサネット インターフェイス iSCSI

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスの「エイリアス」名。
スピード	動作速度。

PhysAddress	インターフェイスの WWN
Admin	インターフェイスの適切な状態。
Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A になります。
PortVSAN	インターフェイスが属す VSAN。
ForwardingMode	HBA にパススルーで問題が発生する場合には、ストア アンド フォワードを使用します。
Initiator ID Mode	このインターフェイス上で発信側を識別する方法。iSCSI 名 (name) または IP アドレス (ipaddress) を使用します。
有効	このインターフェイス用の発信側プロキシモード。True の場合、このインターフェイスに接続するすべての発信側が、このインターフェイスで提供される発信側設定を使用します。発信側設定には、ポート WWN と ノード WWN が含まれます。
フィールド	説明
割り当て	発信側プロキシ モード FC アドレスを割り当てる方法。「自動」の場合、FC アドレスが自動的に割り当てられます。「手動」の場合、手動で設定する必要があります。
ポート WWN	発信側プロキシモードがオンの場合に、このインターフェイスで発信側が使用するポート FC アドレス。
Node WWN	発信側プロキシモードがオンの場合に、このインターフェイスで発信側が使用するノード FC アドレス

イーサネット インターフェイス iSCSI TCP

フィールド	説明
ローカルポート	ローカル インターフェイスの TCP ポート。
SACK	選択的確認応答 (SACK) オプションが有効かどうかを示します。
KeepAlive	この iSCSI インターフェイスの TCP キープアライブ タイムアウト。値が 0 の場合、キープアライブ タイムアウトは無効です。
MinTimeout	TCP 最小再送信時間。
最大	TCP 最大再送信回数。
SendBufferSize	TCP 送信バッファ サイズ。
MinBandwidth	TCP 最小帯域幅。
MaxBandwidth	TCP 最大帯域幅。

Estimated Round Trip	B-D 乗算に使用されるネットワーク パイプの推定ラウンドトリップ遅延。スイッチは、これを使用してアダプタサイズする TCP ウィンドウを算出できます。
QoS	TCP QoS コードポイント。
PMTU Enable	パス MTU ディスカバリ オプション オプションがイネーブルかどうかを示します。
PMTU Reset Timeout	PMTU リセット タイムアウト。
Connections Normal	通常の iSCSI 接続数。
Connections Discovered	ディスカバリ iSCSI 接続数。
CWM Enable	True の場合、輻輳ウィンドウ モニタリングがイネーブルされます。False の場合はディセーブルです。
CWM Burst Size	TCP 送信側の待機時間後に送信される最大バースト。
最大ジッター (Max Jitter)	このインターフェイスの TCP 接続で発生する可能性のある最大遅延変動 (輻輳が原因ではないもの)。
ポート	このインターフェイスのローカル TCP ポート。

イーサネット インターフェイス VLAN

フィールド	説明
スイッチ	スイッチ名。
インターフェイス	インターフェイスの名前
VLAN モード	この VLAN が構成されているモード。スタティック：単一の VLAN に直接割り当てられた静的 VLAN メンバーシップを持つポート。ダイナミック：VMPS への VQP クエリを介してポートで受信したパケットの内容に基づく、単一の VLAN に割り当てられたダイナミック VLAN メンバーシップを持つポート。
VLAN リスト	スイッチで許可されている VLAN のリスト。

イーサネット VLAN

フィールド	説明
スイッチ	スイッチ名。
ID	[スイッチID (Switch ID)]
トランク モード	モードがアクセスとトランクのどちらであるかを指定します。
トランク ステータス	ポートのトランキング ステータス。
ネイティブ VLAN	ネイティブ VLAN
許可 VLAN リスト	ポートでの送受信が許可されている VLAN のリスト。
アクティブ VLAN リスト	スイッチ上でアクティブな VLAN のリストまたは範囲。

FC インターフェイス モニタリング トラフィック。

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
C3 Rx Bytes	このポートがアタッチしている Nx_Port から受信した、クラス 3 バイトの数。フレーム デリミタを含みます。
C3 Rx Frames	このポートがアタッチしている Nx_Port から受信した、クラス 3 フレームの数。フレーム デリミタを含みます。
C3 Tx Bytes	このポートがアタッチしている Nx_Port に送信した、クラス 3 バイトの数。フレーム デリミタを含みます。
C3 Tx Frames	このポートがアタッチしている Nx_Port に送信した、クラス 3 フレームの数。フレーム デリミタを含みます。
CF Rx Bytes	このポートがアタッチしている Nx_Port から受信した、クラス F バイトの数。フレーム デリミタを含みます。

フィールド	説明
CF Rx Frames	このポートがアタッチしている Nx_Port から受信した、クラス F フレームの数。フレームデリミタを含みます。
CF Tx Bytes	このポートがアタッチしている Nx_Port に送信した、クラス F バイトの数。フレームデリミタを含みます。
CF Tx Frames	このポートがアタッチしている Nx_Port に送信した、クラス F フレームの数。フレームデリミタを含みます。

FC インターフェイス モニタリング プロトコル

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
LRRIn	FC ポートが受信したリンク リセット応答の数。
LRROut	FC ポートが送信したリンク リセット応答の数。
OlsIns	FC ポートが受信したオフラインシーケンスエラーの数。
OlsOuts	FC ポートが発行したオフラインシーケンスエラーの数。
NOSIn	FC ポートが受信した非動作シーケンスの数。
NOSOut	FC ポートが送信した非動作シーケンスの数。
LinkResetIns	アタッチされた FC ポートから FC ポートが受信したリンク リセットプロトコルエラーの数。
LinkResetOuts	アタッチされた FC ポートに対して FC ポートが発行したリンク リセットプロトコルエラーの数。
TxWaitCount	送信クレジットの不足のために FC ポートが待機した回数。
RxBBCredit	ログインした Nx_Port から受信したクラス 2、クラス 3 を保持するために使用可能な受信バッファの最大数。これは、ログインした Nx_Port から FC-Port への着信方向のバッファ間フロー制御用です。
TxBBCredit	ログインした Nx_Port に送信されるクラス 2、クラス 3 フレームを保持するために使用可能なバッファの総数。これは、FC-Port から Nx_Port 方向のバッファ間フロー制御用です。
BBCreditTransitionFromZero	ゼロ状態からの BB クレジットの遷移の数。

FC インターフェイスでの破棄数モニタリング

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
Class2	このポートによって破棄されたクラス 2 フレームの数。
Class3	このポートによって破棄されたクラス 3 フレームの数。

フィールド	説明
classf	このポートによって破棄されたクラス F フレームの数。
EISL	FC ポートによって破棄された Enhanced Inter Switch Link (EISL) フレームの数。EISL フレームには、他の情報とともに VSAN を含む EISL ヘッダーが含まれます。
InDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、上位層プロトコルに配信されないようにするため、破棄することが選択された着信フレームの合計数。
OutDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、送信されないようにするため、破棄することが選択された発信フレームの合計数。

FC インターフェイス モニタ リンク エラー

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
LinkFailures	FC-Port によって検出されたリンク障害の数。
SigLosses	FC-Port によって検出された信号損失の数。
SyncLosses	FC-Port によって検出された同期喪失障害の数。
InvalidTxWords	FC-Port によって検出された無効な送信ワードの数。
DelimiterErrors	FC-Port によって検出されたデリミタ エラーの数。
AddressIdErrors	FC-Port によって検出されたアドレス識別子エラーの数。

FC インターフェイス モニタ フレーム エラー

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
InvalidCrcs	FC-Port によって検出された無効な CRC の数。ループポートは、モニタリング時に通過する CRC エラーをカウントしないことになっています。
ELPFailures	FC ポートによって検出された、エクスチェンジ リンク パラメータ スイッチ ファブリックの内部リンク サービス リクエストの失敗数。これは、E_Port または B_Port である Interconnect_Port のみに適用されます。
[フラグ (Frag)]	FC ポートが受信したフラグメント化されたフレームの数。
Runts	FC ポートが受信したフレームのうち、許容される最小フレーム長よりも短いフレームの数。CRC が正しいかどうかには関係しません。
Jabber 数	FC ポートが受信したフレームのうち、最大フレーム長より長く、CRC エラーもあるフレームの数。

フィールド	説明
TooLongs	FC ポートが受信したフレームのうち、フレーム長が FLOGI/PLOGI で合意されたものよりも長いフレームの数。これは、フレームの終わりの区切り文字が失われたことが原因である可能性があります。
TooShorts	FC ポートが受信したフレームのうち、フレーム長がフレーム ヘッダーで示される最小値（通常 24 バイト）よりも短いフレームの数ですが、オプションのヘッダーが存在しているはずであることを DFCTL フィールドが示している場合は、さらに多くなる可能性があります。
Unknowns	FC ポートが受信した、フラグメント化されたフレームの数。
EOFa	FC ポートが受信したフレームのうち、EOF アポートが伴っているフレームの数。
フレーミング (Framing)	フレーム エラーの数。これは、FC ポートがフレーム構造の不整合を検出したことを示しています。

FC インターフェイス モニタ クラス 2 トラフィック

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
イン オクテット/イン フレーム	アタッチされた Nx_Port からこのポートが受信したクラス 2 フレーム バイトおよびフレームの数。フレーム デリミタを含みます。
アウト オクテット/アウト フレーム	アタッチされた Nx_Port にこのポートを介して配信されたクラス 2 フレーム バイトおよびフレームの数。フレーム デリミタを含みます。

FC インターフェイス モニタ クラス 2 エラー

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
FBSY	ビジー フレーム応答の数。
FRJT	クラス 2 フレームに対してこのポートによって生成された F_RJT フレームの数。
PBSY	クラス 2 フレームをリンクのもう一方の端に配信できなかった結果として、ポート ビジー状態がこのポートに返された回数。これは、宛先 Nx_Port が一時的にビジーの場合に発生します。PBSY は、SOFc1 フレーム（接続を確立するフレーム）でのみ発生します。
PRJT	クラス 2 フレームが宛先 Nx_Port で拒否された結果として、ポート拒否がこのポートに返された回数。

FC インターフェイス モニター FICON

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニター ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
FramePacingTime	クレジットがゼロのためにフレーム送信がブロックされる、2.5 マイクロ秒を単位とする数。
DispErrorsInFrame	ディスパリティ エラーのあるフレームの数。
EOFErr	EOF エラーのあるフレームの数。
DispErrsOutOfFrame	OOB エラーのあるフレームの数。
InvalidOrderSets	フレーム外の無効または認識できないオーダー セットの数。

オーバーサブスクリプションの確認

フィールド	説明
間隔	
Elapsed	経過時間。
インターフェイス	インターフェイスの名前
InOctectRate	
OutOctRate	

仮想 FC インターフェイス モニタリング トラフィック

[モニタ (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニタ ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
RxBytes	接続された N_Port からこのポートが受信したバイト数 (フレーム デリミタを含む) 。
[RxFrames]	接続された N_Port からこのポートが受信したフレームの数 (フレーム デリミタを含む) 。
TxBytes	このポートによって接続された N_Port に送信されたバイト数 (フレーム デリミタを含む) 。
[TxFrames]	このポートによって接続された N_Port に送信されたフレームの数 (フレーム デリミタを含む) 。

仮想 FC インターフェイス モニタ廃棄数

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニター ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
InDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、上位層プロトコルに配信されないようにするため、破棄することが選択された着信フレームの合計数。

フィールド	説明
OutDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、送信されないようにするため、破棄することが選択された発信フレームの合計数。

仮想 FC インターフェイス モニタ エラー

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニター ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
InErrors	仮想 FC ポートによって検出された着信エラーの数。
OutErrors	仮想 FC ポートによって検出された発信エラーの数。

イーサネット インターフェイス Dot3Stats

フィールド	説明
インターフェイス	インターフェイスの名前。
Alignment Errors	長さがオクテットの整数倍であるものの、FCS チェックに合格しなかった、特定のインターフェイスでの受信フレームの数。
FCS エラー	長さがオクテットの整数倍であるものの、FCS チェックに合格しなかった、特定のインターフェイスでの受信フレームの数。この数には、フレームが長すぎる、またはフレームが短すぎるためにエラーが生じた受信フレームは含まれません。
シングルコリジョンフレーム	特定のインターフェイスで正常に送信されたものの、送信が 1 つのコリジョンだけによって妨げられたフレームの数。
複数のコリジョンフレーム	特定のインターフェイスで正常に送信されたものの、送信が 2 つ以上のコリジョンによって妨げられたフレームの数。
SQEテストエラー	特定のインターフェイスについて、SQE TEST ERROR メッセージが PLS サブレイヤによって生成された回数。
遅延送信	特定のインターフェイスでの最初の送信試行が、メディアがビジー状態のために遅延したフレームの数。
レイトコリジョン	パケットの送信の 1 スロット時間より後に、特定のインターフェイスでコリジョンが検出された回数。
過剰コリジョン	多数のコリジョンが生じたことによって、特定のインターフェイス上で送信が失敗したフレームの数。インターフェイスが全二重モードで動作している場合、このカウンタが増えることはありません。
内部 Mac 送信エラー	内部 MAC サブレイヤの送信エラーのために特定のインターフェイスで送信が失敗したフレームの数。
キャリア検知エラー	特定のインターフェイスでフレームを送信しようとしたときに、キャリア センス状態が失われたか、一度もアサートされなかった回数。

フィールド	説明
長すぎるフレーム	特定のインターフェイスで受信され、最大許可フレーム サイズを超えたフレームの数。
内部 MAC 受信エラー	内部 MAC サブレイヤ受信エラーが原因で、特定のインターフェイスでの受信に失敗したフレームの数。
Symbol Errors	100 Mb/s で動作するインターフェイスの場合、有効なキャリアが存在しながら無効なデータ シンボルがあった回数

インターフェイス モニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な [モニター ダイアログ コントロール](#) があります。

フィールド	説明
Rxバイト	インターフェイスで受信したバイト合計数 (フレーミング文字を含む)。
[RxFrames]	インターフェイスで受信したフレームの数。
Rx マルチキャスト フレーム (Rx Multicast Frames)	(Nexus 5000 シリーズのみ) インターフェイスで受信したマルチキャスト フレームの数。
Rx ブロードキャスト フレーム (Rx Broadcast Frames)	(Nexus 5000 シリーズのみ) インターフェイスで受信したブロードキャスト フレームの数。
TxBytes	インターフェイスが送信したバイトの合計数 (フレーミング文字を含む)。
[TxFrames]	このインターフェイスが送信したフレームの合計数。
Tx マルチキャスト フレーム (Tx Multicast Frames)	(Nexus 5000 シリーズのみ) このインターフェイスが送信したマルチキャスト フレームの数。
Tx ブロードキャスト フレーム (Tx Broadcast Frames)	(Nexus 5000 シリーズのみ) このインターフェイスが送信したブロードキャスト フレームの数。
RxErrors	エラーを含むために上位層のプロトコルに配信不可能だった着信フレームの数。
TxErrors	エラーのために送信できなかった発信フレームの数。
RxDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、上位層プロトコルに配信されないようにするために廃棄することが選択された着信フレームの合計数。
TxDiscards	エラーが検出されなかったにもかかわらず、送信されないようにするために廃棄することが選択された発信フレームの合計数。

イーサネット ポートチャネル

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。
メンバー	このイーサネット ポート チャンネルのメンバー。
動作速度	インターフェイスの動作速度。
MTU	インターフェイスで送受信できる最大フレームのサイズ (バイト数)。
PhysAddress	インターフェイスの MAC アドレス。
Status Admin	インターフェイスの適切な状態。
Status Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。

イーサネット インターフェイス モニター iSCSI 接続

フィールド	説明
RxBytes	iSCSI セッションで受信した合計バイト数。
TxBytes	iSCSI セッションで送信した合計バイト数。
IPSec	iSCSI 接続統計情報に関するオブジェクトのコレクション。

イーサネット インターフェイス モニター TCP

フィールド	説明
Opens	接続が開かれた回数。
受諾	接続が受け入れられた回数。
失敗しました	接続に失敗した回数。
RxResets	接続がリセットされた回数。
Est	接続が確立された回数。
RxSeg	確立したセグメントで受信したセグメントの合計数。エラーを受信したセグメントも含まれます。
TxSeg	送信されたセグメントの合計数。再送信されたバイトを含むものは除きます。
ReTxSegs	再送信されたセグメントの総数。
BadSegs	エラーを受信したセグメントの合計数 (例えば、悪いチェックサム)。
TxSegResets	「リセット」フラグを含む送信したセグメントの数。
SplitSeg	送信されたセグメントのうち、最小サイズ未満のもの数。
DupACK	受信された重複 ACK の数。

フィールド	説明
RxBytes	受信したヘッダーとデータのバイト数。
TxBytes	送信されたヘッダーとデータのバイト数。

FCIP モニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な[モニター ダイアログ コントロール](#)があります。

フィールド	説明
C3 Rx Bytes	データ トラフィックの着信バイト数。
C3 Tx Bytes	データ トラフィックの発信バイト数。
CF Rx Bytes	制御トラフィックの着信バイト数。
CF Tx Bytes	制御トラフィックの発信バイト数。
Rxエラー	エラーを含むために上位層のプロトコルに配信不可能だった着信フレームの数。
Txエラー	エラーのために送信できなかった発信フレームの数。
RxDiscard	エラーが検出されなかったにもかかわらず、上位層プロトコルに配信されないようにするために廃棄することが選択された着信フレームの合計数。
TxDiscard	エラーが検出されなかったにもかかわらず、送信されないようにするために廃棄することが選択された発信フレームの合計数。

SVC インターフェイスのモニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な[モニター ダイアログ コントロール](#)があります。

フィールド	説明
Rx バイト	着信バイト数。
Rx フレーム	着信フレームの数
Tx バイト	送信バイト数。
Tx フレーム	送信フレーム数。
Rx Errors	着信エラーの数。
Tx エラー	送信エラーの数。
Rx 廃棄	着信廃棄の数。
Tx 廃棄	送信廃棄の数。

SVC NPort のモニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な[モニター ダイアログ コントロール](#)があります。

フィールド	説明
Rxバイト	この仮想 N ポートの着信バイト数。
Rx フレーム	この仮想 N ポートの着信フレーム数。
Tx Bytes	この仮想 N ポートの発信バイト数。
Tx フレーム	この仮想 N ポートの発信フレーム数。
Rxバイト	この仮想 N ポートの着信バイト数。
Rx フレーム	この仮想 N ポートの着信フレーム数。
Tx Bytes	この仮想 N ポートの発信バイト数。
Tx フレーム	この仮想 N ポートの発信フレーム数。

SVC セッション FCP のモニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な[モニター ダイアログ コントロール](#)があります。

フィールド	説明
Cmnds	このセッションの着信 FCP コマンド フレームの数。
XferRdys	このセッションの着信 FCP 転送準備完了フレームの数。
DataFrames	着信 FCP Data フレームの数。
ステータス	着信 FCP ステータス フレームの数。
DataBytes	着信 FCP データのバイト数。
OverRuns	このセッションの着信 FCP オーバーラン フレームの数。
UnderRuns	このセッションの着信 FCP アンダーラン フレームの数。
Cmnds	このセッションの発信 FCP コマンド フレームの数。
XferRdys	このセッションの発信 FCP 転送準備完了フレームの数。
DataFrames	発信 FCP データ フレームの数。
ステータス	発信 FCP ステータス フレームの数。
DataBytes	発信 FCP データのバイト数。
OverRuns	このセッションの発信 FCP オーバーラン フレームの数。
UnderRuns	このセッションの発信 FCP アンダーラン フレームの数。

SVC セッション その他のモニター

[モニター (Monitor)] ダイアログボックスには特別な[モニター ダイアログ コントロール](#)があります。

フィールド	説明
InELSFrames	このセッションの着信拡張リンク サービス フレームの数。
InBLSFrames	このセッションの着信基本リンク サービス フレームの数。
OutELSFrames	このセッションの発信拡張リンク サービス フレームの数。
OutBLSFrames	このセッションの発信基本リンク サービスフレームの数。
InAborts	このセッションで中止された着信フレームの数。
OutAborts	このセッションで中止された発信フレームの数。
OpenXchanges	このセッションのオープン交換の数。
InBadFc2Drops	このセッションでドロップされた FC2 フレームの数。
InBadFcPDrops	FCP ドロップされたフレームの数。
InFCPDataExcess	このセッションの FCP データ超過フレームの数。

FCIP インターフェイス

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。
PortVsan	このインターフェイスが静的に割り当てられている VSAN ID。
Oper Mode	ポートの現在の動作モード。
AutoChannelCreate	選択すると、ポートチャンネルを自動的に作成します。
Admin	インターフェイスの適切な状態。
動作ステータス	インターフェイスの現在の動作状態。
FailureCause	ポートの現在の動作状態の原因。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前回の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。
FICON Address	このポートの FICON ポートアドレス。

システム タイムアウト

スイッチに長期間存在するフレームは、輻輳ドロップと見なされます。継続的に tx/rx クレジットを受信していない場合、ノー クレジット ドロップと見なされます。デバイス マネージャ クライアントで、輻輳ドロップとノー クレジット ドロップのタイムアウト値を設定できます。低速ポート モニタリングのタイムアウトを構成するには、**[管理 (Admin)] > [システム タイムアウト (System Timeout)]** に移動します。

フィールド	説明
-------	----

E ポート輻輳緩和	E ポートの輻輳ドロップの時間を指定します。または、デフォルトをクリックしてデフォルト値を入力します。単位はミリ秒です。
フィールド	説明
F ポート輻輳ドロップ	F ポートの輻輳ドロップの時間を指定します。または、デフォルトをクリックしてデフォルト値を入力します。単位はミリ秒です。
F port NoCredit Drop	ノー クレジット ドロップの時間を指定します。tx/rx クレジットのないフレームをドロップすることを望まない場合は、無効をクリックするか、デフォルトをクリックしてデフォルト値を入力します。単位はミリ秒です。
E ポート slowport-モニター	E ポートの slowport-monitor タイムアウト値を指定します。スローポートの監視を無効にするには、無効をクリックします。または、デフォルトをクリックしてデフォルト値を入力します。単位はミリ秒です。
F ポート slowport-モニター	F ポートの slowport-monitor タイムアウト値を指定します。スローポートの監視を無効にするには、無効をクリックします。または、デフォルトをクリックしてデフォルト値を入力します。単位はミリ秒です。



SAN クライアントからの低速ポート モニターのタイムアウト値を構成するには、**【物理属性 (Physical Attributes)]>[スイッチ (Switch)]>[システム (System)]>[タイムアウト (Timeout)]**に移動します。

インターフェイス ライセンス

フィールド	説明
タイプ	特定のインターフェイスに対して取得できるライセンスを指定します。現在、ポート アクティベーション ライセンスを定義できます。
設定	インターフェイスが適格なライセンスを表示します。どのタイプのライセンスにも適格でないインターフェイスは表示されません。
Oper	インターフェイスのポート ライセンスの現在の状態が表示されます。

全般

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスの「エイリアス」名。
MTU	インターフェイスで送受信できる最大フレームのサイズ (バイト数)。
Oper	動作速度
PhysAddress	インターフェイスの MAC アドレス。
Admin	管理者の状態。
Oper	インターフェイスの現在の動作状態。

LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。
CDP	CDP を有効または無効にします。
デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)	デフォルトゲートウェイの IP アドレス。

FC インターフェイス全般

PortVSAN、Port Mode Admin and Oper、Admin Speed、FailureCause 変数は、すべてのインターフェイスでサポートされているわけではありません。

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。
VSAN ID ポート	インターフェイスが統計的に割り当てられている VSAN ID。
VSAN ID Dynamic	このインターフェイスが動的に割り当てられている VSAN ID (DPVM を参照)。
CDP (Enable)	An indication of whether the Cisco Discovery Protocol is currently running on this interface.
無差別モード	このオプションのオンとオフにより、パケット/フレームの宛先が決まります。このオプションがオンの場合、このインターフェイスは、このステーション宛てのパケット/フレームを受け入れます。このオプションがオフの場合、ステーションによって受け入れられたパケットはメディアで送信されます。このオプションをオンまたはオフにしても、interface9 によるブロードキャストおよびマルチキャスト パケット/フレームの受け付けには影響しません。
Auto Negotiate	このインターフェイスで速度と二重モードの自動ネゴシエーションを使用する必要があるかどうかの指示。
ビーコンモード	ビーコンモードでは、識別のためにインターフェイス LED に点滅モードを割り当てます。ビーコンモードを有効にするには、このオプションを選択します。

フィールド	説明
Mode Admin	<p>ユーザーが構成したポート モード。モードは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • auto - ユーザーがポートを auto として構成した場合、ポートの初期化スキームによってポートのモードが決定されます。 • F Port - インターフェイスがファブリック ポートとして機能します。このポートを N ポートとして動作する周辺装置（ホストまたはディスク）に接続できます。 • FL Port - ファブリック ループ モードでは、インターフェイスがファブリック ループ ポートとして機能します。このポートを 1 つまたは複数の NL ポート（他のスイッチの FL ポートを含む）に接続し、パブリック アービトラート型ループを形成することができます。 • E Port - 拡張ポート モードでは、インターフェイスがファブリック拡張ポートとして機能します。このポートを別の E ポートに接続し、2 つのスイッチ間でスイッチ間リンク（ISL）を作成できます。E ポートはフレームをスイッチ間で伝送し、ファブリックを設定および管理できるようにします。 • FX Port - Fx ポートとして構成されたインターフェイスは、F ポートまたは FL ポート モードのいずれかで動作します。Fx ポート モードは、インターフェイスの初期化中に、接続された N ポートまたは NL ポートに応じて判別されます。この管理設定は、インターフェイスがその他のモードで動作するのを禁止します。たとえば、別のスイッチにインターフェイスが接続されるのを防ぎます。 • SD Port - SPAN 宛先ポート モードでは、インターフェイスがスイッチド ポートアナライザ（SPAN）として機能します。SPAN 機能は、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチに特有の機能です。ファイバ チャネル インターフェイスを通過するネットワーク トラフィックをモニタします。 • TL Port - トランスレーティブ ループ ポート モードでは、インターフェイスがトランスレーティブ ループ ポートとして機能します。1 つまたは複数のプライベート ループ装置に接続できます。TL ポート モードは Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチに特有で、FL ポートとプロパティが似ています。 • ST Port - SPAN トンネル ポート（ST ポート）モードでは、インターフェイスが RSPAN ファイバチャネル トンネルの送信元スイッチ内の入口ポートとして機能します。ST ポート モードとリモート SPAN（RSPAN）機能は、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチに特有の機能です。ST ポート モードに構成されている場合、インターフェイスを任意の装置に設定できないので、通常ファイバチャネルトラフィックに使用できません。 • TE Port - トランキング E ポート モードでは、インターフェイスがトランキング拡張ポートとして機能します。別の TE ポートに接続し、2 つのスイッチ間で Extended ISL（EISL）を作成します。TE ポートは、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチに特有のポートです。 • B Port - E ポートが通常はファイバチャネル スイッチを相互接続するのに対して、Cisco の PA-FC-1G ファイバチャネル ポートアダプタなど、一部の SAN 拡張装置は、ブリッジ ポート モデルを実装して地理的に分散したファブリックを接続します。このポートタイプの操作モードは「読み取り専用」であり、設定できません。 • TF - トランキング f_Port

	<ul style="list-style-type: none"> • TNP ポート - N ポート バーチャライザー (NPV) にのみ適用されるトランキング N プロキシポートモード • NP ポート - N ポート バーチャライザー (NPV) にのみ適用可能な N プロキシポートモード
Mode Oper	ポートの現在の動作モード。
フィールド	説明

速度グループ	<p>特定のインターフェイスの現在の速度グループ構成を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> なし：このインターフェイスにインターフェイス速度グループ構成は適用されません。読み取り専用の値です。 10G：このインターフェイスのインターフェイス速度グループ構成は 10G です。 1/2/4/8G：このインターフェイスでのインターフェイス速度グループ構成は 1G-2G-4G-8G です。
Speed Admin	<p>ユーザーが構成したポート速度。ポートの速度値は [auto]、[1Gb]、[2Gb]、[4Gb]、[8Gb]、[10Gb]、[autoMax2G]、および [autoMax4G] のいずれかです。注 Cisco NX-OS リリース 4.2(2) を実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、M1060 スイッチモジュールでのみ 8 Gbps の管理速度を設定できます。Cisco NX-OS リリース 4.2(2) 以前のリリースを実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、すべてのスイッチモジュールで速度を 1 Gbps、2 Gbps、または 4 Gbps に設定できます。</p>
Speed Oper	<p>動作速度。</p>
RateMode	<p>インターフェイスを専用モードまたは共有モードとして指定します。</p>
Status Service	<p>インターフェイスがイン サービスかアウト オブ サービスかを指定します。</p>
Status Admin	<p>インターフェイスの適切な状態。</p>
Status Oper	<p>インターフェイスの現在の動作状態。</p>
Status FailureCause	<p>ポートの現在の動作状態の原因。</p>
StatusWas Enabled	<p>true の場合、このポートはリンクの初期化を正常に完了しています。</p>
Status LastChange	<p>インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前回の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。</p>
Port Owner	<p>インターフェイス リソースの現在の所有者に管理上割り当てられた名前。</p>

FC インターフェイス Rx BB クレジット+

フィールド	説明
Oper	<p>動作ポート モード用に構成された受信バッファ間クレジット。</p>

フィールド	説明
Model	FC ポートで使用される BB_Credit モデル。代替の BB_Credit 管理モデルを調停ループ トポロジで使用して、現在のループ回路に参加している 2 つのポート間のフレーム フローを管理できます。これは物理ポートの特性であるため、ポート チャネルポートには適用されません。
Admin	このポートに構成された受信バッファ間クレジット。
拡張	FC ポートで構成できる拡張 BB クレジット (256 ~ 4095 の範囲)。許容値は、モジュールの他のポートの BB クレジット構成によって異なります。この値は、拡張 BB クレジット機能をサポートするモジュールでのみ変更できます。
AdminISL	このポートが xE_port モードで動作している場合に使用されるように構成された受信バッファ間クレジット。
AdminFx	このポートが Fx モードで動作している場合に使用されるように構成された受信バッファ間クレジット。
PerfBuffer Admin	このポート用に構成されたパフォーマンス バッファ。バッファ間クレジットに加えて、これらのバッファは、ポートのパフォーマンスを向上させるために使用されます。値 0 が設定されている場合、モジュールは組み込みアルゴリズムを使用して、使用するパフォーマンス バッファの数を計算します。
PerfBuffer Oper	パフォーマンス バッファは、現在このポートで動作しています。
Oper Rx	ピア Interconnect_Port から受信したクラス 2、クラス 3、クラス F フレームを保持するために使用できる受信バッファの最大数。
Oper Tx	ピア Interconnect_Port に送信されるクラス 2、クラス 3、クラス F フレームを保持するために使用可能なバッファの総数。
Current Rx	このポートの受信バッファ間クレジットの現在の値。
現在の送信	このポートの送信バッファ間クレジットの現在の値。
BbScn Notify	バッファ間状態変更番号 (BB_SC_N) モードが有効になっているかどうかを示します。オンにすると、BB_SC_N モードが有効になります。オフにすると、BB_SC_N モードが無効になります。

FC の他のインターフェイス

フィールド	説明
PortChannel Id	インターフェイスが属しているポートチャネル。
Fabric WWN	このインターフェイスに付けられたワールドワイドネーム。
Mtu bytes	インターフェイスで送受信できる最大フレームのサイズ (バイト数)。
RxDataFieldSize bytes	このポートで受信できる FT_1 フレームの最大 Data_Field サイズ。

フィールド	説明
HoldTime us	フレームを送信できない場合に、FC ポートがフレームを破棄する前に送信バッファに保持する最大時間。
Auto Port Channel	ポートチャネルを自動的に作成するかどうかを確認します。
FEC Admin	構成されたポート FEC 状態を指定します。
FEC Oper	ポートの現在の動作 FEC 状態を指定します。

FC Interfaces FLOGI

フィールド	説明
FcId	ログインした Nx_Port に割り当てられたアドレス識別子。
PortName	ログインしている Nx_Port のワールドワイド名。
NodeName	ログインした Nx_Port が属するリモート ノードのワールドワイド名。
元の PWWN	このインターフェースの元のポート WWN
バージョン	Fx_Port がファブリック ログインからサポートすることに同意した FC-PH のバージョン。
BBCredit Rx	ログインした Nx_Port から受信したクラス 2、クラス 3 を保持するために使用可能な受信バッファの最大数。これは、ログインした Nx_Port から FC-Port への着信方向のバッファ間フロー制御用です。
BBCredit Tx	ログインした Nx_Port に送信されるクラス 2、クラス 3 フレームを保持するために使用可能なバッファの総数。これは、FC-Port から Nx_Port 方向のバッファ間フロー制御用です。バッファ間フロー制御メカニズムは、それぞれの BbCreditModel で示されます。
CoS	ログインした Nx_Port が FC-Port にサポートを要求し、FC-Port が要求を許可したサービスのクラス。
Class2 RxDataSize	ログインした Nx_Port のクラス 2 受信データ フィールド サイズ。Nx_Port で受信できる FT_1 フレームの最大データ フィールド サイズを指定します。
Class2 SeqDeliv	FC-Port がファブリック ログイン中にクラス 2 の順次配信をサポートすることに同意したかどうか。これは、クラス 2 サービスが合意されている場合のみ意味があります。これは、Fx_Ports にのみ適用されます。
Class3 RxDataSize	ログインした Nx_Port の Class3 受信データ フィールド サイズ。Nx_Port が受信できる FT_1 フレームの最大データ フィールド サイズを指定します。
Class3 SeqDeliv	FxPort がファブリック ログイン中にクラス 3 の順次配信をサポートすることに同意したかどうか。これは、クラス 3 サービスが合意されている場合のみ意味があります。これは、Fx_Ports にのみ適用されます。

FC インターフェイス ELP

フィールド	説明
近接ポート	ピア <code>Interconnect_Port</code> のポート ワールド ワイド名。
ネイバー スイッチ	ピア ノードのノード ワールド ワイド名。
BBCredit Rx	ピアの <code>Interconnect_Port</code> から受信した保留クラス 2、クラス 3、クラス F フレームで使用できる受信バッファの最大数。これは、ピアの <code>Interconnect_Port</code> からローカルの <code>Interconnect_Port</code> への着信方向のバッファ間フロー制御用です。バッファ間フロー制御メカニズムは、それぞれの <code>BbCreditModel</code> で示されます。
BBCredit Tx	ピアの <code>Interconnect_Port</code> に送信される保留クラス 2、クラス 3、クラス F フレームで使用できるバッファの最大数。これは、ローカルの <code>Interconnect_Port</code> からピアの <code>Interconnect_Port</code> への方向のバッファ間フロー制御用です。バッファ間フロー制御メカニズムは、対応する <code>BbCreditModel</code> で示されます。
CoS	ピアの <code>Interconnect_Port</code> がローカルの <code>Interconnect_Port</code> にサポートを要求し、ローカルの <code>Interconnect_Port</code> が要求を許可したサービスのクラス。
Class2 SeqDeliv	ローカルの <code>Interconnect_Port</code> が、Exchange リンク パラメータ スイッチ ファブリック内部リンク サービス リクエスト中にクラス 2 の順次配信をサポートすることに同意したかどうか。これは、クラス 2 サービスが合意されている場合にのみ意味があります。
Class2 RxDataSize	ピア <code>Interconnect_Port</code> のクラス 2 受信データ フィールド サイズ。 <code>Interconnect_Port</code> で受信できる FT_1 フレームの最大データ フィールド サイズを指定します。これは、クラス 2 サービスが合意されている場合にのみ意味があります。
Class3 SeqDeliv	ローカルの <code>Interconnect_Port</code> が、Exchange リンク パラメータ スイッチ ファブリック内部リンク サービス リクエスト中にクラス 3 の順次配信をサポートすることに同意したかどうか。これは、クラス 3 サービスが合意されている場合にのみ意味があります。
Class3 RxDataSize	ピア <code>Interconnect_Port</code> のクラス 3 受信データ フィールド サイズ。 <code>Interconnect_Port</code> で受信できる FT_1 フレームの最大データ フィールド サイズを指定します。これは、クラス 3 サービスが合意されている場合にのみ意味があります。
ClassF X_ID	<code>true</code> の場合、このパラメーターを提供するピア <code>Interconnect_Port</code> は、クラス F の X_ID 割り当て中にインターロックを使用する必要があることを示します。これは、クラス F サービスが合意されている場合にのみ意味があります。

ClassF RxDataSize	ピア <code>Interconnect_Port</code> のクラス F 受信データ フィールド サイズ。クラス F サービスは、常に 2 つの <code>Interconnect_Port</code> 間で合意されます。 <code>Interconnect_Port</code> で受信できる FT_1 フレームの最大データ フィールド サイズを指定します。
フィールド	説明
ClassF ConSeq	シーケンス受信側としてシーケンスの進行状況を追跡するためのパラメータを提供する <code>Interconnect_Port</code> によって提供されるシーケンス ステータス ブロックの数。指定できる同時シーケンスの最大数は 255 です。このフィールドの N/A の値は予約されています。
ClassF EECredit	付随する ACK または <code>Link_Response</code> フレームを受信せずに <code>Interconnect_Port</code> によって送信できるクラス F データ フレームの最大数。エンド ツー エンド クレジットの最小値は 1 です。指定されたエンド ツー エンドのクレジット フィールドは、クラス F フレームの <code>Data_Field</code> を保持し、パラメータを提供する <code>Interconnect_Port</code> によってその <code>Data_Field</code> の内容を処理するために使用可能なバッファの数に関連付けられます。
ClassF OpenSeq	交換ごとのオープン シーケンスは、1 回の交換の <code>Interconnect_Port</code> のペア間で受信側で一度にオープンできるシーケンスの最大数を指定するものとします。この値は、交換とシーケンスの追跡に使用されます。

FC インターフェイスのトランク構成

フィールド	説明
Admin	<p>ユーザーが構成したトランキング モード。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>nonTrunk</code> に設定すると、ポートはネゴシエーションを行い、リンクを非トランキング モードに変換します。このポートとピア ポートの <code>OperTrunkMode</code> は、複数の VSAN トラフィックを伝送しません。 • <code>trunk</code> に設定すると、ピア ポートが <code>trunk</code> または <code>auto</code> の場合にのみ、ポートはネゴシエーションを行い、リンクをトランキング モードに変換します。 • <code>auto</code> に設定すると、ピア ポートが <code>trunk</code> の場合にのみ、ポートはリンクをトランク リンクに変換します。
Oper	ポートの現在のトランキング モード。
許可された VSAN	ポートがトランキング モードで動作しているときに、ポートで送受信できる VSAN のリスト。複数の VSAN に所属させることができるのは、トランク モードで動作しているポートだけです。
Up VSANs	このポートが関連付けられている、動作状態がアップの VSAN のリスト。複数の VSAN に関連付けさせることができるのは、トランク モードで動作しているポートだけです。これは、トランク モードで動作しているポートにのみ適用されます。

FCIP はトランクの障害をインターフェイスする (FCIP Interfaces Trunk Failures)

フィールド	説明
FailureCause	指定された VSAN のトランク ステータスにエラーがある場合、このテーブルにエントリが表示されます。

FC インターフェイス IP

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの名前。
イーサネット インターフェイス	イーサネット インターフェイスを識別する一意の値。
イーサネットのステータス	イーサネット インターフェイスの現在の動作状態。
Ethernet IP Address	このエンティティのインターネットアドレス。
ピアIPアドレス	このエンティティのインターネットアドレス
ポート	最新の CDP メッセージでレポートされたポート ID 文字列。
ピアインターフェイス	このリンクが関連するデバイスのピア インターフェイスを識別する一意の値。
Peer Device Id	最新の CDP メッセージでレポートされたピア デバイス ID 文字列。
IP Security Enabled	IP セキュリティをオンにするかどうかを指定します。

FC インターフェイスの物理的特徴

フィールド	説明
BeaconMode	有効にすると、インターフェース LED が点滅モードに変わって、特定のインターフェースを簡単に識別できるようになります。
ConnectorPresent	true の場合、物理コネクタがあります。
ConnectorType	ポート コネクタのモジュール タイプ。
TransmitterType	ポート トランシーバのテクノロジー。
ベンダー	コネクタ装置のベンダー。
PartNumber	コネクタ装置の部品番号。
リビジョン	コネクタ装置のポート リビジョン。
SerialNo	コネクタ装置のシリアル番号。

FC インターフェイス機能

フィールド	説明
FC-PH Vers 低	FC-Port がサポートできる FC-PH の最低バージョン。
FC-PH Vers High	FC-Port がサポートできる FC-PH の最高バージョン。
RxDataSize 最小	FC ポートがアタッチされた FC ポートから受信できるフレーム内のデータフィールドの最小サイズ (バイト単位)。

RxDataSize 最大	FC ポートがアタッチされた FC ポートから受信できるフレーム内のデータフィールドの最大サイズ (バイト単位)。
フィールド	説明
HoldTime Min	FC ポートがサポートできる最小保持時間 (マイクロ秒)。
HoldTime Max	FC ポートがサポートできる最大保持時間 (マイクロ秒)。
CoS	FC ポートがサポートできる一連のサービス クラスを示すビット マスク。
ServiceStateCapable	このインターフェイスがサービス状態の変更を処理できるかどうかを示します。
PortRateMode 対応	このインターフェイスが専用または共有ポート レート モードとして構成できるかどうかを示します。
AdminRxBbCreditExtendedCapable	true の場合、インターフェイスの拡張バッファツウバッファ クレジットを変更できます。ユーザーは、このインターフェイスでオブジェクト <code>fcIfAdminRxBbCreditExtended</code> を構成できます。
Class2Seq Deliv	FC-Port がクラス 2 シーケンシャル デリバリをサポートできるかどうかを示すフラグ。
Class3Seq Deliv	FC-Port がクラス 3 シーケンシャル デリバリをサポートできるかどうかを示すフラグ。

FC Interfaces FICON Peer

フィールド	説明
TypeNumber	ピア ノードのタイプ番号。たとえば、タイプ番号は 002105 などになります。
SerialNumber	製造時にピア ノードに割り当てられたシーケンス番号です。たとえば、シリアル番号は 000000023053 などになります。
タグ	このポートに接続しているピア ノード内のポートの ID です。
FcId	NX-Port に割り当てられたアドレス識別子
ステータス	行のステータス (valid、invalid、old) を指定します。
名前	このポートの名前。
メーカー	ピア ノードを製造した会社の名前。たとえば、製造元の情報は HTC などになります。
ModelNumber	ピア ノードのモデル番号。たとえば、モデル番号は F20 などになります。
PlantOfMfg	ピア ノードの製造工場を識別する工場コード。たとえば、製造工場コードは 00 などになります。

UnitType	このポートが通信しているピア ノードのタイプ。
アラート	このインターフェイスで発生したリンク インシデントのタイプ。

インターフェイス NPorts (SVC)

フィールド	説明
Pwwn	仮想 N ポートの WWN (ワールドワイド名)。
Fcid	仮想 N ポートのファイバチャネル ID。
ステータス	仮想 N ポートの動作状態。
DownReason	状態のインスタンスによって示されている N ポートの状態が「ダウン」である場合、この値は、この N ポートが「ダウン」である理由を示します。

インターフェイス セッション

フィールド	説明
NportPwwn	このセッションに属する N ポートの WWN。
PeerPwwn	このセッションのリモート N ポートの WWN。
PeerNwwn	このセッションのリモート N ポートの WWN。
PeerFcid	このセッションのリモート ポートのファイバチャネル識別子。

IP 統計 TCP

フィールド	説明
AttemptFails	TCP 接続が SYN-SENT 状態または SYN-RCVD 状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数と、TCP 接続が SYN-RCVD から LISTEN 状態に直接遷移した回数を足した回数。
InErrs	エラーを受信したセグメントの合計数 (例えば、不良な TCP チェックサム)。
ActiveOpens	TCP 接続が CLOSED 状態から SYN-SENT 状態に直接遷移した回数。
PassiveOpens	TCP 接続が LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に直接遷移した回数。
EstabResets	TCP 接続が ESTABLISHED 状態または CLOSE-WAIT 状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数。
InSegs	エラーで受信したセグメントを含む受信セグメントの総数。この数には、現在確立されている接続で受信したセグメントが含まれます。
OutSegs	送信済みのセグメントの総数。現在の接続上のセグメントなどを含むものが、再送信バイトだけを含むセグメントは除きます。

RetransSegs	再送信済みのセグメントの合計数。つまり、過去に 1 バイト以上送信したことがあるデータを含む TCP セグメントの数。
OutRsts	RST フラグを含む送信された TCP セグメントの数。

ポート チャネルイーサネット インターフェイス

フィールド	説明
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。
MTU	インターフェイスで送受信できる最大フレームのサイズ (バイト数)。
PhysAddress	そのプロトコルでのインターフェイスのアドレス。
Admin	インターフェイスの適切な状態。
Oper	インターフェイスの現在の動作状態。
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態にいつ移行したか。ローカル ネットワーク管理サブシステムの前の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。
IPAddress/Mask	インターフェイスの IP アドレスとマスク。
iSCSI AuthMethod	このインターフェイスの認証方法。
iSNS ProfileName	このインターフェイスの iSNS サーバー プロファイル名。

ポート チャネル FC インターフェイス

フィールド	説明
PortVsan	インターフェイスが静的に割り当てられている VSAN。
説明	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。
管理モード	ユーザーが構成したポート モード。ユーザーがポートを auto(1) として構成した場合、ポートの初期化スキームによってポートのモードが決定されます。この場合、ユーザーは OperMode を調べて、ポートの現在の動作モードを判断できます。 auto(1) または ePort(4) のみが許可されません。
Oper Mode	ポートの現在の動作モード。
管理速度	ユーザーが構成したポート速度。
動作速度	インターフェイスの現在の帯域幅/秒。
Admin Status	インターフェイスの適切な状態。
動作ステータス	インターフェイスの現在の動作状態。

FailureCause	ポートの現在の動作状態の原因。
フィールド	説明
LastChange	インターフェイスが現在の動作状態に移行した時刻。プロキシ エージェントの最後の再初期化に先立って現在の状態になった場合、この値は 0 または N/A です。

ポート チャネル全般

フィールド	説明
管理モード	ネットワーク管理者が希望するチャンネル モード。
動作モード (Oper Mode)	ポートの現在の動作チャンネル モード。
強制	<p>ポート チャネル ポートにポートを追加する方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> オフにすると、このポート チャネルに追加されるポートのパラメータに対して互換性チェックが実行されます。追加するポートには、ポート チャネル ポートと同じ物理パラメータおよび構成パラメータが必要です。 オンにすると、物理パラメータのみで互換性チェックが実行されます。このポート チャネル ポートに追加するポートには、同じ物理パラメータが必要です。操作は、物理パラメータが同じでない場合にのみ失敗します。追加されるポートの構成パラメータは、このポート チャネル ポートの構成パラメータによって上書きされます。
インターフェイス別のメンバーリスト	このポート チャネル ポートのメンバーである E_port のリスト。
FICON によるメンバーリスト	このポート チャネル ポートのメンバーである E_port のリスト。
MemberList LoadBalanced	PortChannel にアクティブに参加しているポート。
LastAction Status	ポート チャネル ポートのメンバー リストを変更するために実行された最後の操作（メンバーの追加または削除）のステータス。ポートが追加されていないか、最後の操作が成功した場合、この値は成功になります。この値が失敗だった場合、ユーザーは LastAddStatusCause を調べて失敗の理由を見つけることができます。
LastAction FailureCause	ポート チャネル ポートのメンバー リストを変更するために実行された最後の操作（メンバーの追加または削除）が失敗した原因。
LastAction Time	このエントリで最後にアクションが実行された時刻を示すタイムスタンプ。
CreationTime	このエントリの作成時刻のタイムスタンプ。

FICON Address	FICON のポート アドレス。空の場合、このチャンネルは FICON によって使用されません。（この列は、FICON が有効な場合に表示されます。ポートチャンネルが自動作成されたものである場合、この列はグレー表示されま
---------------	--

FlexAttach グローバル

フィールド	説明
VirtualPwwnauto	すべての F_port インターフェイスで仮想 WWN の自動生成を有効にします。VirtualPWWNauto の値が「true」に設定されている場合、VirtualWWN テーブルのすべてのエントリの VirtualWWN Auto の値は暗黙的に true に設定されます。

FlexAttach 仮想 PWWN

フィールド	説明
virtual pWWN	これは、このインターフェイスの仮想ポート WWN です。VirtualWwnAuto の値が「true」の場合、この仮想 pWWN の値はデバイスによって自動的に生成されます。この pWWN の値が明示的に設定した場合、VirtualWwnAuto の値は暗黙的に「false」に設定されます。pWWN の長さがゼロの場合、自動仮想 WWN 生成は無効になります。この pWWN は長さゼロに設定できません
自動	このインターフェイスでの仮想 WWN の自動生成を有効にします。VirtualWwnPwwn の値が明示的に設定されている場合、Auto の値は暗黙的に false に設定されます。また、この Auto が「true」に設定されている場合、VirtualWwnPwwn の値は自動生成された仮想ポート WWN で上書きされます。
LastChange	この仮想 WWN エントリが最後に変更されたときの sysUpTime の値。

FlexAttach 物理 WWN から仮想 WWN へ

フィールド	説明
virtual pWWN	これは、このデバイスポート WWN の仮想ポート WWN です。WWN の衝突を最小限に抑えるために、この仮想 pWWN の 2 つのインスタンスに同じ値を持たせることはできません。 注 ：対応するデバイスがログインしている場合、仮想 pWWN を変更することはできません。
LastChange	この仮想 WWN エントリが最後に変更されたときの sysUpTime の値。

FIPS

フィールド	説明
ModeActivation	デバイスの FIPS モードをイネーブルまたはディセーブルにします。FIPS 140-2 は暗号モジュールに関する一連のセキュリティ要件であり、暗号モジュールに対する米国政府の要求条件を詳細に記述しています。モジュールは、ハードウェアとソフトウェアの両方で構成されます（たとえば、データセンターのスイッチングまたはルーティング モジュール）。FIPS モードをイネーブルにするための要求が受信され、その要求に応じて一連のセルフテストが正常に実行される場合、モジュールは FIPS 対応モードにあると言われます。セルフテストが失敗した場合は、適切なエラーが返されます。

FCIP FICON Configuration

フィールド	説明
インターフェイス	このリンクに関連する FCIP デバイスのインターフェイスを識別する一意の値。
VSAN List Admin	Ficon テープ アクセラレーションが設定される VSAN（1 ～ 2047 の範囲）のリスト。存在する CISCO-FICON-MIB の cficonVsanEntry がある VSAN のみ、Ficon テープ アクセラレーション用に構成できます。
VSAN List Oper	Ficon テープ アクセラレーションの動作が「オン」になっている VSAN（1 ～ 2047 の範囲）のリスト。

ポート チャネルの自動作成

フィールド	説明
チャンネル	このポート チャネルのチャンネル グループ モード。
永続	ポート チャネルが永続的である場合は True。

SPAN セッション

フィールド	説明
Dest Interface	SPAN 宛て先ポート インターフェイス。
Filter VSAN List	このセッションに割り当てられる VSAN。
Status Admin	アクティブなセッションを一時停止にするか、非アクティブのセッションをアクティブにします。
Status Oper	セッションの現在の状態。
[説明 (Description)]	セッションステータスの説明。
VSAN List	このセッションに割り当てられる VSAN。
Or Interface (Direction)	セッション用に構成される宛て先ポート ID。
Inactive Reason	このセッションがアクティブになっていない理由の説明。

SPAN グローバル

フィールド	説明
MaxQueuedSpanPackets	このフィールドは、すべての SPAN セッションに対するドロップしきい値パケット数を指定します。[MaxQueuedSpanPackets] フィールドは、アクティブなセッションが存在しないときにのみ使用できます。

SPAN 送信元インターフェイス

フィールド	説明
[Interface]、[Direction]	セッション用に設定される宛先ポート ID、およびトラフィックの方向。

ポート トラッキングの依存関係

フィールド	説明
リンクされた、宛て先インターフェイス	追跡を行っているインターフェース。
VSAN Type	単一の VSAN とすべての VSAN のどちらを追跡しているか。
VSAN ID	単一の VSAN を追跡している場合、その VSAN の ID。

ポート トラック強制シャットダウン

フィールド	説明
インターフェイス	強制シャットダウンモードを構成するポートのインターフェイス。
強制シャットダウン	true の場合、ポートは管理上停止されるため、手動でポートを起動する必要があります。false の場合、ポートは運用上のみ停止するので、追跡対象のポートのいずれかが起動するとすぐに再び起動します。

ポート ガード

フィールド	説明
インターフェイス	インターフェイスの名前
有効	インターフェイスがアップ状態とダウン状態の間で変化しないようにするか、状態を継続的に変化するのを許可するかを指定します。
Duration (sec)	ポートが状態を変更できる期間を指定します。
フラップ数	Duration で指定された時間内にポートがフラップできる回数を指定します。
Oper	インターフェイスの動作状態。

帯域幅予約：48 ポート 96 Gbps ファイバチャネル モジュール

RateMode 構成マクロ	【説明 (Description)】
各グループの最初のポートは 4 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 8 Gbps を共有	各グループの最初のポートに 4 Gbps のレート モードと管理速度を割り当て、残りのポートは、ポートの動作速度に応じて 8 Gbps を共有
各グループの最初のポートは 8 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 8 Gbps を共有	各グループの最初のポートに 8 Gbps のレート モードと管理速度を割り当て、残りのポートは、ポートの動作速度に応じて 8 Gbps を共有
すべてのポートで 8 Gbps を共有 (初期設定およびデフォルト設定)	使用可能なすべてのポートに 8 Gbps のレート モードと管理速度を割り当てます。これがデフォルト設定です。

帯域幅予約：48 ポート 48 Gbps ファイバチャネル モジュール

RateMode 構成マクロ	【説明 (Description)】
各グループの最初のポートは 2 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 4 Gbps を共有	各グループの最初のポートに 2 Gbps のレート モードと管理速度を割り当て、残りのポートはポートの動作速度に応じて 4 Gbps を共有
各グループの最初のポートは 8 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 4 Gbps を共有	各グループの最初のポートに 8 Gbps のレート モードと管理速度を割り当て、残りのポートはポートの動作速度に応じて 4 Gbps を共有
すべてのポートで最大 4 Gbps を自動共有 (初期設定およびデフォルト設定)	使用可能なすべてのポートに最大レート モードと 4Gbps の管理速度を割り当てます。これがデフォルト設定です。

帯域幅予約：24 ポート 48 Gbps ファイバチャネル モジュール

RateMode 構成マクロ	【説明 (Description)】
各グループの最初のポートは 8 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 8 Gbps を共有	各グループの最初のポートにレートモードと 8 Gbps の管理速度を割り当て、残りのポートはポートの動作速度に応じて 8 Gbps を共有します
すべてのポートで自動を共有 (初期設定およびデフォルト設定)	使用可能なすべてのポートに 8 Gbps のレートモードと管理速度を割り当てます。これがデフォルト設定です。

帯域幅予約：48 ポート 256 Gbps ファイバーチャネル モジュール

RateMode 構成マクロ	【説明 (Description)】
6 ポートの各ポートグループのうち、最初の 4 つのポートは 8 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 8 Gbps を共有	各 6 ポートポートグループの最初の 4 ポートに 8 Gbps のレートモードと管理速度を割り当て、残りのポートはポートの動作速度に応じて 8 Gbps を共有します。
各グループの最初のポートは 8 Gbps 専用ポートで、残りのポートは 8 Gbps を共有	各グループの最初のポートに 8 Gbps のレートモードと管理速度を割り当て、残りのポートはポートの動作速度に応じて 8 Gbps を共有します。
すべてのポートで共有された 8G	使用可能なすべてのポートに 8 Gbps のレートモードと管理速度を割り当てます。これがデフォルト設定です。
すべてのポートの専用 4G	使用可能なすべてのポートに 4Gbps のレートモードと管理速度を割り当てます。

RateMode 構成マクロ	[説明 (Description)]
専用 10G 次のポート : <ul style="list-style-type: none"> • 4、5、6、7、8、10 (ポート 1、2、3、9、11、 12。 無効化) • 16、17、18、19、 20、22 (ポート 13、14、 15、 21、23、24 無効化) • 28、29、30、31、 32、34 (ポート 25、26、27、33、 35、36 無効化) • 40、41、42、43、 44、46 (ポート 37、38、39 45、 47、48 無効化) 	次のポートに 10Gbps のレート モードと管理速度を割り当てます。

帯域幅予約 : 32 ポート 256 Gbps ファイバチャネル モジュール

RateMode 構成マクロ	[説明 (Description)]
すべてのポートで専用の 8 Gbps	使用可能なすべてのポートに 8 Gbps のレート モードと管理速度を割り当てます。
すべてのポートで 8 Gbps を共有 (初期設定およびデフォルト設定)	すべての使用可能なポートに、レート モードと共有の 8 Gbps の管理速度を割り当てます。

<p>次のポートの専用 10G :</p> <ul style="list-style-type: none">• 2、3、4、5、6、8 (ポート 1 および 7 無効化)• 10、11、12、13、 14、16 (ポート 9 および 15 は無効)• 18、19、20、21、 22、24 (ポート 17 および 23 無効化)• 26、27、28、29、 30、32 (ポート 25 および 31 無効化)	<p>指定されたポートに 10Gbps のレートモードと管理速度を割り当てます。</p>
---	--

DS-X9448-768K9 (Luke) ラインカード帯域幅の予約

RateMode 構成マクロ	[説明 (Description)]
<p>次のポートの専用 10G :</p> <ul style="list-style-type: none">• ポート 1 ~ 8• ポート 9 ~ 16• ポート 17 ~ 24• ポート 25 ~ 32• ポート 33 ~ 40• ポート 41 ~ 48	<p>指定されたポートに 10 Gbps の専用レートモードと管理速度を割り当てます。</p>
<p>次のポートで 10G を構成解除します。</p> <ul style="list-style-type: none">• ポート 1 ~ 8• ポート 9 ~ 16• ポート 17 ~ 24• ポート 25 ~ 32• ポート 33 ~ 40• ポート 41 ~ 48	<p>指定されたポートでデフォルトのレートモードと管理速度に戻します。トランシーバの周波数は FC に設定されています。この操作は中断を伴います。</p>

FC

ここでは、次のエリアについて説明します。

- [VSAN 全般](#)
- [VSAN メンバーシップ](#)
- [VSAN Interop-4 WWN](#)
- [VSAN タイマー](#)
- [VSAN デフォルト ゾーン ポリシー](#)
- [IVR ローカル トポロジ](#)
- [IVR ファブリック ID](#)
- [IVR デフォルト ファブリック ID](#)
- [IVR のアクション](#)
- [IVR RDI VSAN](#)
- [IVR アクティブ トポロジ](#)
- [IVR ゾーンセット ステータス](#)
- [IVR の不一致](#)
- [IVR ドメイン](#)
- [IVR FCID](#)
- [IVR ゾーンセット アクティブ ゾーン](#)
- [IVR ゾーンセットのアクティブ ゾーン属性](#)
- [IVR ゾーンセット名](#)
- [DPVM アクション](#)
- [DPVM 構成データベース](#)
- [DPVM アクティブ データベース](#)
- [実行中のドメイン マネージャ](#)
- [Domain Manager の設定](#)
- [ドメイン マネージャのドメイン](#)
- [ドメイン マネージャの統計](#)
- [ドメイン マネージャ インターフェイス](#)
- [ドメイン マネージャの永続 FCID](#)
- [ドメイン マネージャが許可するドメイン ID](#)
- [ゾーンセットのアクティブ ゾーン](#)
- [ゾーン解除されたゾーンセット](#)
- [Zoneset Status](#)

- ゾーンセットのポリシー
- ゾーンセットのアクティブ ゾーン属性
- ゾーンセット拡張
- ゾーンセット読み取り専用違反
- ゾーンセット統計
- ゾーンセット LUN ゾーニング統計
- ゾーンセットのメンバー
- ファブリック構成サーバーの検出
- ファブリック構成サーバー インターコネクト要素
- ファブリック構成サーバーのプラットフォーム (エンクロージャ)
- ファブリック構成サーバー ファブリック ポート
- FC ルート
- FDMI HBA
- FDMI ポート
- FDMI バージョン
- フロー統計
- FCC
- 診断
- FSPF 全般
- FSPF インターフェイス
- FSPF インターフェイスの統計情報
- SDV 仮想デバイス
- SDV 実デバイス
- LUN ディスカバー
- LUN ターゲット
- LUN
- デバイス エイリアス
- デバイス エイリアスの構成
- デバイス エイリアスのモード
- デバイス エイリアスの不一致
- ネーム サーバー全般
- ネームサーバー詳細
- ネーム サーバー プロキシ
- ネーム サーバー統計情報
- 優先パス マップとルート

- アクティブな優先パス マップ
- 優先パス すべて的一致基準
- 優先パスのアクティブな一致基準
- 優先パスのすべての設定
- RSCN Nx 登録
- RSCN マルチ PID サポート
- RSCN イベント
- RSCN 統計情報
- マルチキャスト ルート
- QoS ポリシー マップ
- QoS クラス マップ
- QoS 一致ステートメント
- ポリシー マップによる QoS クラス マップ
- VSAN による QoS ポリシー マップ
- QoS DWRR
- QoS レート制限
- タイマーとポリシー
- WWN マネージャ
- NPV トラフィック マップ
- NPV ロードバランサ
- NPV 外部インターフェイスの使用状況
- NP リンク

VSAN 全般

フィールド	説明
名前	VSAN の名前。デフォルト値は文字列 VSANxxxx であり、xxxx は vsanIndex の値を 4 桁で表したものであることに注意してください。たとえば、vsanIndex が 23 の場合、デフォルト値は VSAN0023 です。
MTU	VSAN の MTU。通常、これは 2112 です。
LoadBalancing	VSAN で使用されるロード バランシングの種類です。 <ul style="list-style-type: none"> • srcdst : パス選択に送信元 ID と接続先 ID を使用 • srcdst 0xld : 送信元、接続先、交換 ID を使用

フィールド	説明
相互運用性	この VSAN のローカル スイッチの相互運用モード。 <ul style="list-style-type: none"> • 標準 • 相互運用性 - 1 • 相互運用性 - 2 • 相互運用性 - 3
AdminState	この VSAN の状態。
OperState	VSAN の動作状態。
InOrderDelivery	デバイスの InOrderDelivery 保証フラグ。true の場合、順序どおりの配信が保証されます。false の場合、保証されません。
DomainID	永続的なドメイン ID を指定します。
FICON	VSAN が FICON 対応の場合は true。
ネットワーク遅延	この VSAN でのこのスイッチのネットワーク遅延。これは、送信された順序で配信されない場合にフレームがドロップされるまでの時間です。

VSAN メンバーシップ

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの名前
ポート	VSAN の FC ポート
チャネル	VSAN のポートチャネル
FCIP	VSAN の FCIP インターフェイス
iSCSI	VSAN の iSCSI インターフェイス
FICON	FICON による VSAN のインターフェイス
FC 仮想インターフェイス	VSAN の仮想 FC インターフェイス

VSAN Interop-4 WWN

フィールド	説明
VSAN ID	McData スイッチを含む VSAN の ID。
WWN	McData スイッチの WWN。

VSAN タイマー

フィールド	説明
VSAN Id	VSAN の ID。

フィールド	説明
R_A_TOV	Recovery_Qualifier などの NxPort リソースをいつ再利用するかを決定するためのタイムアウト値として FxPort に使用される Resource_Allocation_Timeout 値。これは、E_D_TOV に、フレームがファブリック内で遅延しても配信される可能性のある最大時間の 2 倍を加えたものを表します。ファブリック内のすべてのスイッチは、このタイムアウトを同じ値で構成する必要があることに注意してください。
D_S_TOV	分散サービス リクエストが応答を待機する時間を示す Distributed_Services_Timeout 値。
E_D_TOV	エラー状態を検出するためのタイムアウト値として FxPorts で使用される Error_Detect_Timeout Value です。ファブリック内のすべてのスイッチは、このタイムアウトを同じ値で構成する必要があることに注意してください。値は D_S_TOV の値より小さくならないことに注意してください。
NetworkDropLatency	この VSAN でのこのスイッチのネットワーク遅延。

VSAN デフォルト ゾーン ポリシー

フィールド	説明
[ゾーンの動作 (Zone Behavior)]	VSAN の作成時のデフォルト ゾーン動作の初期値を表します。VSAN が削除され、再度作成された場合、デフォルトのゾーン動作は、このオブジェクトに指定された値に設定されます。
[伝播モード (Propagation Mode)]	VSAN の作成時のゾーンセット伝播モードの初期値を表します。VSAN が削除され、再作成された場合、ゾーン セット伝搬モードは、このオブジェクトに指定された値に設定されます。

IVR ローカル トポロジ

フィールド	説明
VSAN List	このデバイスの IVR トポロジの一部である構成済み VSAN のリスト。

IVR ファブリック ID

フィールド	説明
VSAN List	このデバイスの IVR トポロジの一部である構成済み VSAN のリスト。

IVR デフォルト ファブリック ID

フィールド	説明
Fabric Id	このスイッチの構成済みのデフォルト自律ファブリック ID。

IVR のアクション

フィールド	説明
Activate Local Topology	このオブジェクトをアクティブに設定すると、構成された IVR トポロジがこのデバイスでアクティブになるように要求されます。つまり、IVR トポロジの現在の構成が複製され、その複製がアクティブな IVR トポロジになります。
アクティブ	このオブジェクトは、IVR トポロジがアクティブかどうかを示します。 true の場合、IVR トポロジはアクティブです。 false の場合、IVR トポロジはアクティブではありません。
アクティベーション時間	IVR トポロジが最後にアクティブ化された日時。IVR トポロジがローカル ネットワーク管理サブシステムの前回の初期化以前に現在の状態に移行した場合、この値は N/A です。
IVR NAT を有効にします	VSAN 境界を越えた FCID および VSAN 識別子の変換を有効にします。 true の場合、フレームが VSAN 境界を越えると、VSAN 識別子とエンドデバイスの FCID 全体が変更されます。
自動検出トポロジ	自動 VSAN トポロジディスカバリを有効にします。 true の場合、自動 VSAN トポロジディスカバリがオンになります。IVR プロセスは相互に通信して、すべての IVR 対応スイッチに物理トポロジのグローバル ビューを提供します。 false の場合、自動 VSAN トポロジディスカバリ検出はオフになります。

IVR RDI VSAN

フィールド	説明
FC ドメイン リストへの仮想ドメインの追加	このオブジェクトは、VSAN 内の仮想ドメインがその VSAN のドメイン リストに追加されている VSAN を一覧表示します。

IVR アクティブ トポロジ

フィールド	説明
VSAN List	このデバイスの IVR トポロジの一部である VSAN のリスト。

IVR ゾーンセット ステータス

フィールド	説明
ステータス (Status)	この VSAN 上のアクティブな IV ゾーンセットのステータス。

IVR の不一致

フィールド	説明
-------	----

不一致	強制された（アクティブな）IV ゾーンセットのチェックサム。
フィールド	説明
RegionID	CFS 構成がサポートされているリージョンを識別します。

IVR ドメイン

フィールド	説明
ドメイン ID	VSAN を表すために使用される FC ドメイン ID。

IVR FCID

フィールド	説明
FCID	デバイスを表すために IVR が使用する FCID。

IVR Zoneset アクティブ ゾーン

フィールド	説明
VSAN Id	IVR VSAN ID。
ゾーン	アクティブな IVR ゾーン名。
Fabric Id	自律ファブリック ID。
スイッチ インターフェイス	ゾーン メンバーが接続されているスイッチ インターフェイス。
名前	ゾーンのメンバー名。
WWN	ゾーン メンバー WWN。
Fcid	ゾーン メンバーの FC ID。
LUN	ゾーン メンバーの LUN。
ステータス	<ul style="list-style-type: none"> • ファブリック内にはない：ゾーン メンバーがファブリック内に存在しない場合。 • VSAN 内にはない：ゾーン メンバーが VSAN 内に存在しない場合。 • 該当なし：ステータスを判断できません。 • 空：メンバーはファブリックと正しい VSAN に存在しており、ゾーンの他のメンバーと通信できます。

IVR Zoneset アクティブ ゾーン属性

フィールド	説明
ゾーン	アクティブな IVR ゾーン名。
QoS	QoS イネーブルの場合は true、そうでない場合は false です。

QoSの優先順位	QoS 優先度の値（低、中、または高）。
フィールド	説明
ブロードキャスト	この VSAN のこのデフォルト ゾーンでブロードキャスト ゾーニングを有効にするかどうかを指定します。true の場合、有効になります。false の場合、無効になります。

IVR ゾーンセット名

フィールド	説明
VSAN Id	IVR VSAN ID。
ゾーン	アクティブな IVR ゾーン名。
Fabric Id	自律ファブリック ID。
スイッチ インターフェイス	ゾーン メンバーが接続されているスイッチ インターフェイス。
名前	ゾーンのメンバー名。
WWN	ゾーン メンバー WWN。
FcId	ゾーン メンバーの FC ID。
Luns	ゾーン メンバーの LUN。
ステータス	<ul style="list-style-type: none"> • ファブリック内にはない：ゾーン メンバーがファブリック内に存在しない場合。 • VSAN 内にはない：ゾーン メンバーが VSAN 内に存在しない場合。 • 該当なし：ステータスを判断できません。 • 空：メンバーはファブリックと正しい VSAN に存在しており、ゾーンの他のメンバーと通信できます。

DPVM アクション

フィールド	説明
操作	一連のバインディングをアクティブ化するのに役立ちます。
結果	アクティブ化の結果を示します。
ステータス	アクティブ化の状態を示します。true の場合は、最新の操作として、アクティブ化が試みられています。false の場合は、最新の操作として、アクティブ化が試みられていません。
CopyActive to Config	copy(1) に設定すると、アクティブな（強制された）バインディング データベースが構成バインディング データベースにコピーされます。学習済みエントリもコピーされます。
Auto Learn Enable	すべてのポートでローカル デバイスにログインしているデバイスの構成と、それらが関連付けられている VSAN を学習するのに役立ちます。

Auto Learn Clear	自動学習エントリのクリアを支援します。				
Clear WWN	自動学習エントリに対応するポート WWN (pWWN) を表します。	その DP の V M Co nfi g Da tab ase	を クリ ア	するた めに	使用

される

フィールド	説明
スイッチ	スイッチ名。
タイプ	対応するデバイスのインスタンスのタイプを指定します。
WWN または Name または MAC	デバイスのログインを表します。値は、対応するデバイスタイプ (PWWN、NWWN、または MAC) によって異なります。
VSAN ID	cdpvmLoginDev で表されるデバイスがログインするローカルデバイスのポートに関連付けられる VSAN を表します。
スイッチ インターフェイス	デバイスエイリアスを表します。

DPVM アクティブ データベース

フィールド	説明
タイプ	cdpvmEnfLoginDev の対応するインスタンスのタイプを指定します。
WWN または Name または MAC	デバイスのログインを表します。値は、対応するデバイスタイプ (PWWN、NWWN、または MAC) によって異なります。
VSAN ID	cdpvmEnfLoginDev で表されるデバイスがログインするローカルデバイス上のポートの VSAN を表します。
インターフェイス	デバイスエイリアスを表します。
IsLearnt	これが学習済みエントリかどうかを示します。true の場合、学習済みエントリです。false の場合、そうではありません。

実行中の Domain Manager

フィールド	説明
都道府県 (State)	この VSAN のローカルスイッチのドメインマネージャの状態。
DomainID	この VSAN のローカルスイッチのドメイン ID、またはドメイン ID が割り当てられていない場合は 0。
ローカル スイッチ WWN	この VSAN のローカルスイッチの WWN。
ローカル優先順位	この VSAN のローカルスイッチの実行優先度。
プリンシパル スイッチ WWN	この VSAN のプリンシパルスイッチの WWN。プリンシパルスイッチの ID が不明な場合は空の文字列。
主要な優先度	この VSAN のプリンシパルスイッチの実行優先順位。

Domain Manager の構成

フィールド	説明
有効	この VSAN でドメイン マネージャを有効にします。アクティブな VSAN で有効になっている場合、スイッチはプリンシパル スイッチの選択に参加します。無効にすると、スイッチはプリンシパル スイッチの選択にもドメイン割り当てにも参加しません。したがって、ドメイン ID は静的に構成する必要があります。
Running DomainId	<p>この VSAN のローカル スイッチの構成済みドメイン ID。ドメイン ID が構成されていない場合は 0 です。意味は DomainIdType に依存します。タイプが「preferred」の場合、構成されたドメイン ID は「優先ドメイン ID」と呼ばれます。有効な値は 0 ~ 239 です。このドメインを割り当てることができない状況では、任意のドメイン ID が受け入れられます。値「0」は、任意のドメイン ID を意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タイプが「static」（強く要求）の場合、ドメイン ID は「静的ドメイン ID」と呼ばれます。有効な値は 1 ~ 239 です。このドメインが 0 ではないものの、割り当てられない状況では、他のドメイン ID は受け入れられません。 • ドメイン マネージャが VSAN で有効になっている場合、このドメイン ID を要求する RDI（リクエスト ドメイン ID）が送信されます。 • 「優先」の場合にドメイン ID を付与できない場合、または構成された「静的」（強く要求する）ドメイン ID を付与できない場合は、エラー状態です。このエラーが発生すると、その VSAN の E_ports は分離されます。ドメイン マネージャが有効になっていない場合でも、静的（強く要求する）ドメイン ID が（有効な数値に）構成されていれば、その ID が付与されていると見なされます。 • この VSAN でいずれかのドメイン ID がゼロ以外の値で構成されておらず、ドメイン マネージャが有効になっていない場合、スイッチはこの VSAN 上のすべての E_port を分離します。
ドメインタイプ	構成されたドメイン ID のタイプ。
FabricName	この VSAN へのファブリック ログインに使用される WWN。これは、[有効化 (Enable)] が false の場合にのみ使用されます。[有効化 (Enable)] が true の場合、プリンシパル スイッチの WWN が使用されます。長さゼロの値に設定すると、自動的にデフォルト値に設定されます。
優先順位	プリンシパル スイッチの選択プロセスで使用されるスイッチの優先順位。
一連の割り当て	プリンシパル スイッチとして選択されたときのスイッチの動作を決定します。true の場合、スイッチは、RDI 内の連続していないドメイン ID を受け入れません。連続したドメイン ID の RDI を満たすことができない場合、リスト内のすべてのドメイン ID を連続したドメイン ID に置き換えようとしています。false の場合、スイッチはドメイン ID が連続していなくても、通常どおりにドメイン ID を付与します。

Auto Reconfigure	特定のエラー状態に対するスイッチの応答方法を決定します。これらのエラーの原因となる可能性があるのは、2 つの不整合なファブリックがマージされて、ドメイン ID リストがオーバーラップしていることです。true の場合、スイッチは RCF (ReConfigureFabric) を送信してファブリックを再構築します。false の場合、スイッチはエラーが発生した E_ports を分離します。
フィールド	説明
永続的 FCID	true の場合、この VSAN に割り当てられたすべての FC ID は、この VSAN で永続的になります。false の場合、PersistenceTable の VSAN 上のすべてのエントリが削除されます。
Purge FcIds?	FC ID 永続性データベース内のこの VSAN の FC ID を消去するようドメインマネージャに指示します。
Restart?	ドメイン マネージャにドメイン ID ツリーを最初から再構築するように指示します。「disruptive」の場合、ファブリックをエラーから回復させるために、RCF (ReConfigure Fabric) が VSAN で生成されます。「nonDisruptive」の場合、BF (Build Fabric) が VSAN で生成されます。
最適化	フィールドをクリックして、次のいずれかを選択する必要があります。ターボモードを無効にするには、何も選択しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • Fast-Restart - 最適化タイプを高速再起動に設定します。 • Selective-Restart- 最適化タイプを選択的再起動に設定します。

Domain Manager ドメイン

フィールド	説明
SwitchWWN	特定の VSAN に DomainId の対応する値が現在割り当てられているスイッチの WWN。

Domain Manager の統計情報

フィールド	説明
Prin. Sel 合計	この VSAN で選択したプリンシパルスイッチの合計。
Prin. Sel ローカル	ローカルスイッチがこの VSAN のプリンシパルスイッチになった回数。
ファブリック ビルド (BF)	この VSAN で発生した BuildFabric (BF) の回数。
ファブリック 再構成 (Rcf)	この VSAN で発生した ReconfigureFabric (RCF) の回数。
FcId 無料	この VSAN で割り当てられていない FC ID の数。
割り当てられた FcId	この VSAN に割り当てられている FC ID の数。
FcId 予約済み	この VSAN で予約されている FC ID の数。

Domain Manager インターフェイス

フィールド	説明
[役割 (Role)]	次のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • nonPrincipal - 非プリンシパル インターフェイス • principalUpstream - アップストリーム プリンシパル インターフェイス • principalDownstream - ダウンストリーム プリンシパル インターフェイス • isolated - 隔離されたインターフェイス • down - ダウン インターフェイスが不明 • unknown - 不明のインターフェイス
RcfReject	この VSAN とインターフェイスで着信する ReConfigure Fabric (RCF) メッセージを受け入れるかどうかを決定します。true の場合、着信 RCF は拒否されます。false の場合、着信 RCF は受け入れられます。これは、このインターフェイスによって生成された発信 RCF には適用されないことに注意してください。

ドメイン マネージャ 永続 FcId

フィールド	説明
FcId	この VSAN でこの WWN に割り当てられた FC ID。PersistencyNum の値が area の場合、3 番目のオクテットは 0x00 である必要があります。
マスク	この VSAN 上のこの WWN に静的または動的に割り当てられる、PersistencyFcId から始まる FC ID の数。値 1 は、1 つの FC ID のみが割り当てられることを意味します。値 area は、FcId の 2 番目のオクテットで指定されたエリア内のすべての FC ID が割り当てられることを意味します。通常、1 つのエリアに 256 個の FC ID が割り当てられます。[使用済み (Used)] の値が true の場合、この値は変更できません。
使用済み	この FC ID が使用されているかどうかを示します。
割り当て	この FC ID の永続性のタイプ。

Domain Manager が許可する DomainIds

フィールド	説明
リスト	許可されているドメインのリストを提供します。対応するビットの値が 1 の場合、ドメインはこの VSAN で許可されています。長さが 32 バイト未満の値の場合、表されていないドメインはリストに含まれているとは見なされません。このオブジェクトが長さゼロの文字列である場合、この VSAN ではドメインは許可されません。

ゾーンセットのアクティブ ゾーン

フィールド	説明
ゾーン	ゾーン名を指定します。
タイプ	ゾーン メンバー タイプ。
スイッチ インターフェイス	ゾーン メンバーが接続されているスイッチ インターフェイス。
名前	ゾーンのメンバー名。
WWN	ゾーン メンバー WWN。
Fcid	ゾーン メンバーの FC ID。
LUN	ゾーン メンバーの LUN。
ステータス	<ul style="list-style-type: none"> • ファブリック内にはない：ゾーン メンバーがファブリック内に存在しない場合。 • VSAN 内にはない：ゾーン メンバーが VSAN 内に存在しない場合。 • 該当なし：ステータスを判断できません。 • 空：メンバーはファブリックと正しい VSAN に存在しており、ゾーンの他のメンバーと通信できます。

Zoneset ゾーンなし

フィールド	説明
名前	ゾーンのメンバー名。
WWN	ゾーン メンバー WWN。
Fcid	ゾーン メンバーの FC ID。

Zoneset Status

フィールド	説明
ステータス (Status)	最新のアクティベーション/非アクティベーションの結果を示します。
アクティベーション時間	このエントリが最後にアクティブ化された時刻。ローカル ネットワーク管理システムの前回の再初期化以前にこのエントリがアクティブ化されていた場合、この値は N/A です。
FailureCause	ゾーンセットのアクティブ化/非アクティブ化の失敗の理由。
FailedSwitch	Change Protocol の失敗の原因となったファブリック内のデバイスのドメイン ID。
Active == Local?	強制されたデータベースがこの VSAN のローカル データベースと同じかどうかを示します。true の場合、それらは同じです。false の場合、それらは同じではありません。

Active Zoneset	強制された IV ゾーンセットの名前。
フィールド	説明
Hard Zoning	この VSAN でハード ゾーニングが有効になっているかどうかを示します。ハード ゾーニングは、ハードウェアでゾーニングを強制するメカニズムです。true の場合、この VSAN ではハード ゾーニングが有効です。false の場合、この VSAN ではハード ゾーニングが有効ではありません。は

Zoneset ポリシー

フィールド	説明
デフォルトゾーンの動作	この VSAN のデフォルトゾーンの動作を制御します。許可に設定されている場合、この VSAN のデフォルトゾーンのメンバーは相互に通信できます。拒否に設定されている場合、この VSAN のデフォルトゾーンのメンバーは相互に通信できません。
Default Zone ReadOnly	この VSAN で、SCSI ターゲットであるデフォルトゾーンのメンバーで SCSI 読み取り操作が許可されるかどうかを示します。true の場合、SCSI 読み取り操作のみが許可されます。したがって、このデフォルトゾーンは、この VSAN の読み取り専用のデフォルトゾーンになります。false の場合、SCSI の読み取り操作と書き込み操作の両方が許可されます。
Default Zone QoS	この VSAN のデフォルトゾーンの QoS 属性を有効にするかどうかを指定します。true の場合、この VSAN のデフォルトゾーンの QoS 属性が有効になります。false の場合、この VSAN のデフォルトゾーンの QoS 属性は無効になります。
デフォルトゾーン QoS 優先順位	QoS 優先順位を指定します。
Default Zone Broadcast	この VSAN のこのデフォルトゾーンでブロードキャストゾーニングを有効にするかどうかを指定します。true の場合、有効になります。false の場合、無効になります。
伝播	この VSAN でのマージ/変更プロトコル中にゾーンセット情報が伝達される方法を制御します
Read From	管理ステーションが有効なデータベースから読み取るか、コピーデータベースから読み取るかを指定します。

Zoneset のアクティブゾーン属性

フィールド	説明
名前	ゾーン名を指定します。

読み取り専用	この VSAN の SCSI ターゲットであるデフォルト ゾーンのメンバーに、SCSI 読み取り操作のみが許可されるかどうかを示します。true の場合、SCSI 読み取り操作のみが許可されます。したがって、このデフォルト ゾーンは、この VSAN の読み取り専用のデフォルト ゾーンになります。false の場合、SCSI の読み取り操作と書き込み操作の両方が許可されま
フィールド	説明
QoS	この VSAN のデフォルト ゾーンの QoS 属性を有効にするかどうかを指定します。true の場合、この VSAN のデフォルト ゾーンの QoS 属性が有効になります。false の場合、この VSAN のデフォルト ゾーンの QoS 属性は無効になります。
QoSの優先順位	QoS 優先度の値 (低、中、または高) を指定します。
ブロードキャスト	この VSAN のこのデフォルト ゾーンでブロードキャスト ザーニングを有効にするかどうかを指定します。true の場合、有効になります。false の場合、無効になります。

ゾーンセットを拡張

フィールド	説明
Action	basic(1) に設定すると、ゾーン サーバーは FC-GS4 標準規格で定義されている基本モードで動作します。Enhanced(2) に設定すると、ゾーン サーバーは FC-GS4 標準規格で定義されている拡張モードで動作します。
Result	この VSAN 上のローカル ゾーン サーバーの動作モードを設定した結果。
Config DB Locked By	このセッションの所有者を指定します。
Config DB Discard Changes	このセッションでのコピー データベースの内容のコミットまたはクリアを行えるよう支援します。
Config DB Result	czseSessionCntl の対応するインスタンスを commitChanges(1) に設定した結果を示します。
Enforce Full DB Merge	ゾーンのマージ動作を制御します。このオブジェクトが許可に設定されている場合、マージはマージ ルールに従って行われます。制限に設定されている場合、マージ データベースが完全に同一でない場合、デバイス間のスイッチ間リンク (ISL) は隔離されます。
Read From	管理ステーションが有効なデータベースから読み取るか、コピー データベースから読み取るかを指定します。

Zoneset 読み取り専用違反

フィールド	説明
-------	----

Violations	ローカルゾーンサーバーによって送信された、データ保護されたチェック条件エラー レスポンスの数。
------------	---

Zoneset 統計

フィールド	説明
Merge Req Tx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーに送信したマージ要求フレームの数。
フィールド	説明
Merge Req Rx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーから受信したマージ要求フレームの数。
Merge Acc Tx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーに送信したマージ受け入れフレームの数。
Merge Acc Rx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーから受信したマージ受け入れフレームの数。
Change Req Tx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーに送信した変更要求の数。
Change Req Rx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーから受信した変更要求の数。
Change Acc Tx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーに送信した変更応答の数。
Change Acc Rx	このゾーンサーバーがこの VSAN のファブリック内の他のゾーンサーバーから受信した変更応答の数。
GS3 Rej Tx	この VSAN のこのゾーンサーバーが拒否された GS3 要求の数。
GS3 Req Rx	この VSAN のこのゾーンサーバーが受信した GS3 要求の数。

Zoneset LUN ゾーニング統計

フィールド	説明
INQUIRY	ローカルゾーンサーバーが受信した SCSI INQUIRY コマンドの数。
REPORT LUN	ローカルゾーンサーバーが受信した SCSI Report LUN コマンドの数。通常、Report LUN コマンドは LUN 0 に対してのみ送信されます。
SENSE	ローカルゾーンサーバーが受信した SCSI SENSE コマンドの数。
Other Cmds	ローカルゾーンサーバーが受信した SCSI Read、Write、Seek などのコマンドの数。
BadInquiry Errors	ローカルゾーンサーバーによって送信された No LU エラー応答の数。

Illegal Errors	ローカルゾーンサーバーによって送信された Illegal Request Check Condition 応答の数。
----------------	--

Zoneset メンバー

フィールド	説明
Zone	デフォルトゾーン。
Type	FCID。
フィールド	説明
Switch Interface	ゾーンメンバーが接続されているスイッチインターフェイス。
Name	ゾーンのメンバー名。
WWN	ゾーンメンバー WWN。
Fcid	ゾーンメンバーの FC ID。
Luns	ゾーンメンバーの LUN。
Status	<ul style="list-style-type: none"> ファブリック内不在：ゾーンメンバーがファブリック内に存在しない場合。 VSAN 内不在：ゾーンメンバーが VSAN 内に存在しない場合。 該当なし：ステータスを判断できません。 空：メンバーはファブリックと正しい VSAN に存在しており、ゾーンの他のメンバーと通信できます。

ファブリック構成サーバーの検出

フィールド	説明
ステータス (Status)	ローカル スイッチの検出のステータス。最初にスイッチが起動したときには、これはすべての VSAN で <code>databaseInvalid</code> 状態に設定されます。これは、検出を行う必要があることを示しています。検出中、この VSAN の状態は <code>inProgress</code> に設定されます。この VSAN で検出が完了すると、これは <code>completed</code> に設定されます。指定された VSAN のリストの検出が完了すると、データは一定期間キャッシュされます。この期間が経過すると、データは消失し、指定された VSAN のリストのデータベースは <code>databaseInvalid</code> に設定されます。
CompleteTime	この VSAN で直前の検出が完了した時刻。この値は、この VSAN での最初の検出が行われる前は N/A です。

ファブリック構成サーバー インターコネクト要素

フィールド	説明
Type	このインターコネクト要素のタイプ。

DomainID	このインターコネク要素のドメイン ID。ドメイン ID が構成されていない場合、この値は 0 です。
MgmtId	このインターコネク要素の管理識別子。インターコネク要素がスイッチの場合、これはスイッチのドメイン コントローラ識別子になります。
FabricName	このインターコネク要素のファブリック名。
LogicalName	このインターコネク要素の論理名。
ベンダー、モデル、リリース、WWN	このインターコネク要素に対応する情報リスト。
フィールド	説明
MgmtAddrList	インターコネク要素に対応する管理アドレス。

Fabric Config Server プラットフォーム (エンクロージャ)

フィールド	説明
名前	このプラットフォームの名前。
タイプ	このプラットフォームのタイプ。
ConfigSource	このエントリの構成のソース。GS3 経由で構成されたエントリは、SNMP 経由では削除できないことに注意してください。
NodeList	このプラットフォームに対応するノード名リスト。
MgmtAddrList	本プラットフォームに対応する管理アドレス一覧。

ファブリック構成サーバー ファブリック ポート

フィールド	説明
Type	このポートのタイプ。
TxType	このポートの TX タイプ。
ModuleType	このポートのモジュールタイプ。
Interface	このポート エントリに対応する物理番号。
State	このポートの状態。
AttachedPortList	このポートに対応する、アタッチされたポート名のリスト。

FC ルート

フィールド	説明
-------	----

Preference	同じ接続先への複数のルートが異なるプロトコル、ピア、または静的ルートから学習される場合に、あるルートを別のルートよりも優先して選択するために使用される値。プリファレンス値は、単一のルーティングデータベース（RIB）内の同じ接続先へのルートの順序を決定するために使用される、任意に割り当てられた値です。最もプリファレンス値が小さなルートを、アクティブなルートとして選択します。
LastChangeTime	FC ルート テーブルで行が最後に作成、変更、または削除された時刻。
DomainID	ネクスト ホップ スイッチのドメイン ID。ただし、読み取り時に、fcRouteProto の値がローカルだった場合、この値は N/A になる可能性があります。
Metric	このルートのルーティング メトリック。使用方法は、使用する fcRouteProto に依存します。
フィールド	説明
Type	<p>ルートのタイプ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカル(1)：次のホップが最終目的地であるルートを指します。 リモート(2)：次のホップが最終目的地でないルートを指します。これは、マルチキャストおよびブロードキャストルート エントリには関係ありません。

FDMI HBA

フィールド	説明
Sn	HBA のシリアル番号。
Model	この HBA のモデル。
ModelDescr	モデルの説明
OSInfo	この HBA を制御するオペレーティング システムのタイプとバージョン。
MaxCTPayload	この HBA を含むホストに常駐するアプリケーション ソフトウェアによって送受信される可能性のある、すべての CT ヘッダーを含む（FC フレームヘッダーは含まない）共通トランスポート（CT）ペイロードの最大サイズ。

FDMI ポート

フィールド	説明
SupportedFC4Type	この VSAN のこのポートに登録されている、サポートされている FC-4 タイプの属性。
SupportedSpeed	この VSAN のこのポートに登録されている、サポートされている速度。
CurrentSpeed	この VSAN のこのポートに登録されている現在の速度。

MaxFrameSize	この VSAN のこのポートに登録されている、最大フレームサイズの属性。
OsDevName	この VSAN のこのポートに登録されている OS デバイス名属性。
HostName	このポートに関連付けられたホストの名前。

FDMI バージョン

フィールド	説明
Hardware	この HBA のハードウェアバージョン。
DriverVer	この HBA を制御するドライバソフトウェアのバージョンレベル。
OptROMVer	この HBA のオプション ROM または BIOS のバージョン。
Firmware	HBA が実行しているファームウェアのバージョン。

フロー統計

フィールド	説明
Type	フローを選択するための一致基準で、そのようなそのフローは入力トラフィック カウンターにより計測されるトラフィックに含まれる。
VsanId	VSAN の ID。
DestId	接続先ファイバチャネルのアドレス ID。
SrcId	送信元ファイバチャネルのアドレス ID。
Mask	送信元と宛先ファイバチャネルのアドレス ID のマスク。
Frames	ネットワーク マネージャによって作成されたフローの受信フレーム数。
Bytes	ネットワーク マネージャによって作成されたフローの受信フレームのバイト数。
CreationTime	行が作成または変更された時刻を示すタイムスタンプ。

FCC

フィールド	説明
Enable	ファブリック輻輳制御の有効化
Priority	優先度のレベルを指定します。
EdgeQuenchPktsRecd	このポートで受信および処理されたエッジクエンチ パケットの数
EdgeQuenchPktsSent	輻輳の結果としてこのポートで生成されたエッジクエンチ パケットの数。
PathQuenchPktsRecd	このポートで受信および処理されたパス クエンチ パケットの数。
PathQuenchPktsSent	輻輳の結果としてこのポートで生成されたパス クエンチ パケットの数。
CurrentCongestionState	輻輳の重大度を示す、このポートの現在の FCC 輻輳状態。
LastCongestedTime	ポートの輻輳状態が他の値から noCongestion に変化した時刻。デバイスの最後の再起動以降、ポートの輻輳状態が noCongestion に移行していない場合は N/A です。
LastCongestionStartTime	ポートの輻輳状態が noCongestion から他の値に変化した時刻。
IsRateLimitingApplied	true の場合、レート制限は現在このポートに適用されています。

診断

フィールド	説明
値	センサーが検出した最新の測定値を表示します。
Alarms High and Low	温度、電圧、電流、光送信および受信電力に関するインターフェイスの SFP 診断情報の重大度レベルを表します。1 ～ 6 の範囲で、6 が最も重大度が高くなります。
Warnings High and Low	

FSPF 全般

フィールド	説明
AdminStatus	この VSAN での FSPF の望ましい状態。
OperStatus	この VSAN の FSPF の状態。
SetToDefault	これを有効にすると、この行のそれぞれの値がそのデフォルト値に変更されます。すべての構成パラメータがデフォルト値になっており、VSAN が一時停止している場合、行は自動的に削除されます。
RegionId	この VSAN 上のローカル スイッチの自律領域。
DomainID	この VSAN のローカル スイッチのドメイン ID。
SpfHoldTime	VSAN での 2 つの連続した SPF 計算間の最小時間。値が小さいほど、ルーティングは変更により速く反応しますが、CPU 使用率は高くなります。
SpfDelay	FSPF がトポロジアップデートを受信してから、この VSAN で最短パスファースト (SPF) 計算を開始するまでの時間。値が小さいほど、ルーティングは変更により速く反応しますが、CPU 使用率は高くなります。
MinLsArrival	この VSAN でリンク ステート レコード (LSR) を受け入れてから、同じ VSAN で同じ LSR の別の更新を受け入れるまでの最小時間。この時間間隔のために受け入れられなかった LSR 更新は破棄されます。
MinLsInterval	このスイッチがこの VSAN で LSR を送信してから、同じ VSAN で同じ LSR の別の更新を送信するまでの最小時間。
LsRefreshTime	この VSAN でのリフレッシュ LSR の送信間隔。
LSRMaxAge	LSR がこの VSAN の FSPF データベースに保持される最大経過時間。MaxAge に達すると、データベースから削除されます。
CreateTime	このエントリが最後に作成された時刻。
Checksum	この VSAN 上のすべての LSR の合計チェックサム。

FSPF インターフェイス

フィールド	説明
SetToDefault	これを有効にすると、この行のそれぞれの値がそのデフォルト値に変更されます。すべての構成パラメータにデフォルト値になっており、インターフェイスがダウンしている場合、行は自動的に削除されます。
Cost	この VSAN のこのインターフェイスでフレームを送信するための管理コスト。値 0 は、コストが構成されていないことを意味します。値が構成されると、値を再び 0 にすることはできません。したがって、明らかに値を 0 に設定することはできません。値が 0 で、対応するインターフェイスがアップである場合、エージェントはインターフェイスの ifSpeed を使用して計算された値を設定します。それ以外の場合は、値がコストとして使用されます。リンク コストの計算には、次の式が使用されます。Link Cost = { fspfIfCost if fspfIfCost > 0 Link Cost = { fspfIfCost if fspfIfCost > 0 {(1.0625e12 / Baud Rate) if fspfIfCost == 0。ここで、Baud Rate はインターフェイスの ifSpeed です。
AdminStatus	この VSAN のこのインターフェイスでの FSPF の望ましい状態。
HelloInterval	リンクの健全性を確認するために、この VSAN のこのインターフェイスで定期的送信される HELLO メッセージの間隔。この値は、この VSAN のリンクの両端にある両方のインターフェイスで同じである必要があることに注意してください。
DeadInterval	この VSAN のこのインターフェイスで HELLO メッセージを受信できない最大時間。この時間が経過すると、インターフェイスは障害が発生していると見なされ、データベースから削除されます。この値は、この VSAN のこのインターフェイスで指定された HELLO 間隔より大きくなければならないことに注意してください。
RetransmitInterval	この VSAN のこのインターフェイスで、未確認のリンク アップデートが再送信されるまでの時間。
Neighbour State	FSPF のネイバー ステート マシンの状態。これは、このインターフェイスに接続されているネイバーのインターフェイスとの相互作用の動作状態です。
Neighbour DomainId	この VSAN のネイバーのドメイン ID。
Neighbour PortIndex	この VSAN 上のこのインターフェイスに接続されているネイバーのインターフェイスの、ネイバーによって認識されるインデックス。
CreateTime	このエントリが最後に作成された時刻。

FSPF インターフェイスの統計

フィールド	説明
CreateTime	このエントリが最後に作成された時刻。
ErrorRxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで受信した無効な FSPF 制御フレームの数。

InactivityExpirations	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで非アクティブ タイマーが期限切れになった回数。
LsuRxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで受信したリンクステート更新 (LSU) フレームの数。
フィールド	説明
LsuTxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで送信したリンクステート更新 (LSU) フレームの数。
RetransmittedLsuTxPkt s	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで再送信した LSU フレームの数。
LsaRxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで受信したリンクステート確認応答 (LSA) フレームの数。
LsaTxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで送信したリンクステート確認応答 (LSA) フレームの数。
HelloTxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで送信した HELLO フレームの数。
HelloRxPkts	エントリの作成以降、この VSAN のこのインターフェイスで受信した HELLO フレームの数。

SDV 仮想デバイス

フィールド	説明
Name	この仮想デバイスの名前を表します。
Virtual Domain	この仮想デバイスが属する必要があるファブリックの特定のパーティション (ドメイン) を示すための、仮想デバイスの永続的なドメイン ID のユーザー設定。
Virtual FCID	この仮想デバイスの永続的 FCID のユーザー設定。
Port WWN	この仮想デバイスに割り当てられた PWWN。エージェントは、構成がコミットされるときにこの値を割り当てます。
Node WWN	この仮想デバイスに割り当てられた NWWN。エージェントは、構成がコミットされるときにこの値を割り当てます。
Assigned FCID	この仮想デバイスに割り当てられた FCID。エージェントは、構成がコミットされ、この仮想デバイスが仮想化する実際のデバイスがオンラインになったときに、この値を割り当てます。
リアルデバイス マップ リスト	この仮想デバイスがこの VSAN で仮想化する実デバイスのセット。

SDV リアルデバイス

フィールド	説明
-------	----

Type	この仮想デバイスが仮想化する cFcSdvVirtRealDeviceId の対応するインスタンスの値によって表されるリアル デバイス識別子のタイプ。
Name	この仮想デバイスが仮想化するリアル デバイス ID を表します。
Map Type	実デバイス (イニシエータ/ターゲット) のマッピング関連付けタイプ。

LUN の検出

フィールド	説明
StartDiscovery	ローカルの場合、直接接続された SCSI ターゲット デバイス/ポートと、すべての VSAN でそれらに関連付けられた LUN のみが検出されます。リモートの場合、直接接続されているものを除き、ファブリック全体のすべての VSAN でそれらに関連付けられているすべての SCSI ターゲット デバイス/ポートおよび LUN が検出されます。
Type	ターゲットを選択すると、ターゲットのみが検出されます。NS を選択しないと、ターゲットと LUN の両方が検出されます。
OS	LUN を検出する必要があるオペレーティング システムを指定します。
Status	ローカル スイッチでの LUN 検出の結果を示します。最新の検出のステータスが含まれています。 <ul style="list-style-type: none">• inProgress(1) - ディスカバリがまだ進行中であることを示します。• completed(2) - 発見が完了したことを示します。• failure(3) - 発見が失敗したことを示します。
CompleteTime	最後の検出が完了した日時。最後のシステム再起動以降に検出が実行されていない場合、値はゼロまたは N/A になります。

LUN ターゲット

フィールド	説明
VsanId	このターゲットが属す VSAN。
ポートWWN	この許可された/検出されたターゲット デバイスまたはポートの名前。
DevType	SCSI ターゲットのデバイス タイプ。
VendorId	SCSI ターゲットのベンダー ID。
ProductId	SCSI ターゲットの製品 ID。
RevLevel	SCSI ターゲットの製品リビジョン レベル。
OtherInfo	INQUIRY コマンド応答データのバイト 0 ~ 7。

LUN

フィールド	説明
Id	この LUN の番号。
Capacity (MB)	この LUN の容量。
SerialNum	この LUN のシリアル番号。
OS	この LUN が検出されたオペレーティング システム。
FC ID	この LUN のファイバチャネル ID。

デバイスエイリアス

フィールド	説明
Alias	このエントリのデバイスエイリアス。デバイスに構成できるエイリアスは1つだけです。
WWN	デバイスエイリアスが与えられたファイバチャネルデバイス。

デバイスエイリアス構成

フィールド	説明
Device Alias	このエントリのデバイスエイリアス。デバイスに構成できるエイリアスは1つだけです。
WWN	デバイスエイリアスが与えられたファイバチャネルデバイス。

デバイスエイリアスのモード

フィールド	説明
ConfigMode	デバイスエイリアスを構成できるモードを指定します。基本に設定されている場合、デバイスエイリアスは基本動作モードで動作します。基本モードがオンになっている場合、デバイスエイリアスを使用しているすべてのMIBは、それらを同等のpWWNに内部的に変換し、pWWNを使用します。この変換のために従うべきメカニズムは、実装固有です。拡張に設定されている場合、デバイスエイリアスは拡張動作モードで動作します。拡張モードがオンになっている場合、デバイスエイリアスを使用しているすべてのMIBは、変換せずにそのまま使用します。デバイスエイリアスは変換なしで直接使用されます。これはデバイスエイリアスのネイティブ動作モードです。

デバイスエイリアスの不一致

フィールド	説明
Discrepancy	cfdaConfigTable および cfdaConfigMode オブジェクトによって表されるデータベースに対して計算されたチェックサムを表します。このオブジェクトは、上記のオブジェクトがローカルデバイスで変更されたかどうかを確認するために、ネットワークマネージャによって使用されます。チェックサムの計算に使用される方法は、実装固有です。

ネームサーバー全般

フィールド	説明
VSAN ID / FcId	VSAN または FC の ID。

フィールド	説明
Type	このポートのポートタイプ。
PortName	この Nx_port のファイバーチャネル Port_Name (WWN)。
NodeName	この Nx_port のファイバチャネル Node_Name (WWN)。
FC4Type/Features	このポートに関連する FC-4 機能と FC-4 タイプ。形式は FC-GS3 の仕様を参照してください。
FC4の特徴	このポートに関連付けられている FC-4 機能。
ProcAssoc	ファイバチャネルの初期プロセスアソシエータ。
FabricPortName	この Nx_port がアタッチされている Fx_port のファブリックポート名 (WWN)。

ネームサーバーの詳細

フィールド	説明
ClassOfSvc	サービスインジケータのクラス。
PortIpAddress	関連付けられたポートの IP アドレスが含まれています。
NodeIpAddress	送信した GS3 メッセージの Nx_Port によって示される、この Nx_port のノードの IP アドレス。
SymbolicPortName	このポートのユーザー定義名。
SymbolicNodeName	このポートのノードのユーザー定義名。
HardAddress	拡張リンクサービス (FC-PH-2)。ハードアドレスは 24 ビットの NL_Port 識別子であり、以下で構成されます。最上位バイトの 8 ビット：ドメイン ID、次のバイトの 8 ビット：エリア ID、最下位バイトの 8 ビット：NL_port が FC-AL 初期化中に取得を試みる AL-PA (任意ループの物理アドレス)。ポートが NL_Port ではない場合、または NL_Port であるがハードアドレスがない場合は、すべてのビットが 0 として報告されます。
ProcAssoc	ファイバチャネルの初期プロセスアソシエータ (IPA)。
PermanentPortName	この Nx ポートの永続的なポート名。複数のポート名が FDISC (F ポートサービスパラメータの検出) を介してこの Nx ポートに関連付けられている場合、ログイン時にこの Nx ポートに関連付けられた元のポート名が永続的なポート名になります。

ネームサーバープロキシ

フィールド	説明
PortName	この VSAN 上の他のポートを登録/登録解除できるプロキシポートの名前。ユーザーは、この値を設定することにより、サードパーティの登録を有効にすることができます。

ネーム サーバー統計情報

フィールド	説明
Queries Rx	この VSAN のローカル スイッチが受信した Get 要求の総数。
Queries Tx	この VSAN のローカル スイッチが送信した Get 要求の総数。
Requests Rx Reg	この VSAN のローカル スイッチが受信した登録要求の総数。
Requests Rx DeReg	この VSAN のローカル スイッチが受信した登録解除要求の総数。
RSCN Rx	この VSAN のローカル スイッチが受信した RSCN コマンドの総数。
RSCN Tx	この VSAN のローカル スイッチが送信した RSCN コマンドの総数。
Rejects Tx	この VSAN のローカル スイッチが拒否した要求の総数。

優先パス マップとルート

フィールド	説明
VSAN Id、Route Id	この FC ルート マップの VSAN ID。この FC ルート マップ内のルートを識別する任意の整数値。
Map Active	FC ルート マップ内のすべてのルートのアクティブ化/非アクティブ化を許可します。true の場合、この FC ルート マップ内のすべてのルートがアクティブになります。false の場合、この FC ルート マップ内のすべてのルートが非アクティブになります。
Route Strict Preference	優先パス選択ロジックが優先パスを選択する方法を変更できます。これを true に設定した場合、cPrefPathRMapSetIntfPref を使用して設定された優先順位に厳密に従って発信インターフェイスを選択する優先パスが作成されます。false に設定した場合、優先パス選択ロジックは、現在の発信インターフェイスがダウンした場合にのみ選択を実行します。
Route Active	FC ルート マップ内のルートのアクティブ化/非アクティブ化を許可します。true の場合、ルートがアクティブになります。false の場合、ルートが非アクティブになります。
RouteActive	FC ルート マップ内のルートのアクティブ化/非アクティブ化を許可します。true の場合、ルートがアクティブになります。false の場合、ルートが非アクティブになります。

Preferred Path Maps Active

フィールド	説明
VSAN Id	この FC ルート マップの VSAN ID。
GlobalActive	FC ルート マップ内のすべてのルートのアクティブ化/アクティブ化解除を許可します。

優先パスすべての一致基準

フィールド	説明
VSAN Id、Route Id	この FC ルート マップの VSAN ID。この FC ルート マップ内のルートを識別する任意の整数値。
Source FcId	フロー分類のためにフレーム内の送信元アドレスとのマッチングが行われる FC ID。
Source Information	送信元アドレスに関連付けられたマスクを表します。
Source Serial Number	送信元のシリアル番号を表します。
Source Unit Type	送信元のユニット タイプ。
Source Tag	送信元アドレスの一意の識別子。
Dest FcId	フロー分類のためにフレーム内の接続先アドレスとのマッチングが行われる FC ID。
Dest Information	接続先アドレスに関連付けられたマスクを表します。
Dest Serial Number	接続先のシリアル番号を表します。
Dest Unit Type	接続先のユニット タイプ。
Dest Tag	接続先アドレスの一意の識別子。

優先パスのアクティブな一致基準

フィールド	説明
VSAN Id、Route Id	この FC ルート マップの VSAN ID。この FC ルート マップ内のルートを識別する任意の整数値。
Source FcId	フロー分類のためにフレーム内の送信元アドレスとのマッチングが行われる FC ID。
Source Information	送信元アドレスに関連付けられたマスクを表します。
送信元シリアル番号	送信元のシリアル番号を表します
Source Unit Type	送信元のユニット タイプ。
Source Tag	送信元アドレスの一意の識別子。
宛先 FcId	フロー分類のためにフレーム内の接続先アドレスとのマッチングが行われる FC ID。
Dest Information	接続先アドレスに関連付けられたマスクを表します。

フィールド	説明
Dest Serial Number	接続先のシリアル番号を表します。
Dest Unit Type	接続元のユニットタイプ。
Dest Tag	接続先アドレスの一意の識別子。

優先パスのすべての設定

フィールド	説明
VSAN ID、Route ID、Preference	この FC ルート マップの VSAN ID。この FC ルート マップ内のルート を識別する任意の整数値。優先レベル。優先パスのメトリックまたはコストを示します。数値が低いほど優先度が高くなります。
Interface	一致した、または分類されたフレームが転送されるローカル デバイス上のインターフェイスを表します。
IVR Nexthop VSAN	IVR ネクストホップ VSAN ID を表します。

RSCN Nx 登録

フィールド	説明
RegType	サブスクライバが希望する登録のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 「fromFabricCtrlr」は、ファブリック コントローラによって生成された RSCN を示します。 「fromNxPort」は、Nx_Ports によって生成された RSCN を示します。 「fromBoth」は、ファブリック コントローラと Nx_Ports によって生成された RSCN を示します。

RSCN マルチ PID サポート

フィールド	説明
Enable	この VSAN で multi-pid オプションを有効にするかどうかを指定します。

RSCN イベント

フィールド	説明
TimeOut (msec)	RSCN イベントがタイムアウトするまでの時間（秒単位）。

RSCN 統計情報

フィールド	説明
SCR Rx	この VSAN の Nx_Port から受信した SCR の数。
SCR RJT	この VSAN で拒否された SCR の数。
RSCN Rx	この VSAN で受信した Nx_Port からの RSCN の数。
RSCN Tx	この VSAN で送信された RSCN の総数。
RSCN RJT	この VSAN で拒否された RSCN 要求の数。
SW-RSCN Rx	この VSAN で他のスイッチから受信したスイッチ間登録状態変更通知 (SW_RSCN) の数。
SW-RSCN Tx	この VSAN で他のスイッチに送信されたスイッチ間登録状態変更通知 (SW_RSCN) の数。
SW-RSCN RJT	この VSAN で拒否された SW_RSCN 要求の数。

マルチキャスト ルート

フィールド	説明
DomainID	この VSAN のマルチキャスト ルートのドメイン ID。
ConfigMode	この VSAN で構成されたマルチキャスト ルート モード。
OperMode	この VSAN の動作可能なマルチキャスト ルート モード。

QoS ポリシーマップ

フィールド	説明
Name	この分類子エントリの名前。名前は一意である必要があります。

QoS クラス マップ

フィールド	説明
名前	このフィルタ エントリの名前。名前は一意である必要があります。
Match	フィルタの適用方法を指定します。true の場合、このフィルタの一致が成功したと見なされるには、このフィルタに関連付けられているすべての一致ステートメントが満たされている必要があります。false の場合、このフィルタに関連付けられた条件のいずれか 1 つが満たされただけでも、フィルタの一致は成功したと見なされます。

QoS 一致ステートメント

フィールド	説明
SrcAddr	FC フレーム内の送信元アドレスと一致する必要がある FC アドレス。

フィールド	説明
DstAddr	FC フレーム内の宛先アドレスと一致する必要がある FC アドレス。
Interface	このフィルタによって分類されるためにフレームが到着する必要があるローカル デバイス上の FC インターフェイス。ゼロの値は、インターフェイスが構成されていないことを示します。
Wildcard	ワイルドカード オプションが設定されているかどうかを指定します。true の場合、ワイルドカード オプションが設定され、すべての FC トラフィックが対応するマルチフィールド分類子に一致すると見なされます。false の場合、ワイルドカード オプションは設定されません。

ポリシー マップによる QoS クラスマップ

フィールド	説明
Class Map ID	ファイバチャネルフィルタを識別します。
Priority	優先順位の値を指定します。

VSAN による QoS ポリシー マップ

フィールド	説明
VSAN Id, Direction	この VSAN のトラフィック フローの方向を指定します。
Policy Map Id	この VSAN のトラフィックを処理する最初の差別化サービス分類子の要素を選択します。

QoS DWRR

フィールド	説明
Weight	このキューに関連付けられた重み。

QoS Rate 制限

フィールド	説明
Percent	このインターフェイスのレート制限係数を指定します。

タイマーとポリシー

フィールド	説明
R_A_TOV	Recovery_Qualifier などの NxPort リソースをいつ再利用するかを決定するためのタイムアウト値として FxPort に使用される Resource_Allocation_Timeout 値。

フィールド	説明
D_S_TOV	分散サービス リクエスト送信者が応答を待機する時間を示す Distributed_Services_Timeout 値。
E_D_TOV	エラー状態を検出するためのタイムアウト値として FxPorts で使用される Error_Detect_Timeout Value です。
F_S_TOV	ファブリック構成中にファブリックの安定性が達成されたことを確認するために使用される Fabric_Stability_Timeout 値。
Network Drop Latency	このスイッチのネットワーク遅延。これは送信された順番で受信されなかった場合にフレームがドロップされる時間間隔です。ネットワークの遅延は、常にスイッチの遅延よりも大きいことに注意してください。
Switch Drop Latency	このスイッチのスイッチ レイテンシ。これは、いくつかのフレームをネクスト ホップに配信した後にリンクがダウンした場合、スイッチが未配信フレームをドロップするまでの時間間隔です。このようにして、利用可能なリンクがある場合、未配信のフレームを新しいリンクで送信できます。
InOrderDelivery	デバイスに順序どおりに配信されることを保証する InOrderDelivery フラグ。true の場合、順序どおりの InOrder 配信が保証されます。false の場合、保証されません。
TrunkProtocol	デバイスでトランキング プロトコルを有効または無効にします。トランキング プロトコルは、トランク モードのネゴシエーションと、EISL リンクでの動作可能な VSAN の計算に使用されます。また、ポート VSAN の整合性チェックも実行します。非トランキング ISL リンクでは、ポートの VSAN が異なる場合、E ポートが分離されます。この分離を回避するには、これを無効に設定する必要があります。

WWN マネージャ

フィールド	説明
SwitchWWN	このファブリック要素の世界ワイドネーム。これは 64 ビットの識別子であり、世界中で一意です。
Type 1 WWNs	Max
内部エンティティへの割り当てに使用できる NAA タイプ 1 WWN の最大数。	Available

内部エンティティへの割り当てに現在使用可能な NAA タイプ 1 WWN の数。	Reserved
フィールド	説明
内部用に予約されている NAA タイプ 1 WWN の数。	タイプ 2 および 5 の WWN
Max	内部エンティティへの割り当てに使用できるタイプ NAA タイプ 2 およびタイプ 5 WWN の合計 WWN の最大数。
Available	内部エンティティへの割り当てに現在使用可能な NAA タイプ 2 およびタイプ 5 WWN の合計数。
Reserved	内部用に予約されたタイプ NAA タイプ 2 およびタイプ 5 WWN の合計 WWN の数。
[より多くの WWWN が必要な場合はセカンダリを有効にする (Enable Secondary when more WWWNs needed)]	BaseMacAddress
スーパーバイザ MAC アドレスから生成された WWN のデフォルト範囲を使い果たした場合に、World Wide Name (WWN) の生成に使用される最初の MAC アドレス。	MacAddressRange

NPV トラフィック マップ

フィールド	説明
Switch	スイッチの名前
Server Interface	サーバー インターフェイスの名前。
External Interface List	トラフィックをマッピングする必要があるインターフェイスのリスト。

NPV ロードバランサ

フィールド	説明
Switch	スイッチ名。
サーバー	インターフェイスごとの関連 NPV の有効または無効にする

NPV 外部インターフェイスの使用状況

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの名前
フィールド	説明
Server Interface	ホストやディスクなどのエンドデバイスに接続する NPV デバイスのインターフェイス。F ポートモードで動作するため、F ポートとも呼ばれます。
External Interface In Use	NPV コア スイッチに接続する NPV デバイスのインターフェイス。NP ポートモードで動作するため、NP ポートとも呼ばれます。

NP リンク

フィールド	説明
NPIV (コア)	NPIV コア スイッチの名前。
F port	NPIV コア スイッチに接続されている F ポート
NPV	NPV スイッチの名前
Speed	推定される、インターフェイスの現在の帯域幅 (1,000,000 ビット/秒単位)。オブジェクトが、値が「n」であると報告した場合、インターフェイスのスピードは「n-500,000」から「n+499,999」までの間です。
Rx Util%	受信トラフィックの使用率 %、インターフェイスで構成された速度によりインターフェイスで受信されたオクテットの総数。フレーミング文字を含みます。
Rx Bytes	インターフェイスで受信されたオクテットの総数 (フレーミング文字を含む)。
Tx Util%	再送信トラフィックの使用率 %、インターフェイスで構成された速度によりインターフェイスから送信されたオクテットの総数。フレーミング文字を含みます。
Tx Bytes	インターフェイスから送信されたオクテットの総数 (フレーミング文字を含む)。

FCoE

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [設定 \(Config\)](#)
- [VSAN-VLAN マッピング](#)
- [VLAN-VSAN マッピング](#)
- [FCoE 統計](#)

設定

フィールド	説明
FC Map	FCoE ノード (ENode) に関連付けるために使用される FCoE MAC アドレスのプレフィックス。
Default FCF Priority	ファイバチャネル フォワーダ (FCF) から ENode にアドバタイズされる、デフォルトの FCoE 初期化プロトコル (FIP) の優先順位。
FKA Adv. Period (sec)	FIP キープ アライブ (FKA) メッセージが ENode の MAC アドレスに送信される時間間隔。

VSAN-VLAN Mapping



この表は、バージョン 4.0(1a) 以降を実行している N5k スイッチにのみ適用されます。

フィールド	説明
VSAN Id	VSAN の ID。
VLAN Id	VLAN の ID。
Oper State	この VLAN-VSAN アソシエーション エントリの動作状態を表示します。

VLAN-VSAN マッピング

フィールド	説明
VSAN Id	VSAN の ID。
VLAN Id	VLAN の ID。
Oper State	この VLAN-VSAN アソシエーション エントリの動作状態を表示します。

FCoE 統計

フィールド	説明
Alignment Errors	長さがオクテットの整数倍であるものの、FCS チェックに合格しなかった、特定のインターフェイスでの受信フレームの数。

フィールド	説明
FCS Errors	長さがオクテットの整数倍であるものの、FCS チェックに合格しなかった、特定のインターフェイスでの受信フレームの数。この数には、フレームが長すぎる、またはフレームが短すぎるためにエラーが生じた受信フレームは含まれません。
Single Collision Frames	特定のインターフェイスで正常に送信されたものの、送信が1つのコリジョンだけによって妨げられたフレームの数。
Multiple Collision Frames	特定のインターフェイスで正常に送信されたものの、送信が2つ以上のコリジョンによって妨げられたフレームの数。
SQE Test Errors	特定のインターフェイスについて、SQE TEST ERROR メッセージが PLS サブレイヤによって生成された回数。
Deferred Transmissions	特定のインターフェイスでの最初の送信試行が、メディアがビジー状態のために遅延したフレームの数。
Late Collisions	パケットの送信の1スロット時間より後に、特定のインターフェイスでコリジョンが検出された回数。
Excessive Collisions	多数のコリジョンが生じたことによって、特定のインターフェイス上で送信が失敗したフレームの数。インターフェイスが全二重モードで動作している場合、このカウンタが増えることはありません。
Internal Mac Transmit Errors	内部 MAC サブレイヤの送信エラーのために特定のインターフェイスで送信が失敗したフレームの数。
Carrier Sense Errors	特定のインターフェイスでフレームを送信しようとしたときに、キャリアセンス状態が失われたか、一度もアサートされなかった回数。
Frame Too Longs	特定のインターフェイスで受信され、最大許可フレームサイズを超えたフレームの数。
Internal Mac Receive Errors	内部 MAC サブレイヤ受信エラーが原因で、特定のインターフェイスでの受信に失敗したフレームの数。
Symbol Errors	100 Mb/s で動作するインターフェイスの場合、有効なキャリアが存在しながら無効なデータ シンボルがあった回数

Ficon

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [FICON VSAN](#)
- [FICON VSAN ファイル](#)
- [グローバル](#)
- [FICON ポート属性](#)
- [FICON ポート構成](#)
- [FICON ポート番号](#)
- [FICON VSAN ディレクタの履歴](#)
- [ファブリック バインド アクション](#)
- [ファブリック バインド構成データベース](#)
- [ファブリック バインドアクティブ データベース](#)
- [ファブリック バインドデータベースの相違点](#)
- [ファブリック バインド違反](#)
- [ファブリック バインド 統計](#)
- [ファブリック バインド EFMD 統計](#)

FICON VSAN

フィールド	説明
VSAN ID	ファブリック内の VSAN を一意に識別します。
Host Can Offline SW	true の場合、ホストはシステムをオフラインにすることができます。
Host Can Sync Time	true の場合、ホストはシステム時刻を設定できます。
Port Control by Host	true の場合、ホストは FICON Director 接続パラメータを変更できません。
Port Control by SNMP	true の場合、SNMP マネージャーは FICON ディレクターの接続パラメータを変更できます。
CUP Name	コントロールユニット デバイスの名前。
CUP Enable	コントロールユニット デバイスが有効かどうかを示します。
ドメイン ID (Domain ID)	スイッチのドメイン ID を指定します。
CodePage	この VSAN で使用されるコード ページ。
Character Set	この VSAN で使用されるコード ページの文字セット。
Active=Saved	true の場合、「アクティブなら保存」モードが有効になります。すべての変更は NVRAM に保存されます。
User Alert Mode	true の場合、FICON 管理ステーションは変更時にプロンプトを表示しま

	す。
フィールド	説明
Device Allegiance	CUP がチャンネルへの従属状態にある場合、論理パスからのコマンドを受け入れることはできません。CUP は、チャンネルからコマンドを受け取ると従属状態になり、チャンネル プログラムが正常に完了するまで「従属関係」を形成します。その時点で、CUP は「ロック解除」モードになります。
VSAN Time	VSAN のシステム時刻。これは、ホストによって設定されるか、FICON Director のデフォルトのグローバル時間である可能性があります。デフォルトのグローバル時間は、FICON Director のローカル時間です。
VSAN State	FICON 機能のコンテキストで、VSAN に属するポートの状態を制御します。
VSAN Serial Number	この VSAN の FICON ダイ렉タのシリアル番号。

FICON VSAN ファイル

フィールド	説明
Description	構成ファイルの説明。
CUP Name	コントロールユニット デバイスの名前。
Status	Locked は、変更が許可されていないことを示します。Unlocked は、変更が許可されていることを示します。
LastAccessed	このファイルが最後にアクセスされた時刻。
UserAlertMode	true の場合、ダイ렉タのユーザー アラート モードが有効になります。

グローバル

フィールド	説明
Default Port Prohibited	デフォルトのポートをブロックするには、このオプションをオンにします。

FICON ポート属性値

フィールド	説明
TypeNumber	この FICON ダイ렉タのタイプ番号。
SerialNumber	製造中にこの FICON Director に割り当てられたシーケン番号。

フィールド	説明
Tag	<p>これは、ピア ポートの識別子です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ピア ポートのユニット タイプがチャンネルである場合、PortId はこのピア ポートを含むチャンネル パスの CHPID (チャンネル パス識別子) になります。 ピア ポートが controlUnit の場合、PortId は 0 になります。 ピア ポートがファブリックの場合、PortId はピア スイッチのインターフェイスのポート アドレスになります。
FcId	反対側のポートのファブリック ID (イニシエータ/ターゲット)。これは、ファブリック ポートの場合にのみ入力されます。
ステータス	「有効 (valid)」 : この情報が最新の場合。「古い (old)」 : この情報がキャッシュされている場合。[古い属性をクリア (Clear Old Attributes)] をクリックして、キャッシュをクリアします。
名前	FICON のポート名。
メーカー	この FICON ダイ렉タを製造した会社の名前。
モデル番号	この FICON ダイ렉タのモデル番号。
PlantOfMfg	この FICON ダイ렉タの製造工場を識別する工場コード。
UnitType	このポートが通信しているポートのピア タイプ。==チャンネル - ホスト== ==コントロールユニット - ディスク== ==ファブリック - ISL
Alert	<p>次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> bitErrThreshExceeded lossOfSignalOrSync nosReceived primitiveSeqTimeOut invalidPrimitiveSeq <p>このアラートを確認してクリアするには、[クリア (Clear)] をクリックします。</p>

FICON ポートの構成

フィールド	説明
Show Installed Ports Only	true の場合、物理的に使用可能なポートのみがテーブルにリストされます。
ESCON Style	ESCON 形式のポート構成画面では、DM のポート構成テーブルに、ESCON 形式でポートが表示されます。表の A は使用可能なポートを表し、P は禁止されているポートを表します。

Port/ Prohibit	ポートの FICON アドレスと禁止リストを入力します。（これはテーブルグリッドの代替です）。
フィールド	説明
Name	このポートのポート名。
Block	true の場合、このポートは分離されます。
Prohibit Grid	グリッドをクリックして、ポートが相互に通信する機能を追加または削除します。

FICON ポート番号

フィールド	説明
Module	シャーシのモジュール番号
Reserved Port Numbers (Physical)	モジュール用に予約されたポート番号。
NumPorts	そのモジュール用に予約されているポートの数。
Module Name	モジュールの名前。
Reserved Port Numbers (Logical)	シャーシスロットのポート番号。1つのシャーシスロット用に予約されているポート番号。シャーシ内のスロットごとに、最大 64 個のポート番号を予約できます。

FICON VSANs Director History

最新の FICON 情報を表示するには、[更新 (Refresh)] ボタンをクリックする必要があります。

フィールド	説明
KeyCounter	キーカウンターです。
Ports Address Changed	KeyCounter の 値 に構 変更 が あ る ポー の リ ス ト

ファブリック バインド アクション

フィールド	説明
VSANId	ファブリック内の VSAN の一意の識別子を指定します。

アクティブ化 (Activate)	<ul style="list-style-type: none"> • activate - この VSAN/VLAN 上の有効なポート バインドがアクティブ化されます。 • force activate - アクティブ化中にエラーが発生した場合でも強制的にアクティブ化が行われ、アクティブになったファブリック バインドがアクティブ データベースにコピーされます。 • deactivate - この VSAN/VLAN 上で現在アクティブになっている有効なファブリック バインド (ある場合) が非アクティブ化されます。アクティブ データベースに含まれていた現在アクティブなエントリ (ある場合) は削除されます。 • no-selection -
フィールド	説明
Enabled	この VSAN/VLAN のアクティベーションの状態。true の場合は、この VSAN/VLAN に対する最新の操作として、アクティベーションが試みられています。false の場合は、この VSAN/VLAN に対する最新の操作として、アクティベーションが試みられていません。
Result	最新のアクティベーション/非アクティベーションの結果を示します。
LastChange	この VSAN/VLAN 上の有効なポート バインドが最後にアクティブ化されたタイミング。エージェントの前の再初期化前に最後のアクティベーションが行われている場合、この値は N/A になります。
CopyActToConfig	有効な場合、アクティブ ポート バインド データベースがこの VSAN/VLAN の構成のデータベースにコピーされます。学習済みエントリもコピーされます。

ファブリック バインド構成 データベース

フィールド	説明
VSAN Id	ファブリック内の VSAN の一意の識別子を指定します。
Peer WWN (Name)	ファブリックの一部にすることができるスイッチのスイッチ WWN を指定します。
DomainID	永続的なドメイン ID を指定します。

ファブリック バインドアクティブ データベース

フィールド	説明
VSAN Id	ファブリック内の VSAN の一意の識別子を指定します。
Peer WWN	ファブリックの一部にすることができるスイッチのスイッチ WWN を指定します。
DomainID	スイッチの WWN の対応するインスタンスによって表されるスイッチの固定ドメイン ID を指定します。

ファブリック バインド データベースの相違点

フィールド	説明
VSAN	ドロップダウンリストから、比較する VSAN の番号を選択します。

フィールド	説明
Compare With	<p>比較するデータベースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active - この VSAN/VLAN で構成データベースに関連してファブリック バインド アクティブ データベースを比較します。そのため、コンフィギュレーションデータベースがリファレンス データベースとなり、差演算の結果はコンフィギュレーション データベースに対するものになります。 • Config - この VSAN/VLAN でアクティブ データベースに関連してファブリック バインド構成データベースを比較します。そのため、アクティブ データベースがリファレンス データベースとなり、差演算の結果はアクティブ データベースに対するものになります。
VSAN Id	ファブリック内の VSAN の一意の識別子を指定します。
Peer WWN	ファブリックの一部にすることができるデバイスのデバイス WWN を指定します。
DomainID	スイッチの WWN の対応するインスタンスによって表されるスイッチの固定ドメイン ID を指定します。
Reason	このエントリに関する、比較しているデータベース間の相違点の理由を示します。

ファブリック バインド違反

フィールド	説明
VSAN Id	ファブリック内の VSAN の一意の識別子を指定します。
Peer WWN	ローカル デバイスのポートのいずれかでファブリックへのエントリが拒否されたデバイスの sWWN (switch WWN) です。
DomainID	ローカル デバイスのポートのいずれかでファブリックへのエントリが拒否されたデバイスのドメイン ID です。ゼロの値は、デバイスのスイッチ WWN が強制されたファブリック バインディングに存在しなかったことを示します。
DenialTime	拒否された時刻です。
DenialCount	このスイッチがローカル デバイスのポートのいずれかでファブリックへのエントリを拒否された回数。
DenialReason	デバイスがローカル デバイスのポートのいずれかでファブリックへのエントリを拒否された理由。

ファブリック バインド 統計

フィールド	説明
AllowedReqs	この VSAN/VLAN で、ファブリックの一部となるためにスイッチから出されて、許可された要求の数です。

DeniedReqs	この VSAN/VLAN で、ファブリックの一部となるためにスイッチから出されたものの、拒否された要求の数です
フィールド	説明
Clear	Clear に設定すると、この VSAN/VLAN 上のファブリック バインド統計情報カウンタがクリアされます。

ファブリック バインド EFMD 統計

フィールド	説明
TxMergeReqs	ローカル デバイスがこの VSAN で送信した EFMD マージ要求の数。
RxMergeReqs	ローカル デバイスがこの VSAN で受信した EFMD マージ要求の数。
TxMergeAccs	ローカル デバイスがこの VSAN で送信した EFMD マージ受け入れの数。
RxMergeAccs	ローカル デバイスがこの VSAN で受信した EFMD マージ受け入れの数。
TxMergeRejs	ローカル デバイスがこの VSAN で送信した EFMD マージ拒否の数。
RxMergeRejs	ローカル デバイスがこの VSAN で受信した EFMD マージ拒否の数。
TxMergeBusys	ローカル デバイスがこの VSAN で送信した EFMD マージ ビジーの数。
RxMergeBusys	ローカル デバイスがこの VSAN で受信した EFMD マージ ビジーの数。
TxMergeErrs	ローカル デバイスがこの VSAN で送信した EFMD マージ エラーの数。
RxMergeErrs	ローカル デバイスがこの VSAN で受信した EFMD マージ エラーの数。

IP ストレージ

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [FCIP Profiles](#)
- [FCIP Tunnels](#)
- [FCIP Tunnels \(Advanced\)](#)
- [FCIP Tunnels \(FICON TA\)](#)
- [FCIP Tunnels Statistics](#)
- [FCIP XRC Statistics](#)
- [iSCSI Connection](#)
- [iSCSI Initiators](#)
- [iSCSI Session Initiators](#)
- [Module Control](#)
- [iSCSI Global](#)
- [iSCSI Session Statistics](#)
- [iSCSI Targets](#)
- [iSCSI iSLB VRRP](#)
- [iSCSI Initiator Access](#)
- [Initiator Specific Target](#)
- [iSCSI Initiator PWWN](#)
- [iSCSI Sessions](#)
- [iSCSI Sessions Detail](#)

FCIP Profiles

フィールド	説明
IP Address	このエンティティのインターネットアドレス。
Port	FCIP エンティティが新しい TCP 接続要求を待ち受ける、FCIP の既知のポート番号以外の TCP ポート。
SACK	TCP 選択的受信確認オプションをイネーブルにし、受信側が複数の損失フレームを 1 つの ACK で確認応答し、高速な回復を可能にするかどうか。
KeepAlive (s)	このエンティティ内部のすべてのリンクの TCP キープアライブ タイムアウト。
ReTrans MinTimeout (ms)	このエンティティ内部のすべてのリンクに対する TCP 最小再送信タイムアウト。

フィールド	説明
ReTrans Max	TCP 接続で同じデータ項目を再送信する最大回数。この再送信回数後に配信の確認応答がなかった場合、その接続は終了されます。
Send BufSize (KB)	このエンティティ内部のすべてのリンクのすべての TCP 接続に対する、集約 TCP 送信ウィンドウ。この値は出力フロー制御に使用されます。このエンティティ内部のすべての接続でキューに入れられたデータの合計がこの値に達すると、出力側でフロー制御が行われます。
Bandwidth Max (Kb)	アダプタイズする TCP 受信ウィンドウを算出するための、B-D 乗算に使用されるネットワーク パイプの推定帯域幅。
Bandwidth Min (Kb)	このエンティティ内部のリンクの TCP 接続に使用可能な最小帯域幅。
Est Round Trip Time (us)	アダプタイズする TCP 受信ウィンドウを算出するための、B-D 乗算に使用されるネットワーク パイプの推定ラウンドトリップ遅延。
PMTU Enable	パス MTU ディスカバリ。
PMTU ResetTimeout (sec)	MSS がネゴシエーションされた TCP 値に戻るまで、検出した pathMTU が有効となっている期間。
CWM Enable	True の場合、輻輳ウィンドウ モニタリングがイネーブルされます。
CWM BurstSize (KB)	TCP 送信側の待機時間後に送信される最大バースト。
Max Jitter	このインターフェイスの TCP 接続で発生する可能性のある最大遅延変動（輻輳が原因ではないもの）。

FCIP トンネル

フィールド	説明
Interface	このリンクが関連するこの FCIP デバイスのインターフェイスを識別します。
Attached	この FCIP リンクが開始されたインターフェイス。
B Port Enable	True の場合、ローカル FCIP リンクで B ポートモードがイネーブルになります。
B Port KeepAlive	True の場合、ピアから受信した（ファイバ チャネルの）ELS エコー フレームに対してメッセージが送信されます。一部の B ポート実装では、リンク キープアライブとして ELS エコー要求/応答フレームが使用されます。
Remote IP Address	リモート FCIP エンティティのインターネットアドレス。
Remote TCP Port	ローカル FCIP エンティティによってこのリンクの TCP 接続設定が開始された場合に、その FCIP エンティティの接続先となるリモート TCP ポート。

Spc Frames Enable	True の場合、TCP アクティブ オープナが FCIP 特殊フレームを開始し、TCP パッシブ オープナがその FCIP 特殊フレームに応答するようになります。False に設定すると、FCIP 特殊フレームは生成されず、応答もされません。
Spc Frames RemoteWWN	リモート FC ファブリック エンティティのワールド ワイド名。長さゼロの文字列となっている場合は、このリンクがすべてのリモート エンティティからの接続を受け付けます。WWN が指定されると、このリンクはその WWN を持つリモート エンティティからの接続を受け付けます。
Spc Frames Remote Profile Id	リモート FCIP エンティティの識別子。

FCIP Tunnels (Advanced)

フィールド	説明
インターフェイス	この FCIP リンクが開始されたインターフェイス。
Timestamp Enable	True の場合、FCIP ヘッダーのタイムスタンプが確認されます。
Timestamp Tolerance	ローカル時刻と、FCIP ヘッダーで受信したタイムスタンプ値の間で許容される時間差。デフォルトでは、この値が EDTOV/2 になります。EDTOV とは、エラー状態を検出するためのタイムアウト値としてファイバ チャネルポートで使用される Error_Detect_Timeout Value です。
Number Connections	このリンクで許可される TCP 接続の最大数。
Passive	False の場合、このリンク エンドポイントはピアへの接続をアクティブに試行します。True の場合、このリンク エンドポイントはピアからの接続を待ちます。
QoS Control	TCP 制御接続用として IP ヘッダーの ToS フィールドに設定する値。
QoS Data	TCP データ接続用として IP ヘッダーの ToS フィールドに設定する値。
IP Compression	圧縮する場合に使用するアルゴリズム。
Write Accelerator	書き込みアクセラレータを使用すると SCSI 書き込みパフォーマンスを向上できます。
Tape Accelerator	True の場合、テープ アクセラレータ (テープの書き込みパフォーマンスを向上可能) が有効になります。
Tape Accelerator Oper	FCIP リンクの書き込みアクセラレーションを有効にします。
TapeRead Accelerator Oper	テープ アクセラレータ動作を有効にすると自動的にイネーブルになります。
FlowCtrlBufSize (KB)	フロー制御バッファのサイズ (64 K ~ 32 MB)。0 に設定すると、フロー制御バッファのサイズがスイッチによって自動的に計算されます。
IPSec	このリンクで IP セキュリティがオンとオフのどちらになっているかを示します。
XRC Emulator	オンにすると、XRC エミュレータがイネーブルになります。この機能はデフォルトではディセーブルになっています。

FCIP Tunnels (FICON TA)

フィールド	説明
Interface	このリンクが関連する FCIP デバイスのインターフェイスを識別する一意の値。
VSAN List Admin	FICON テープ アクセラレーションが構成されている VSAN のリスト。
VSAN List Oper	FICON テープ アクセラレーションが動作している VSAN のリスト。

FCIP Tunnels Statistics

フィールド	説明
Interface	このリンクが関連する FCIP デバイスのインターフェイスを識別する一意の値。
Rx IPCompRatio	FCIP デバイスで受信したパケットの IP 圧縮比。このオブジェクトの値は、小数点以下 2 桁までの浮動小数点数で示されます。
Tx IPCompRatio	FCIP デバイスで送信したパケットの IP 圧縮比。このオブジェクトの値は、小数点以下 2 桁までの浮動小数点数で示されます。

FCIP XRC Statistics

フィールド	説明
ProfileId	プロファイルの固有 ID。
Interface	インターフェイスの名前
RRSAccelerated	アクセラレーションされた読み取りレコードセット IU の数。
RRSForwarded	転送された読み取りレコードセット IU の数。
BusyStatus	コントロールユニットから受信したビジー状態のインスタンスの数。
UnitCheckStatus	コントロールユニットから受信したユニットチェック状態のインスタンスの数。
cfmFcipLinkExtXRCEStatsSelReset	処理された選択的リセットの数。
BufferAllocErrors	バッファ割り当てエラーの数。

iSCSI Connection

フィールド	説明
LocalAddr	この接続で使用されるローカルインターネットネットワークアドレス。
RemoteAddr	この接続で使用されるリモートインターネットネットワークアドレス。
CID	この接続の iSCSI 接続 ID。

フィールド	説明
State	iSCSI ネゴシエーションから見た、この接続の現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • login : トランスポート プロトコルで接続されているが、最終ビットが設定された有効な iSCSI ログイン応答が送信または受信されていません。 • full : 最終ビットが設定された有効な iSCSI ログイン応答が送信または受信されています。 • logout : 有効な iSCSI ログアウト コマンドが送信または受信されたが、トランスポート プロトコル接続がまだ閉じていません。
MaxRecvDSLen	この接続で使用されているコマンドまたはデータ PDU でサポートされる最大データ ペイロード サイズ。ネゴシエーションが 512K ブロック単位で行われていても、レポートされるサイズはバイト単位となります。
SendMarker	この接続で、発信データ ストリームにマーカーを挿入するかどうかを示します。
HeaderDigest	この接続で使用される iSCSI ヘッダー ダイジェスト方式。
DataDigest	この接続で使用される iSCSI データ ダイジェスト方式。

iSCSI イニシエータ

フィールド	説明
Name or IP Address	このエントリで表されるノードのグローバルな固有識別子となる文字列。
VSAN Membership	このエントリで表されるノードがアクセス可能な構成済み VSAN のリスト。
Dynamic	True の場合は、このエントリで表されるノードが自動的に検出されません。
Initiator Type	ノードが、iSCSI ロード バランシングに使用されるホストかどうかを示します。
Persistent Node WWN	True の場合は、FC ドメイン内で同じノード名で表されるノードに、同じ FC アドレスが割り当てられます。ノードの FC アドレスは、自動割り当てでも手動割り当てでもかまいません。
SystemAssigned Node WWNN	True の場合、このノードに FC アドレスが自動的に割り当てられます。False の場合は、FC アドレスが手動で設定されます。
Node WWN	ノードの永続的な FC アドレス。
Persistent Port WWN	True の場合は、FC ドメイン内で同じノード名で表されるノードのポートに、同じ FC アドレスが割り当てられます。
ポート WWN	このノードに関連付けられたすべての FC ポート アドレス。

フィールド	説明
AuthUser	発信側がログイン時の使用を許可された唯一の CHAP ユーザ名です。
Target UserName	(任意) ログインに使用されるユーザ名。ユーザー名を指定しなかった場合は、グローバルユーザー名が使用されます。
Target Password	(任意) ログインに使用されるパスワード。パスワードを指定しなかった場合は、グローバルパスワードが使用されます。
Load Metric	iSCSI ロード バランシング用に、この iSCSI 発信側に設定されたロードメトリック。
Auto Zone Name	このイニシエータのターゲット リストに対する自動ゾーンをシステムが作成するときに使用されるゾーン名。

iSCSI Session Initiators

フィールド	説明
Name or IP Address	発信側ポートの名前または IP アドレス。
Alias	ログイン時に獲得した発信側のエイリアス。

Module Control

フィールド	説明
Module Id	モジュールの ID。
Admin Status	モジュールの iSCSI 機能をイネーブルまたはディセーブルにします。
OperStatus	モジュールの iSCSI インターフェイスがイネーブルか、ディセーブルかが表示されます。

iSCSI Global

フィールド	説明
AuthMethod	認証方式。
InitiatorIdleTimeout	ゲートウェイ (FC ターゲットを表すもの) が、最後の iSCSI セッションから iSCSI 発信側がダウンするまで待つ時間。この時間が経過すると、その iSCSI 発信側に関する情報をページします。
iSLB ZonesetActivate	このオプションをオンにすると、発信側ターゲットに関連付けられた自動ゾーン分割が実行されます。
DynamicInitiator	このフィールドは、ダイナミック iSCSI 発信側の作成方法を決定します。iSCSI オプション (デフォルト) を選択すると、ダイナミック iSCSI 発信側が作成されます。iSLB を選択すると、iSLB ダイナミック発信側が作成されます。拒否するオプションを選択すると、発信側のダイナミ

	ック作成が禁止されます。
フィールド	説明
Target UserName	ログインに使用するデフォルト ユーザ名。発信側のユーザ名を指定した場合は、代わりにそのユーザ名が使用されます。
Target Password	ログインに使用するデフォルト パスワード。発信側のパスワードを指定した場合は、代わりにそのパスワードが使用されます。

iSCSI セッション統計

フィールド	説明
PDU Command	このセッションで転送されたコマンド PDU の数。
PDU Response	このセッションで転送された応答 PDU の数。
Data Tx	このセッションでローカル iSCSI ノードから送信されたデータのバイト数。
Data Rx	このセッションでローカル iSCSI ノードで受信されたデータのバイト数。
Errors Digest	認証エラー。
Errors CxnTimeout	接続タイムアウト。

iSCSI Targets

フィールド	説明
Dynamically Import FC Targets	このオプションをオンにすると、FC ターゲットが iSCSI ドメインに動的にインポートされます。iSCSI ドメイン内にすでに存在しているターゲットはインポートされません。
iSCSI Name	このエントリで表されるノードの iSCSI 名。
Dynamic	このエントリで表されるノードが、自動的に検出されたものか、手動で設定されたものかを示します。
Primary Port WWN	このターゲットの FC アドレス。
Secondary Port WWN	このターゲットのオプションのセカンダリ FC アドレス。この FC アドレスは、プライマリに到達できない場合に使用されます。
LUN Map iSCSI	この LU に構成されたデフォルトの論理ユニット番号。
LUN Map FC Primary	プライマリ ポート アドレスに対するリモート LU の論理ユニット番号。
LUN Map FC Secondary	セカンダリ ポート アドレスに対するリモート LU の論理ユニット番号。

Initiator Access All	True の場合、このターゲットの発信側許可リストになくても、すべての発信側がこのターゲットにアクセスできます。False の場合は、許可リストにある発信側だけがこのターゲットにアクセスを許可されます。
Initiator Access List	このエントリで表されるノードにアクセスを許可されたすべての iSCSI ノードのリスト。AllAllowed が False でリストの値が空の場合は、このターゲットにアクセスを許可される発信側がありません。
フィールド	説明
Advertised Interfaces	ターゲットがアダプタイズされるすべてのインターフェイスのリスト。
Trespass Mode	このノードのトレスパス モード。各 iSCSI ターゲットは FC ターゲットの 1 つ以上のポートを表しています。True の場合は、プライマリ ポートがダウンしているときに、すべての LUN I/O 要求をセカンダリ ポートに渡すよう、ノードが FC ノードに指示します。
RevertToPrimaryPort	FC ターゲットがオンラインに復帰した場合に、プライマリ ポートに戻す必要があるかどうかを示します。

iSCSI iSLB VRRP

フィールド	説明
VrId、IpVersion	仮想ルータ番号および IP バージョン (IPv4、IPv6、または DNS)。
Load Balance	ロードバランシングが有効になっているかどうかを示します。

iSCSI イニシエータ アクセス

フィールド	説明
Initiator Name	iSCSI ノード名。

Initiator Specific Target

フィールド	説明
名前	ノードのグローバルな固有識別子。
Port WWN(s) Primary	この iSCSI イニシエータ側固有のターゲットに関連付けられた、ファイバチャネル ターゲットのポートアドレス。
Port WWN(s) Secondary	この iSCSI イニシエータ側固有のターゲットに関連付けられた、ファイバチャネル ターゲットのポートアドレス。
LUN Map (Hex) iSCSI	この iSCSI イニシエータ側固有のターゲットに関連付けられた、ファイバチャネル ターゲットのポートアドレス。
LUN Map (Hex) FC Primary	この iSCSI イニシエータ側固有のターゲットに関連付けられた、ファイバチャネル ターゲットのポートアドレス。
LUN Map (Hex) FC Secondary	この iSCSI イニシエータ側固有のターゲットに関連付けられた、ファイバチャネル ターゲットのポートアドレス。

No AutoZone Creation	この iSCSI 発信側ターゲットおよび iSCSI 発信側に対して、ファイバチャネル ゾーンが自動的に作成されるかどうかを示します。True の場合、ゾーンは自動的に作成されません。False (デフォルト) の場合、ゾーンは自動的に作成されます。
Trespass Mode	このノードのトレスパス モード。True の場合、プライマリ ポート (fcAddress) がダウンすると、FC ノード インスタンスはすべての LUN I/O 要求をセカンダリ ポート (fcSecondaryAddress) に渡します。
フィールド	説明
Revert to Primary Port	このノードのプライマリ モードに戻ります。True の場合、プライマリ ポートがオンラインに復帰すると、FC ノード インスタンスはすべての LUN I/O 要求をプライマリ ポート (fcAddress) に渡します。
Primary PWWN VSAN	この発信側ターゲットの自動ゾーンが配置される VSAN を示します。このオブジェクトが設定されていない場合、VSAN はネーム サーバに照会することで決定されます。
Secondary PWWN VSAN	この発信側ターゲットの自動ゾーンが配置される VSAN を示します。このオブジェクトが設定されていない場合、VSAN はネーム サーバに照会することで決定されます。

iSCSI Initiator PWWN

フィールド	説明
Port WWN	このエントリの FC アドレス。

iSCSI Sessions

フィールド	説明
タイプ	iSCSI セッションのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • normal : セッションは通常の iSCSI セッション • discovery - セッションは検出のためにのみ使用されます。
TargetName	方向が発信の場合は、ここにリモート ターゲットの名前が格納されます。
Vsan ID	このセッションが属す VSAN。
ISID	iSCSI セッション ID の発信側で定義された部分。
TSIH	このセッション用にターゲットで定義された識別ハンドル。

iSCSI Sessions の詳細

フィールド	説明
ConnectionNumber	このセッションに現在属している転送プロトコル接続の数。

ImmediateData	発信側とターゲットが、このセッションでの即時データのサポートに合意しているかどうか。
Initial	True の場合、発信側は Ready-To-Transfer を待ってからターゲットに送信する必要があります。False の場合、発信側は FirstBurstSize で設定された制限内、および要求で予想されるデータ転送長の範囲内でデータをすぐに送信できます。
MaxOutstanding	このセッション中のタスクごとの未処理の Ready-To-Transfers の最大数。
フィールド	説明
First	このセッション中に送信される割り込みデータでサポートされる最大長。
Max	受信データまたは送信データ PDU の 1 つのシーケンス中に送信可能な最大バイト数。
Sequence	False の場合は、iSCSI データ PDU シーケンスが任意の順序で転送される可能性があることを示します。True の場合は、エラー回復時を除いて、連続的に増加するオフセットを使用してデータ PDU シーケンスを転送する必要があることを示します。
PDU	False の場合は、シーケンス中の iSCSI データ PDU が任意の順序でかまいません。True の場合は、シーケンス中のデータ PDU が、PDU 間にギャップやオーバーレイがなく、連続して増加するアドレスになっている必要があることを示します。

IP サービス

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [IP Routes](#)
- [IP Statistics ICMP](#)
- [IP Statistics IP](#)
- [IP Statistics SNMP](#)
- [IP Statistics UDP](#)
- [mgmt0 Statistics](#)
- [TCP UDP TCP](#)
- [TCP UDP UDP](#)
- [VRRP General](#)
- [VRRP IP Addresses](#)
- [VRRP 統計情報](#)
- [CDP General](#)
- [CDP ネイバー](#)
- [iSNS Profiles](#)
- [iSNS Servers](#)
- [iSNS Entities](#)
- [iSNS Cloud Discovery](#)
- [iSNS Clouds](#)
- [iSNS Cloud Interfaces](#)
- [Monitor Dialog Controls](#)
- [iSNS Details iSCSI Nodes](#)
- [iSNS Details Portals](#)

IP Routes

フィールド	説明
Routing Enabled	このチェックボックスをオンにすると、スイッチが IP ルータとして機能します。
Destination、 Mask 、 Gateway	このルートのネクスト ホップに到達するために経由するローカル インターフェイスを識別する値。
Metric	このルートのプライマリ ルーティング メトリック。
Interface	このルートのネクスト ホップに到達するために経由するローカル インターフェイス。

Active

ルートがアクティブかどうかを示します。

IP Statistics ICMP

フィールド	説明
InParmProbs	受信した ICMP パラメータ問題メッセージの数。
OutParmProbs	送信した ICMP パラメータ問題メッセージの数。
InSrcQuenchs	受信した ICMP ソースクエンチメッセージの数。
InRedirects	受信した ICMP リダイレクトメッセージの数。
InEchos	受信した ICMP エコー（要求）メッセージの数。
InEchoReps	受信した ICMP エコー応答メッセージの数。
InTimestamps	受信した ICMP タイムスタンプ（要求）メッセージの数。
InTimestampReps	受信した ICMP タイムスタンプ応答メッセージの数。
InAddrMasks	受信した ICMP アドレスマスク要求メッセージの数。
InAddrMaskReps	受信した ICMP アドレスマスク応答メッセージの数。
InDestUnreachs	受信した ICMP 宛先到達不能メッセージの数。
InTimeExcds	受信した ICMP 時間超過メッセージの数。
OutSrcQuenchs	送信した ICMP ソースクエンチメッセージの数。
OutRedirects	送信した ICMP リダイレクトメッセージの数。ホストはリダイレクトを送信しないため、ホストではこの値が常に N/A となります。
OutEchos	送信した ICMP エコー（要求）メッセージの数。
OutEchoReps	送信した ICMP エコー応答メッセージの数。
OutTimestamps	送信した ICMP タイムスタンプ（要求）メッセージの数。
OutTimestampReps	送信した ICMP タイムスタンプ応答メッセージの数。
OutAddrMasks	送信した ICMP アドレスマスク要求メッセージの数。
OutAddrMaskReps	送信した ICMP アドレスマスク応答メッセージの数。
OutDestUnreachs	送信した ICMP 宛先到達不能メッセージの数。
OutTimeExcds	送信した ICMP 時間超過メッセージの数。

IP Statistics IP

フィールド	説明
InHdrErrors	チェックサムの誤り、バージョン番号の不一致、その他のフォーマットエラー、存続可能時間の超過、IP オプションの処理中に発見されたエラーなど、IP ヘッダーにエラーがあるため廃棄された入力データグラムの数。

フィールド	説明
InAddrErrors	IP ヘッダーの接続先フィールドにある IP アドレスが、このエンティティで受信する有効なアドレスではないために廃棄された入力データ グラムの数。エンティティが IP ルータではなく、データ グラムを転送しない場合、このカウンタには宛先アドレスがローカル アドレスではないために廃棄されたデータ グラムが含まれます。
InUnknownProtos	正常に受信されたが、不明またはサポートされていないプロトコルであるために廃棄されたローカル アドレス宛データグラムの数。
InDiscards	処理の継続を妨げるような問題は発生していないにもかかわらず、(バッファ領域の不足などが原因で) 廃棄された入力 IP データ グラムの数。このカウンタには、再構成の待機中に廃棄されたデータグラムは含まれません。
OutDiscards	The number of output IP datagrams for which no problem was encountered to prevent their transmission to their destination, but which were discarded (e.g., for lack of buffer space). このカウンタには、ipForwDatagrams でカウントされたデータグラムの中で、この(任意の) 廃棄基準と一致するすべてのフレームが含まれます。
OutNoRoutes	宛先に転送するためのルートが見つからなかったために廃棄された IP データグラムの数。このカウンタには、ipForwDatagrams でカウントされたフレームの中で、この「ルートなし」基準と一致するものすべてが含まれます。これには、すべてのデフォルト ルートがダウンしているためにホストがルーティングできなかったすべてのデータグラムが含まれます。
FragFails	このエンティティでフラグメント化する必要があるが、Don't Fragment フラグが設定されているなどの理由でフラグメント化できず、廃棄された IP データグラムの数。
ReasmFails	The number of failures detected by the IP re-assembly algorithm (for whatever reason: timed out, errors, etc). 一部のアルゴリズム (特に RFC 815 のアルゴリズム) では、受信ごとにフラグメントを結合し、フラグメントの数を追跡しきれないため、これは廃棄された IP フラグメントの数とは限りません。
InReceives	受信エラーがあったものも含めて、インターフェイスから受信した入力データグラムの合計数。
InDelivers	IP ユーザ プロトコルに正常に配信された入力データグラムの合計数 (ICMP を含む)。
OutRequests	転送要求の中でローカル IP ユーザー プロトコル (ICMP を含む) が IP に指定された、IP データ グラムの合計数。このカウンタには、ipForwDatagrams でカウントされたデータグラムは含まれません。

フィールド	説明
ForwDatagrams	The number of input datagrams for which this entity was not their final IP destination, as a result of which an attempt was made to find a route to forward them to that final destination. IP ルータとして機能しないエンティティでは、このエンティティによってソース ルーティングされ、ソースルート オプションが正常に処理されたフレームだけがこのカウンタに含まれます。
FragOKs	このエンティティで正常にフラグメント化された IP データグラムの数。
FragCreates	The number of IP datagram fragments that have been generated as a result of fragmentation at this entity.
ReasmReqds	The number of IP fragments received which needed to be reassembled at this entity.
ReasmOKs	The number of IP datagrams successfully re-assembled.

IP Statistics SNMP

フィールド	説明
BadVersions	SNMP エンティティに配信されたが、サポートされていない SNMP バージョンだった SNMP メッセージの合計数。
BadCommunityNames	認識されない SNMP コミュニティ名を使用している SNMP エンティティに配信された SNMP メッセージの合計数。
BadCommunityUses	SNMP エンティティに配信され、メッセージで指定された SNMP コミュニティで許可されていない SNMP 処理を表す SNMP メッセージの合計数。
ASNParseErrs	受信した SNMP メッセージをデコードするときに、SNMP エンティティで発生した ASN.1 エラーまたは BER エラーの合計数。
TooBigs	SNMP プロトコル エンティティに配信され、エラー状態フィールドの値が tooBig だった SNMP PDU の合計数。
SilentDrops	SNMP エンティティに配信され、空の変数バインド フィールドを持つ代替 Response-PDU を含んだ応答のサイズが、ローカル制限または要求の発信元に関連する最大メッセージ サイズよりも大きかったため自動的にドロップされた、GetRequest-PDU、GetNextRequest-PDU、GetBulkRequest-PDU、SetRequest-PDU、および InformRequest-PDU の合計数。
ProxyDrops	SNMP エンティティに配信され、返信できた Response-PDU がなかった状態（タイムアウトを除く）でプロキシ ターゲットへのメッセージ（変換されたものを含む）の送信に失敗したため自動的にドロップされた、GetRequest-PDU、GetNextRequest-PDU、GetBulkRequest-PDU、SetRequest-PDU、および InformRequest-PDU の合計数。

フィールド	説明
NoSuchNames	SNMP プロトコル エンティティに配信され、エラー状態フィールドの値が noSuchName だった SNMP PDU の合計数。
BadValues	SNMP プロトコル エンティティに配信され、エラー ステータス フィールドの値が badValue である SNMP PDU の総数。
ReadOnlyls	SNMP プロトコル エンティティに配信され、エラー状態フィールドの値が readOnly だった有効な SNMP PDU の合計数。エラー状態フィールドに値 readOnly を含んだ SNMP PDU の生成は、誤った実装の SNMP を検出する手段として用意されたものであるため、これが生成されるのはプロトコルエラーです。
GenErrs	The total number of SNMP PDUs which were delivered to the SNMP protocol entity and for which the value of the error-status field is genErr.
Pkts	転送サービスから SNMP エンティティに配信されたメッセージの合計数。
GetRequests	SNMP プロトコル エンティティによって受け入れられ、処理された SNMP Get-Request PDU の合計数。
GetNexts	SNMP プロトコル エンティティによって受け入れられ、処理された SNMP Get-Next PDU の合計数。
SetRequests	SNMP プロトコル エンティティによって受け入れられ、処理された SNMP Set-Request PDU の合計数。
OutTraps	SNMP プロトコル エンティティで生成された SNMP Trap PDU の合計数。
OutGetResponses	SNMP プロトコル エンティティで生成された SNMP Get-Response PDU の合計数。
OutPkts	SNMP プロトコル エンティティから転送サービスに渡された SNMP メッセージの合計数。
TotalReqVars	有効な SNMP Get-Request と Get-Next PDU を受信した結果として、SNMP プロトコル エンティティによって正常に取得された MIB オブジェクトの合計数。
TotalSetVars	有効な SNMP Set-Request PDU を受信した結果として、SNMP プロトコル エンティティによって正常に変更された MIB オブジェクトの合計数。

IP 統計 UDP

フィールド	説明
InErrors	宛先ポートでアプリケーションが待ち受けていないこと以外の理由で配信できなかった、受信した UDP データグラムの数。

フィールド	説明
InDatagrams	UDP ユーザに配信された UDP データグラムの合計数。
OutDatagrams	このエンティティから送信された UDP データグラムの合計数。
NoPorts	宛先ポートでアプリケーションが待ち受けていなかった、受信した UDP データグラムの合計数。

mgmt0 Statistics

フィールド	説明
InErrors	インターフェイスで受信したエラーの合計数。
OutErrors	インターフェイスで送信したエラーの合計数。
InDiscards	インターフェイスで受信した廃棄の合計数。
OutDiscards	インターフェイスで送信した廃棄の合計数。
TotalRxBytes	受信した合計バイト数。
TxBytes	送信した合計バイト数。
RxFrames	受信したフレームの合計数。
TxFrames	送信したフレームの合計数。

TCP UDP TCP

フィールド	説明
State	この TCP 接続の状態。

TCP UDP UDP

フィールド	説明
Port	この UDP リスナーのローカルポート番号。

VRRP General

フィールド	説明
IP Address Type、VrId、Interface	IP アドレスのタイプ (IPv4、IPv6、または DNS) 、仮想ルータ ID、およびインターフェイス。
Admin	仮想ルータの管理状態 (active または notInService) 。

フィールド	説明
Oper	<p>仮想ルータの現在の状態。定義済みの値は次の3つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • initialize : すべての仮想ルータがスタートアップ イベントを待っていることを示しています。 • backup : 仮想ルータがマスター ルータのアベイラビリティを監視していることを示しています。 • master : 仮想ルータが、このルータに関連付けられた IP アドレスにフレームを転送していることを示しています。
プライオリティ	<p>仮想ルータのマスター選択プロセスに使用されるプライオリティを指定します。値が大きいほどプライオリティが高くなります。マスター ルータからプライオリティ 0 が送信された場合は、このルータが VRRP への参加を終了しようとしているため、バックアップの仮想ルータが新しいマスターに移行する必要があることを示しています。プライオリティ 255 は、関連する IP アドレスを所有するルータに使用されます。</p>
AdvInterval	<p>アドバタイズメント メッセージの送信間隔 (秒数)。VRRP アドバタイズメントを送信するのはマスター ルータだけです。</p>
PreemptMode	<p>プライオリティの高い仮想ルータが、プライオリティの低いマスターと入れ替わるかどうかを制御します。</p>
UpTime	<p>この仮想ルータが、「初期化済み状態」から変化するとき。</p>
Version	<p>この VRRP インスタンスが実行している VRRP のバージョン。</p>
AcceptMode	<p>マスター状態の仮想ルータが IPv6 アドレスを所有していない場合に、アドレス所有者のその IPv6 アドレス宛てのパケットをそのまま受け付けるかどうかを制御します。True の場合、マスター状態の仮想ルータは受け付けます。False の場合、マスター状態の仮想ルータは受け付けません。</p>

VRRP IP Addresses

フィールド	説明
Interface、VRRP ID、IP Address	<p>インターフェイス、仮想ルータの冗長プロトコル ID、および関連する IP アドレス</p>

VRRP 統計情報

フィールド	説明
IP Address Type、VrId、Interface	<p>IP アドレスのタイプ (IPv4、IPv6、または DNS) 、仮想ルータ ID、およびインターフェイス。</p>
LastAdvRx	<p>この仮想ルータが受信した VRRP アドバタイズメントの合計数。</p>
Protocol Traffic MasterIpAddr	<p>マスター ルータの実際の (プライマリ) IP アドレス。この仮想ルータが前回受信した VRRP アドバタイズメントに送信元としてリストされた IP</p>

		アドレスです。
フィールド		説明
Protocol BecomeMaster	Traffic	仮想ルータの状態が MASTER に遷移した合計回数。
Priority 0 Rx		仮想ルータが受信した、プライオリティ「0」の VRRP フレームの合計数。
Priority 0Tx		仮想ルータが送信した、プライオリティ「0」の VRRP フレームの合計数。
AuthErrors InvalidType		不明な認証タイプで受信したフレームの合計数。
Other dvIntervalErrors	Errors	ローカル仮想ルータに設定されたアドバタイズメント間隔とは異なる間隔で受信した VRRP アドバタイズメント フレームの合計数。
Other IpTtlErrors	Errors	仮想ルータが受信した、IP TTL（存続可能時間）が 255 以外の VRRP フレームの合計数。
Other InvalidTypePktsRcvd	Errors	仮想ルータが受信した、タイプフィールドが無効な値の VRRP フレームの合計数。
Other AddressListErrors	Errors	アドレス リストが仮想ルータにローカルで設定したリストと一致しない、受信したフレームの合計数。
OtherErrors PacketLengthErrs		フレーム長が VRRP ヘッダーよりも短い、受信したフレームの合計数。
RefreshRate		リフレッシュの時間間隔。

CDP General

フィールド		説明
有効		Cisco Discovery Protocol が実行されているかどうか。CDP がディセーブルになると CacheTable のエントリが削除されます。
MessageInterval	sec	CDP メッセージが生成される間隔。デフォルト値は 60 秒です。
HoldTime	sec	受信デバイスが CDP メッセージを保持している時間。デフォルト値は 180 秒です。
LastChange		キャッシュ テーブルが最後に変更されたのはいつか。
Supported Format	DeviceId	デバイスのデバイス ID 形式への互換性を示します。
デバイス ID 形式		サポートされているデバイスの中で対応しているインスタンスに入っているデバイス - ID のフォーマットの表示。

CDPネイバー

フィールド	説明
Switch	このエンティティのインターネットアドレス。
Local Interface	このリンクが関連する FCIP デバイスのインターフェイスを識別する一意の値。
DeviceName	リモートデバイスの名前。規定では、デバイスの完全修飾ドメイン名です。
DeviceID	最新の CDP メッセージでレポートされたデバイス ID 文字列。
DevicePlatform	最新の CDP メッセージでレポートされたバージョン文字列。
Interface	最新の CDP メッセージでレポートされたポート ID 文字列。
IPAddress	最近受信した CDP メッセージのアドレス TLV でレポートされた、デバイスの SNMP エージェントの（最初の）ネットワーク層アドレス。
NativeVLAN	最新の CDP メッセージでレポートされた、リモート デバイスのインターフェイスのネイティブ VLAN。値 0 は、最新の CDP メッセージでネイティブ VLAN フィールド（TLV）がレポートされなかったことを示します。
PrimaryMgmtAddr	最近受信した CDP メッセージでレポートされた、デバイスが SNMP メッセージを受け付ける（最初の）ネットワーク層アドレスを示します。
SecondaryMgmtAddr	最近受信した CDP メッセージでレポートされた、デバイスが SNMP メッセージを受け付ける代替ネットワーク層アドレスを示します。

iSNS Profiles

フィールド	説明
Addr	iSNS サーバーのアドレス。
ポート	iSNS サーバーの TCP ポート。

iSNS Servers

フィールド	説明
名前	iSNS サーバーの名前。
TcpPort	iSNS メッセージで使用される TCP ポート。このサーバーで TCP がサポートされていない場合、値は 0 になります。
稼働時間	サーバーがアクティブ状態を続けている時間。
ESI Non Response Threshold	エンティティが iSNS データベースから登録解除される前に送信されたため、応答を受信しない ESI メッセージの数。

Entities	サーバーの iSNS に登録されたエンティティの数。
フィールド	説明
Portals	サーバーの iSNS に登録されたポータル数。
Portal Groups	サーバーの iSNS に登録されたポータルグループの数。
iSCSI デバイス	サーバーの iSNS に登録された iSCSI ノードの数。

iSNS Entities

フィールド	説明
Entity ID	エンティティの iSNS エンティティ識別子。
Last Accessed	エンティティが最後にアクセスされた時刻。

iSNS Cloud Discovery

フィールド	説明
AutoDiscovery	自動クラウド検出をオンまたはオフにするかどうか。
DiscoveryDelay	連続した IP クラウド検出を実行する継続時間。
Discovery	<p>実行する IP ネットワーク検出コマンド。</p> <ul style="list-style-type: none"> • all - ファブリック内のすべてのギガビットイーサネットインターフェイスに対して IP ネットワーク検出を実行する。 • noOp (デフォルト) - 何も実行しない。

フィールド	説明
CommandStatus	<p>ライセンスのインストール/アンインストール/更新動作の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • success - 検出動作が正常に完了した。 • nProgress - 検出動作が進行中。 • none - 検出動作が実行されていない。 • NoIpNetworkNameSpecified - ipCloud 名が指定されていない。 • invalidNetworkName - ipCloud が構成されていない。 • NoIPSPortNameSpecified - gigE ポート ifindex が指定されていない • invalidIPSPortName - 無効な gigE ポート インターフェイス。 • generalISNSFailure - 一般的な iSNS サーバ障害。

iSNS Clouds

フィールド	説明
Id	IP クラウドの ID。
Switch WWN	このテーブル内のスイッチの WWN。

iSNS Cloud インターフェイス

フィールド	説明
Name、 Switch WWN、 Interface、 Address	クラウドの名前、スイッチの WWN、インターフェイス、およびアドレス。

Monitor Dialog Controls

フィールド	説明
Line Chart	データを折れ線グラフで表した新しいウィンドウを開きます。
Area Chart	データを面グラフで表した新しいウィンドウを開きます。
Bar Chart	データを棒グラフで表した新しいウィンドウを開きます。
Pie Chart	データを円グラフで表した新しいウィンドウを開きます。
Reset Cumulative Counters	[列データ (Column Data)] の表示モードが [累積 (Cumulative)] に設定されている場合に、カウンタを 0 にリセットします。
Export to File	標準の [Save] ダイアログボックスを表示します。データは .TXT ファイルで保存されます。
Print	標準の [印刷 (Print)] ダイアログボックスを表示します。

Update Frequency	モニター ダイアログ内でデータを更新する間隔。
フィールド	説明
Column Data	<p>モニター ダイアログに表示されるデータのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Absolute Value : スイッチを起動してからの合計量を表示します。これがエラー モニタリングのデフォルトです。 • Cumulative : ダイアログを表示してからの合計量を表示します。[累積カウンターのリセット (Reset Cumulative Counters)] ボタンをクリックしてカウンタをリセットすると、累積データの新しいセットを収集できます。 • Minimum/sec : リフレッシュ間隔ごとの 1 秒間の最小値を表示します。 • Maximum/sec : リフレッシュ間隔ごとの 1 秒間の最大値を表示します。 • Last Value/sec : リフレッシュ間隔ごとの 1 秒間の最新の値を表示します。これがトラフィック モニタリングのデフォルト設定です。
Elapsed	ダイアログが表示されてからの経過時間。[Reset Cumulative Counters] ボタンをクリックしてこのカウンタをリセットすると、累積データの新しいセットを収集できます。

iSNS Details iSCSI Nodes

フィールド	説明
Name	ストレージ ノードに関連付けられたイニシエータまたはターゲットの iSCSI 名。
Type	この iSCSI ノードの機能を定義するノードタイプ ビットマップ。 31 はターゲット、30 はイニシエータ、29 はコントロール、その他はすべて予約済みです。
Alias	iSCSI ノードのエイリアス名。
ScnBitmap	ノードの State Change Notification (SCN) ビットマップ。
WWN Token	オプションのグローバルに固有な 64 ビット整数値。ファイバ チャネル アプリック内での iSCSI デバイスのノードのワールドワイド ノード名を表すために使用できます。
AuthMethod	この iSCSI ノードで有効な iSCSI 認証方法。

iSNS の詳細 ポータル

フィールド	説明
Addr	このポータルのインターネットアドレス。

TcpPort	このポータルポート番号。
SymName	このポータルのオプションのシンボリック名。
EsiInterval	このポータルの Entity Status Inquiry (ESI) 間隔。
TCP ESI	ESI モニタリングに使用される TCP ポート番号。
フィールド	説明
TCP Scn	iSNS サーバからの SCN メッセージの受信に使用される TCP ポート番号。
SecurityInfo	ポータルセキュリティビットマップ属性に登録されたポータルのセキュリティ属性設定。

セキュリティ

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [セキュリティ ロール](#)
- [セキュリティ ロール ルール](#)
- [機能グループ マネージャ](#)
- [AAA LDAP サーバー](#)
- [AAA サーバー グループ](#)
- [AAA 検索マップ](#)
- [AAA アプリケーション](#)
- [AAA デフォルト](#)
- [AAA 一般](#)
- [AAAの統計情報](#)
- [iSCSI ユーザー](#)
- [共通ロール](#)
- [SNMP セキュリティ ユーザ](#)
- [SNMP セキュリティ コミュニティ](#)
- [セキュリティ ユーザ グローバル](#)
- [FC-SP 全般/パスワード](#)
- [FC-SP インターフェイス](#)
- [FC-SP ローカル パスワード](#)
- [FC-SP リモート パスワード](#)
- [FC-SP 統計情報](#)
- [FC-SP SA \(セキュリティ関連付け\)](#)
- [FC-SP ESP インターフェイス](#)
- [PKI 全般](#)
- [PKI RSA キーペア](#)
- [PKI 信頼ポイント](#)
- [PKI 信頼ポイントのアクション](#)
- [PKI LDAP](#)
- [PKI 認定マップ](#)
- [PKI 認定マップ - アプリケーション](#)
- [PKI トラスト ポイントの詳細](#)
- [IKE グローバル](#)

- IKE 事前共有認証キー
- IKE ポリシー
- IKE イニシエータ バージョン
- IKE トンネル
- IPSEC グローバル
- IPSEC トランスフォーム セット
- IPSEC クリプト マップ セット エントリ
- IPSEC インターフェイス
- IPSEC トンネル
- IP ACL プロファイル
- IP ACL インターフェイス
- IP フィルタ プロファイル
- SSH/Telnet
- ポート セキュリティのアクション
- ポート セキュリティ コンフィギュレーション データベース
- ポート セキュリティ アクティブ データベース
- ポート セキュリティ データベースの相違点
- ポート セキュリティ 違反
- ポート セキュリティ 統計情報
- IPSec

セキュリティ ロール

フィールド	説明
Name	ロールの名前。【作成 (Create)】ボタンをクリックして、新しいロールを定義します。 【ルール (Rules)】ボタンをクリックして、このロールのルールを定義します。
Description	ユーザー ロールのテキストの説明。
VSAN Scope Enable	ロールを指定された VSAN に制限する機能を有効にします。
VSAN Scope List	ロールがアクセスを許可されている VSAN のリストを指定します。
Interface Scope Enable	(Nexus 5000 シリーズのみ) ロールを指定されたインターフェイスに制限する機能を有効にします。
Interface Scope List	(Nexus 5000 シリーズのみ) ロールがアクセスを許可されているインターフェイスのリストを指定します。

セキュリティ ロール ルール



この表は Nexus 5000 シリーズ スイッチにのみ適用されます。

フィールド	説明
Rule Order	番号順にルールが適用されます。
Permit?	ルールが操作を許可するか拒否するかを示します。
Rule Operation	ルールでは、操作での読み取り専用アクセスまたは読み取り/書き込みアクセスを指定できます。
Rule Element Type	ルールは、コマンド、機能、機能グループ、またはすべてに適用できます。 [すべて (all)] を選択すると、ルールはすべてのコマンドと機能に適用されます。
Rule Element	ルール要素。ルールが適用されるコマンド、機能、または機能グループを指定します。
Features/Groups	[機能 / グループ (Features/Groups)] ボタンをクリックすると、機能グループマネージャが開きます。

機能グループ マネージャ



この表は Nexus 5000 シリーズ スイッチにのみ適用されます。

フィールド	説明
Name	機能グループの名前。
Add	新しい機能グループを作成するには、 [名前 (Name)] フィールドに新しい機能グループ名を入力し、 [追加 (Add)] をクリックします。
Add Feature	機能グループに機能を追加するには、機能グループ パネルで 1 つ以上の機能グループ名を選択し、機能パネルで機能を選択して、 [機能の追加 (Add Feature)] をクリックします。
Apply	変更を保存するには、 [適用 (Apply)] ボタンをクリックします。

AAA LDAP サーバー

フィールド	説明
IP Address Type	IP アドレス タイプ (IPv4、IPv6、または DNS) 。
Name or IP Address	AAA サーバーの IP アドレス。
AuthPort	AAA サーバーの認証ポート。
TimeOut(s)	AAA サーバーへの再送信間の秒単位の時間。この値は、このサーバーの [機能 (Features)] タブで設定されたタイムアウトの設定値を上書きします。この値がゼロの場合、 [機能 (Features)] タブで設定された値が使用されます。
Retransmits	サーバーへの試行を中止するまでに、AAA クライアントが AAA サーバーを試行する追加の回数。この値は、 [機能 (Features)] タブで設定された値を上書きします。この値がゼロの場合、 [機能] タブで設定された値が使用されます。

フィールド	説明
Idle Time (m)	システムがサーバーにテスト パケットを送信して定期的に AAA サーバーをテストする時間間隔 (分)。デフォルト値の 0 は、AAA サーバーの定期的なテストを行わないことを意味します。
TestUser	サーバーが要求に応答するかどうかをテストするために、AAA サーバーに送信されるテスト パケットで使用されるユーザー名。
TestPassword	サーバーが要求に応答するかどうかをテストするために、AAA サーバーに送信されるテスト パケットで使用されるパスワード。
RootDN	LDAP サーバー データベースへのアクセスの認証に使用されるルート名。
RootDNPasswordEncrType	RootDNPassword パスワードに使用される暗号化のタイプ。
RootDNPassword	ルート バインドを実行する場合に使用する RootDN パスワード。RootDN パスワードを入力しない場合、匿名バインドが実行されます。
SSL Mode	LDAP サーバーとのバインディングの前に、TLS トンネルを設定する必要があるかどうかを指定します。

AAA サーバー グループ

フィールド	説明
Name	サーバー グループの名前。
Protocol	このサーバー グループが属する AAA プロトコル。
ServerIdList	これは、このサーバー グループを形成する AAA サーバーの順序付きリストを表します。値内のサーバーの順序によって、そのグループのサーバーの優先順位が決まります。最初のもは「プライマリ」で、残りはセカンダリ (その他) です。サーバー グループは、メンバーがいないと存在できません。
DeadTime	AAA サーバー グループの DeadTime 設定。これは、AAA サーバーが認証要求に応答しない場合に、システムがサーバーをデッドとマークする時間の長さで、分単位で指定します。デッド タイムの間隔中に発生した認証要求は、デッドとしてマークされた AAA サーバーに送信されません。デフォルト値の 0 は、AAA サーバーが応答しない場合でも、そのサーバーがデッドとしてマークされないことを意味します。

AAA 検索マップ

フィールド	説明
BaseDN	許可要求の処理中に LDAP サーバーが検索を開始する LDAP 階層内の基本エントリの名前を指定します。
Filter	LDAP サーバー データベースでユーザー エントリを検索するために使用する LDAP フィルタの名前を指定します。
Attribute	ユーザー プロファイルのプライベート属性として使用する LDAP 属性を指定します。

AAA アプリケーション

フィールド	説明
ServerGroupIdList	これは、このアプリケーションが AAA 機能を実行するように設定されている AAA サーバー グループの順序付きリストを表します。値でのサーバー グループの順序によって、リスト内のサーバー グループの優先順位が決まります。
Local	「ローカル」AAA は、デバイスで提供されるローカル AAA サービスを使用して、すべての AAA 機能を実行することを意味します。有効にすると、サーバー グループ リスト内のすべてのサーバー グループを試した後にのみ使用されます。
Trivial	「トリビアル (Trivial)」AAA は、すべてのサーバー グループと「ローカル」AAA (構成されている場合) を試した後にのみ使用されます。トリビアル AAA は、AAAFUNCTION の対応するインスタンスの値に基づいて、次のいずれかに対応します。 <ul style="list-style-type: none"> 「AAAFUNCTION」値が「authentication」の場合、ユーザー 名 ベースの 認証 「AAAFUNCTION」値が「authorization」の場合、許可チェックなし 「AAAFUNCTION」値が「accounting」の場合、アカウンティングなし。

AAA のデフォルト

フィールド	説明
KeyEncrType	サーバー鍵の暗号化タイプ。
AuthKey	AAA サーバーとクライアントの間で渡されるフレームの暗号化に使用されるキー。このキーは、サーバーで設定されているキーと一致する必要があります。
TimeOut	AAA サーバーへの再送信間隔を指定する秒数。

Retransmits	サーバーへの試行を中止するまでに、AAA クライアントが AAA サーバーを試行する追加の回数。
フィールド	説明
DirectReq	ログイン時の認証に AAA サーバーを選択できるかどうかを指定します。true の場合、ログイン時の認証にリモート AAA サーバーを指定できます。ログイン名を username@hostname として指定すると、認証要求は、username をユーザー名として、hostname というホスト名を持つリモート AAA サーバーに送信されます。false の場合、ログイン時の認証にリモート AAA サーバーを指定できません。
DeadTime (m)	AAA サーバー グループの DeadTime 設定。これは、AAA サーバーが認証要求に応答しない場合に、システムがサーバーをデッドとマークする時間の長さで、分単位で指定します。デッド タイムの間隔中に発生した認証要求は、デッドとしてマークされた AAA サーバーに送信されません。デフォルト値の 0 は、AAA サーバーが応答しない場合でも、そのサーバーがデッドとしてマークされないことを意味します。

AAA 全般

フィールド	説明
AuthTypeMSCHAP	ログイン時にリモート AAA サーバーを介してユーザーを認証するために MSCHAP 認証メカニズムを使用する必要があるかどうかを示します。true の場合、MSCHAP 認証が使用されます。false の場合は、デフォルトの認証メカニズムが使用されます。
AuthTypeMSCHAPv2	ログイン時にリモート AAA サーバーを介してユーザーを認証するために MSCHAPv2 認証メカニズムを使用する必要があるかどうかを示します。true の場合、MSCHAP 認証が使用されます。false の場合は、デフォルトの認証メカニズムが使用されます。



一度に 1 つの認証メカニズムを変更することをお勧めします。そうしないと、エラーが発生する可能性があります。たとえば、MSCHAP を MSCHAPv2 に変更した場合は、MSCHAP を選択して適用してから、MSCHAPv2 を選択して適用してください。

AAA の統計情報

フィールド	説明
-------	----

Authentication	
Requests	このサーバーがアクティブになってから送信された認証要求の数。リクエストのタイムアウトによる再送信は、別個のリクエストとしてカウントされます。
Timeouts	サーバーがアクティブになってからタイムアウトになった認証要求の数。
フィールド	説明
Unexpected	このサーバーがアクティブになってから受信した予期しない認証応答の数。
Errors	このサーバーがアクティブになってから受信したサーバー ERROR の認証応答の数。
Incorrect	サーバーがアクティブになってから処理できなかった認証応答の数。
ResponseTime	システムの再初期化以降、このサーバーに送信された認証要求の平均応答時間（タイムアウトを除く）。
Successes	このサーバーがアクティブになってから成功した、このサーバーとの認証トランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクションには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。サーバーが認証の成功または失敗のいずれかで応答した場合、トランザクションは成功したものとみなされます。
Failures	このサーバーがアクティブになってから失敗した、このサーバーとの認証トランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクションには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。最大再送数に達した場合、またはサーバーがトランザクションを中止した場合、トランザクションエラーが発生します。
Authorization	
Requests	このサーバーがアクティブになってから送信された許可リクエストの数。リクエストのタイムアウトによる再送信は、別個のリクエストとしてカウントされます。
Timeouts	サーバーがアクティブになってからタイムアウトになった許可リクエストの数。タイムアウトになると、リクエストが再送信されます。試行の最大数に達した場合、それ以上の再送信は試行されません。
Unexpected	このサーバーがアクティブになってから受信した予期しない許可応答の数。例としては、すでにタイムアウトしたリクエストへの遅延応答があります。
Errors	このサーバーがアクティブになってから受信したサーバー ERROR の許可応答の数。これらは、サーバー自体が許可操作でエラーを識別したことを示す応答です。

Incorrect	サーバーがアクティブになってから処理できなかった許可応答の数。理由には、応答を復号できなかった、無効なフィールドである、または応答が要求に基づいて無効であることが含まれます。
ResponseTime	システムの再初期化以降、このサーバーに送信された許可要求の平均応答時間（タイムアウトを除く）。
Successes	このサーバーがアクティブになってから成功した、このサーバーとの許可トランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクションには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。サーバーが許可のパスした、または失敗のいずれかで応答した場合、トランザクションは成功したものとみなされます。
フィールド	説明
Failures	このサーバーがアクティブになってから失敗した、このサーバーとの許可トランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクションには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。最大再送数に達した場合、またはサーバーがトランザクションを中止した場合、トランザクションエラーが発生します。
アカウントिंग (Accounting)	
Requests	システムの再初期化以降にこのサーバーに送信されたアカウントिंग要求の数。リクエストのタイムアウトによる再送信は、別個のリクエストとしてカウントされます。
Timeouts	システムの再初期化以降にタイムアウトになったアカウントिंग要求の数。タイムアウトになると、リクエストが再送信されます 試行の最大数に達した場合、それ以上の再送信は試行されません。
Unexpected	システムの再初期化以降に、このサーバーから受信した予期しないアカウントिंग応答の数。例としては、すでにタイムアウトしたリクエストへの遅延応答があります。
Errors	システムの再初期化以降に、このサーバーから受信したサーバー ERROR アカウントिंग応答の数。これらは、サーバー自体がアカウントिंग操作でエラーを識別したことを示す応答です。
Incorrect	システムの再初期化以降に処理できなかったアカウントिंग応答の数。理由には、応答を復号できなかった、無効なフィールドである、または応答が要求に基づいて無効であることが含まれます。
ResponseTime	タイムアウトを除くシステムの再初期化以降、このサーバーに送信されたアカウントिंग要求の平均応答時間。
Successes	システムの再初期化以降に成功した、このサーバーとのアカウントिंगトランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクションには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。サーバーがアカウントिंगの成功または失敗のいずれかで応答した場合、トランザクションは成功したものとみなされます。

Failures	システムの再初期化以降に失敗した、このサーバーとのアカウントイン グ トランザクションの数。タイムアウトが発生した場合、トランザクシ ョンには複数の要求の再送信が含まれる場合があります。最大再送数に 達した場合、またはサーバーがトランザクションを中止した場合、トラ ンザクションエラーが発生します。
統計情報	
State	サーバーの現在の状態です。 <ul style="list-style-type: none"> • up：サーバーはリクエストに応答します • dead：サーバーは最大回数の再送信後に応答しない場合「dead」と マークされます。待機期間後またはサーバーから応答があると、サ ーバーは再び「アップ」とマークされます。
現在の継続時間 (csec)	サーバーが現在の状態になってからの経過時間。
フィールド	説明
Duration Previous (csec)	このオブジェクトは、サーバーが最新の状態より前の状態にあった時間 の長さを提供します。サーバーの状態が変化していない場合、この値は ゼロです。
TotalDeadTime	システムの再初期化以降、このサーバーの状態の値がデッドだった時間 の合計。
DeadCount	システムの再初期化以降、このサーバーがデッド状態になった回数

iSCSI User

フィールド	説明
iSCSI User	iSCSI ユーザーの名前。
パスワード	iSCSI ユーザーのパスワード。

共通ロール



共通ロールは、displayFCoE モードでは使用できません（セキュリティロー
ルを使用してください）。

フィールド	説明
Description	共通ロールの説明。
Enable	共通ロールに VSAN の制約があるかどうかを指定します。
List	ユーザーが制限された VSAN リスト。

SNMP セキュリティ ユーザー

フィールド	説明
Role	セキュリティ モデルに依存しない形式でのユーザー。
Password	一般ユーザーのパスワード。SNMP の場合、このパスワードは、認証と機密保全の両方に使用されます。CLI と XML の場合、認証のみに使用されます。
Digest	使用されるダイジェスト認証プロトコルのタイプ。
Encryption	使用される暗号化認証プロトコルのタイプ。
ExpiryDate	このユーザーの有効期限が切れる日付。
構成された SSH キー ファイル	ユーザーが SSH 公開キーで設定されているかどうかを指定します。
フィールド	説明
SSH Key File	SSH 公開キーを保管しているファイルの名前。SSH 公開キーは、このユーザの SSH セッションを認証するために使用されます。これは、CLI ユーザに対してのみ適用されます。形式は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • OpenSSH 形式の SSH 公開キー • IETF SECSH（商用の SSH 公開キー形式）の SSH 公開キー • 公開キーの抽出元となる PEM（Privacy-Enhanced Mail 形式）の SSH クライアント証明書 • 証明書ベースの認証用の SSH クライアント証明書 DN（識別名）
Creation Type	ユーザーのログイン情報ストアのタイプ。ユーザーによってこのテーブルに行が作成されると、デバイスに対してローカルなログイン情報ストアにユーザ エントリが作成されます。AAA サーバー ベースの認証などのリモート認証メカニズムの場合、ログイン情報は他の（リモートの）システムまたはデバイスに保管されます。
Expiry Date	このユーザーの有効期限が切れる日付。

SNMP セキュリティ コミュニティ

フィールド	説明
Community	コミュニティ ストリング。
Role	セキュリティ モデル名。

セキュリティ ユーザー グローバル

フィールド	説明
Enforce SNMP Privacy Encryption	SNMP エージェントにより、SNMPv3 メッセージに対する暗号化の使用がシステム内のすべてのユーザーに対してグローバルに適用されるかどうかを指定します。
Cache Timeout	これにより、ローカルシステム内でユーザ資格情報をキャッシュするための最大タイムアウト値が指定されます。



管理者が **Device Manager** で新しいユーザを作成する場合または既存のユーザーを削除する場合、プライバシー パスワードと認証パスワードが必要です。ただし、新しいユーザーの作成時に管理者がこれらの資格情報を入力しなくても、**Device Manager** は、管理者の認証パスワードをプライバシー パスワードとして使用します。

administrator をプライバシー パスワードとして使用します。ユーザーに対して定義されたプライバシー プロトコルが **DES** (デフォルト) ではない場合、MDS の SNMP エージェントはパケットを復号化できず、SNMP エージェントはタイムアウトになります。ユーザーに対して定義されたプライバシー プロトコルが **DES** ではない場合、ユーザーがログイン時にプライバシー パスワードとプロトコルの両方を入力する必要があります。

FC-SP 全般/パスワード

フィールド	説明
Timeout	FC-SP メッセージのタイムアウト時間
HashList	提案されたハッシュ メカニズムが優先順に含まれています。先頭が最優先で、末尾が最も優先されません。
GroupList	「:」 で区切られた各トークンには、Diffie-Hellman グループ識別子に対応する値が含まれます。
GenericPasswd	スイッチのパスワード

FC-SP インターフェイス

フィールド	説明
Mode	<p>このインターフェイスの FC-SP モード。</p> <ul style="list-style-type: none"> • autoPassive の場合、ポートは FC-SP 認証交換を開始しません。ただし、相手側によって開始された FC-SP 認証交換には常に参加します。 • autoActive の場合、ポートは常に ESC の後に FC-SP 認証交換を開始しようとします。相手側が FC-SP 認証をサポートしていない場合でも、ポートはやはりアップになろうとします。 • オンの場合、ポートは常に FC-SP 認証交換を開始しようとし、認証はポートがアップになる前に行われます。相手側が FC-SP 認証をサポートしていない場合、ポートはアップになりません。 • オフの場合、ポートは FC-SP 認証交換を開始せず、反対側から開始された FC-SP 認証メッセージに拒否を送信しません。「オフ」でない場合には、ポートは少なくとも 1 つの FC-SP 認証プロトコルをサポートする必要があります。 <p> FC-SP DHCHAP モードを DCNM からのタイムアウト エラを回避するには、各スイッチで FC-SP DHCHAP モードを個別に構成する必要があります。</p>
Reauthenticate Interval (hr)	ポートが相手側の再認証を試みる前に待機しなければならない時間（時間単位）。
Reauthenticate Start	これが有効に設定されている場合、相手側を再認証します。
Auth Successes	このインターフェイスで FC-SP 認証が成功した回数。
Auth Fails	このインターフェイスで FC-SP 認証が失敗した回数。
Auth Bypasses	このインターフェイスで FC-SP 認証がバイパスされた回数。

FC-SP ローカル パスワード

フィールド	説明
Local WWN	ローカルホストのポートワールドワイド名。
Password	ローカルスイッチのパスワード。

FC-SP リモート パスワード

フィールド	説明
Remote WWN	リモートホストのワールドワイド名。
Password	リモートスイッチのパスワード。

FC-SP 統計

フィールド	説明
Auth Succeeded	このインターフェイスで FC-SP 認証が成功した回数。
Auth Failed	このインターフェイスで FC-SP 認証が失敗した回数。
Auth ByPassed	このインターフェイスで FC-SP 認証がバイパスされた回数。
EspSpiMismatch	SPI が不一致だった受信フレームの数。
EspAuthFailed	ESP 認証チェックに失敗した受信フレームの数。

FC-SP SA (セキュリティ アソシエーション)

フィールド	説明
SPI	セキュリティパラメータインデックスの値を表示します。
Salt	暗号化に使用される Salt。
Key	暗号化と認証に使用されるキー。

FC-SP ESP インターフェイス

フィールド	説明
Interface	インターフェイスの名前

フィールド	説明
ESP Mode	ESP モードを次のいずれかとして指定します。 <ul style="list-style-type: none"> なし - ESP はリンク上で実行されていません。 Gcm- リンクは暗号化および認証する必要があります。 Gmac- リンクは認証が必要です
EgressSA	使用する出力セキュリティ アソシエーションを指定します。有効な値は、256 ～ 65536 です。
IngressSA1	使用する入力セキュリティ アソシエーションを指定します。有効な値は、256 ～ 65536 です。
IngressSA2	使用する入力セキュリティ アソシエーションを指定します。有効な値は、256 ～ 65536 です。
EspFailureReason	失敗の理由を表示します。「なし (None)」は、エラーがないことを示します。

PKI 全般

フィールド	説明
Switch	スイッチ名。
CertStoreConfig	システムが認証に使用する証明書ストア構成。

PKI RSA キーペア

フィールド	説明
Name	キーペアの名前またはラベル。
Size	キーのサイズ。次のモジュラス サイズが定義されています。 <ul style="list-style-type: none"> 512 ビット、768 ビット、1024 ビット、1536 ビット、および 2048 ビット。 作成後はサイズの変更はできません。行の削除によってキーペアを削除してから、エントリを別のサイズで再度作成してください。
FileName	RSA 秘密鍵を保管するファイルの名前。このファイル名は、キーペア名から自動的に生成されます。これは、UNIX スタイルの「/」で区切られた文字列で、デバイスのファイル システム内のファイルの絶対パスを表します。
Exportable	キー ペアは、exportpkcs12 PKI サポート アクションを介してエクスポートできます。作成後は、エクスポート可能フラグの値を変更することはできません。行の削除によってキーペアを削除してから、別のエクスポート可能フラグの値を使用して、エントリを再度作成してください。

PKI 信頼ポイント

フィールド	説明
Name	トラストポイントの名前またはラベル。
KeyPair Name	キーペア テーブルからの関連付けられたキーペアの名前。キーペアがまだ関連付けられていない場合、値は長さゼロの文字列になります。
Revoke CheckMethods	<p>この信頼ポイント エントリに対応する CA によって発行されたピア証明書を検証する際に使用される証明書失効チェック メソッドの順序付きリストである失効チェック メソッド リスト。このオブジェクトの値は、1 つ以上の 1 オクテット値の順序付けられたリストであり、各 1 オクテット値は失効チェック メソッド列挙のメソッドに対応します。</p> <ul style="list-style-type: none">• none (1) - 失効ステータスのチェックは必要ありません。代わりに、証明書は取り消されていないと見なしてください。• crl (2) - CRL を使用して証明書の失効ステータスを確認します。• ocspl (3) - 証明書の失効ステータスをチェックするために OCSP を使用します。 <p>リストに何も表示されない場合は、直前の値にする必要があります。順序付けられたリストの最後の値の後のオクテットは、ゼロ オクテットでなければなりません。失効チェック メソッドがこのオブジェクトの値内で発生する順序は、ピア証明書の検証中に失効チェック メソッドが試行される順序を決定します。デフォルト値（行作成後）には、失効チェック メソッド crl のみが含まれます。</p>
OCSPurl	OCSP プロトコルを使用した証明書失効チェックのための外部 OCSP サーバーのコンタクト http URL。デフォルト値（行作成後）は、長さゼロの文字列です。

PKI 信頼ポイント アクション

フィールド	説明
Name	信頼ポイント アクションの名前またはラベル。
Command	この信頼ポイント エントリに対してトリガーされる PKI サポート アクション。
Url	このエントリでトリガーされる PKI サポート アクションに必要な入力または出力証明書データを含むファイル名を示します。ファイル名は bootflash:<filename> として指定する必要があります。また、トリガーされたアクションに応じて、ブートフラッシュで使用可能にするか、ブートフラッシュで作成する必要があります。
Password	トリガーされている PKI サポート アクションを実行するために必要なパスワードを示します。このパスワードは、certreq、importpkcs12、および exportpkcs12 アクションに対してのみ指定する必要があります。セキュリティ上の理由から、値は、管理プロトコルによって取得される場合は常に、長さゼロの文字列です。

フィールド	説明
Last Command	最後に試行された PKI サポート アクション。最後に <code>cpkiAction</code> オブジェクトに設定しようとした値です。信頼ポイントの作成後にアクションがトリガーされていない場合、このオブジェクトの値を取得しても何も返されません。
Result	最後の PKI サポート アクションの実行結果。

PKI LDAP

フィールド	説明
Switch	スイッチ名。
Store Type	リモート証明書ストアのタイプ。
CRL Timer (hrs)	CA 証明書に対応する CRL が更新される時間間隔。CA 証明書と対応する CRL は、認証のためにリモート <code>certstore</code> から取得され、ローカル キャッシュに保存されます。後続の認証の時間遅延を回避するためです。
Server Group Name	リモートの <code>certstore</code> 操作に使用されるサーバー グループの名前。

PKI 認定マップ

フィールド	説明
Switch	スイッチの名前
Filter Name	マッピング フィルタ処理の一意の名前
Subject Name	CA 証明書のサブジェクト名。
Alternate Name Email	<code>AltNameEmail</code> は別の一意のフィールドであり、認証に使用されるサブジェクト名の一部です。
Alternate Name Universal Principal Name	<code>UPN</code> は別の一意のフィールドであり、認証に使用されるサブジェクト名の一部です。

PKI 認定マップ - アプリケーション

フィールド	説明
Switch	スイッチ名。
Purpose / Issuer Name	証明書発行者の名前。
Map Name 1	指定された権限と発行者名で証明書に適用される最初のフィルタリングマップの名前。
Map Name 2	特定の権限と発行者名で証明書に適用される 2 番目のフィルタリングマップの名前。

PKI 信頼ポイントの詳細

フィールド	説明
Name	キーペアの名前またはラベル。
IdCert FileName	ID 証明書を格納するファイルの名前。これは、デバイスのファイル システム内のファイルの絶対パスを表す UNIX スタイルの「/」で区切られた文字列です。まだアイデンティティ証明書を取得していない場合、値は長さゼロの文字列になります。
IdCert SubjName	アイデンティティ証明書のサブジェクト名。証明書または証明書にサブジェクト名がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IdCert SerialNum	アイデンティティ証明書のシリアル番号。証明書がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IdCert StartDate	証明書の notBefore フィールドに対応する、ID 証明書が有効になり始める時刻。証明書がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IdCert EndDate	証明書の notAfter フィールドに対応する、ID 証明書の有効期間が終了する時刻。証明書がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IdCert FingerPrint	16 進数文字列形式の ID 証明書の MD5 fingerprint。証明書がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IssuerCert FileName	発行者証明書を格納するファイルの名前。これは、デバイスのファイル システム内のファイルの絶対パスを表す UNIX スタイルの「/」で区切られた文字列です。発行者証明書がまだ取得されていない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。
IssuerCert SubjName	発行者名（発行者証明書のサブジェクト名。存在する場合、ID 証明書の発行者名と同じになります）。証明書がない場合、値は長さゼロの文字列になります。
IssuerCert SerialNum	発行者証明書のシリアル番号。証明書がない場合、値は長さゼロの文字列になります。
IssuerCert StartDate	証明書の notBefore フィールドに対応する、発行者証明書が有効になり始める時刻。証明書がない場合、値は長さゼロの文字列になります。
IssuerCert EndDate	証明書の notAfter フィールドに対応する、発行者証明書の有効期間が終了する時刻。証明書がない場合、値は長さゼロの文字列になります。
IdCert FingerPrint	発行者の証明書の MD5 フィンガープリント（HEX 文字列形式）。証明書がない場合、このオブジェクトの値は長さゼロの文字列になります。

IKE グローバル

フィールド	説明
RemIdentity	管理対象デバイスの IKE エンティティが、すべてのピアとともに、この概念的な行に対応する DOI に使用する、キープアライブ インターバルを秒単位で表示します。
キー	管理対象デバイスの IKE エンティティがすべてのピアとともに、この概念的な行に対応する DOI に使用するキープアライブのタイプを表示します。

IKE 事前共有認証キー

フィールド	説明
KeepAliveInterval (sec)	この事前共有キーがローカル エンティティ上で設定されたピアのフェーズ 1 ID。
IdentityType	この概念的な行に対応するピアの認証ピア を 認証する た 使用に使用される事前共有認証キー。 を め されるに る

IKE ポリシー

フィールド	説明
Priority	この ISAKMP ポリシー エントリの優先順位。小さい値を持つポリシーは、同じ DOI 内の高い値を持つポリシーよりも優先されます。
Encr	この ISAKMP ポリシー仕様によって指定された暗号化トランスフォーム。このポリシー項目を使用するインターネット KeyExchange (IKE) トンネル設定は、指定された暗号化トランスフォームを使用して ISAKMP PDU を保護します。
Hash	この ISAKMP ポリシー仕様によって指定されたハッシュ トランスフォーム。このポリシー項目を使用する IKE トンネル設定は、指定されたハッシュ トランスフォームを使用して ISAKMP PDU を保護します。
Auth	この ISAKMP ポリシー仕様によって指定されたピア認証方式。このポリシー エンティティを選択してピアとネゴシエートする場合、ローカル エンティティは、このオブジェクトによって指定された方法でピアを認証します。
DHGroup	メイン モードでの Diffie-Hellman 交換に使用される Oakley グループを指定します。このポリシー項目を選択してメイン モードを IKE ピアとネゴシエートする場合、ローカル エンティティは、このオブジェクトによって指定されたグループを選択して、ピアとの Diffie-Hellman 交換を実行します。
Lifetime (sec)	このポリシー仕様を使用して生成された IKE トンネルのライフタイムを秒単位で指定します。

IKE イニシエータ側バージョン

フィールド	説明
Address	この概念的な行に対応するリモート ピアのアドレス。このオブジェクトは、 <code>cicIkeCfgInitiatorStatus</code> の対応する値がアクティブに等しい間は変更できません。
Version	<code>cicIkeCfgInitiatorPAddr</code> で指定されたリモート ピアに接続するときを使用される IKE プロトコル バージョン。このオブジェクトは、 <code>cicIkeCfgInitiatorStatus</code> の対応する値がアクティブに等しい間は変更できません。

IKE トンネル

フィールド	説明
LocalAddress	フェーズ 1 トンネルのローカル エンドポイントのアドレス。
RemoteAddress	フェーズ 1 トンネルのリモート エンドポイントのアドレス。
AuthMethod	この概念的な行に対応する制御トンネルのフェーズ 1 ネゴシエーションで使用される認証方式。
Action	このトンネルに適用するアクション。 <code>clear</code> の場合は、このトンネルがクリアされます。 <code>re-key</code> の場合は、このトンネルに対してキーの再生成が強制されます。このオブジェクトの読み取り後に、値 <code>none</code> が返されます。

IPSEC グローバル

フィールド	説明
Lifetime (sec)	グローバル ポリシーとして IPSEC トンネルに割り当てられたデフォルト ライフタイム (秒単位) (特定のクリプトマップ定義で上書きされる可能性がある)。
Lifesize (KB)	グローバル ポリシーとして IPSEC トンネルに割り当てられたデフォルト ライフ サイズ (KBytes) (ただし、特定のクリプトマップ定義で上書きされる場合を除く)。

IPSEC トランスフォーム セット

フィールド	説明
Id	トランスフォーム セットを一意に識別するトランスフォーム セットのシーケンス番号です。異なるトランスフォーム セットは、異なるシーケンス番号を持つ必要があります。
Protocol	このトランスフォーム セットのフェーズ 2 セキュリティ プロトコルのスイートを表します。
ESP Encryption	ESP 暗号化に使用されるトランスフォームを表します。

ESP Authentication	ESP プロトコルによる完全性チェックを実装するために使用されるトランスフォームを表します。
Mode	トランスフォーム セットのカプセル化モードを表します。

IPSEC クリプトマップセット エントリ

フィールド	説明
IpFilter	このクリプトマップ エントリを使用して保護される IP プロトコルフィルタを指定します。長さ 0 のストリング値を持つ場合は、無効または適用不可です。
TransformSetIdList	この CipsStaticCryptomapEntry のメンバーである cipsXformSetId のリスト。このオブジェクトの値は、0 個以上の 4 オクテット文字列を連結したものです。各 4 オクテット文字列は 1 つの 32 ビット cipsXformSetId 値を含みます（ネットワーク バイト オーダー）。長さ 0 の文字列の値は、このリストにメンバーが含まれないことを意味します。
AutoPeer	true の場合は、トンネルの作成中、接続先アドレスがピア アドレスであると見なされます。
Peer Address	このクリプトマップ エントリが現在接続されているピアの IP アドレス。
PFS	このポリシー項目に起因してインスタンス化されたトンネルで完全転送秘密（PFS）を使用するかどうかを識別し、使用する場合は、Oakley のどのグループを使用するかを識別します。
LifeTime	この IPsec ポリシー エントリを使用して作成された IPsec セキュリティ アソシエーション（SA）のライフタイムを指定します。
Lifeseize Value	この IPsec ポリシー エントリを使用して作成された IPsec SA のライフ サイズ（伝送される可能性がある最大トラフィック（バイト数））を識別します。この IPsec ポリシー エントリを使用してセキュリティ アソシエーション（SA）が作成された場合は、このオブジェクトの値をライフ サイズとして取得します。

IPSEC インターフェイス

フィールド	説明
CryptomapName	スタティック クリプト マップ テーブルのインデックス。この文字列の値は、クリプトマップセットを定義したときに NMS によって割り当てられた名前の文字列です。
InterfaceList	クリプトマップに属するインターフェイス。

IPSEC トンネル

フィールド	説明
Local Address	IPsec フェーズ 2 トンネルのローカル エンドポイントの IP アドレス。
RemoteAddress	IPsec フェーズ 2 トンネルのリモート エンドポイントの IP アドレスのタイプ。

ESP Encryption	IPSec フェーズ 2 トンネルのアウトバウンドセキュリティアソシエーションによって使用される暗号化アルゴリズム。
フィールド	説明
ESP Encryption KeySize	ceipSecTunOutSaEncryptAlgo により示されるアルゴリズムとともに使用されるネゴシエーション キーのキー サイズ (ビット単位)。DES および 3DES のキー サイズは、それぞれ 56 および 168 です。AES の場合は、ネゴシエートされたキー サイズを示します。
ESP Authentication	IPSec フェーズ 2 トンネルにおけるインバウンドのカプセル化セキュリティペイロード (ESP) プロトコルのセキュリティアソシエーションによって使用される認証アルゴリズム。
LifeSize (KB)	IPSec フェーズ 2 トンネルのネゴシエートされたライフ サイズ (KB 単位)。
LifeTime (sec)	IPSec フェーズ 2 トンネルのネゴシエートされたライフタイム (秒単位)。トンネルを手動で設定した場合、この MIB 要素の値は 0 となっている必要があります。
Action	MIB テーブル行のステータス。

IP ACL プロファイル

フィールド	説明
Name	固有の IP プロトコル フィルタ プロファイル識別子です。
Type	このオブジェクトは、このフィルタ プロファイルの使用タイプを決定します。この使用タイプは、プロファイルの作成後には変更できません。

IP ACL インターフェイス

フィールド	説明
ProfileName	固有の IP プロトコル フィルタ プロファイル識別子です。

IP フィルタ プロファイル

フィールド	説明
Action	deny に設定すると、このフィルタに一致するすべてのフレームが廃棄され、フィルタ リスト残りの部分のスキャンが中止されます。permit に設定すると、後続のブリッジングまたはルーティング処理に対して、このフィルタに一致するすべてのフレームが許可されます。
Protocol	このフィルタ プロトコル値は、フレーム内のインターネットプロトコル番号と照合されます。これらの IP 番号は、Network Working Group の Request for Comments (RFC) ドキュメントで定義されています。これを「-1」に設定すると、フィルタリングで任意の IP 番号が一致します。

Address	このフィルタで照合される送信元 IP アドレス。0 を設定すると、すべての送信元アドレスが一致します。
フィールド	説明
Mask	一致する必要がある SrcAddress ビットに対するワイルドカード マスクです。このマスクの 0 ビットは、照合に成功するために一致する必要がある SrcAddress の対応するビットを示します。1 ビットは、照合に無関係のビットです。0 を設定すると、SrcAddress と同じ送信元アドレスの IP フレームだけが一致します。
PortLow	プロトコルが UDP または TCP の場合は、照合されるトランスポート層の送信元ポート範囲の下限を指定します。それ以外の場合は、照合中に無視されます。この値は、この SrcPortHigh のエントリに指定した値以下である必要があります。
PortHigh	プロトコルが UDP または TCP の場合は、照合されるトランスポート層の送信元ポート範囲の上限を指定します。それ以外の場合は、照合中に無視されます。この値は、この SrcPortLow のエントリに指定した値以上である必要があります。この値が「0」の場合は、照合中に UDP または TCP ポート番号が無視されます。
Address	このフィルタで照合される宛先 IP アドレス。0 を設定すると、すべての送信元アドレスが一致します。
Mask	一致させる必要がある DestAddress ビットに対するワイルドカード マスクです。このマスクの 0 ビットは、照合に成功するために一致する必要がある DestAddress の対応するビットを示します。1 ビットは、照合に無関係のビットです。0 を設定すると、SrcAddress と同じ送信元アドレスの IP フレームだけが一致します。
PortLow	プロトコルが UDP または TCP の場合は、照合されるトランスポート層の宛先ポート範囲の下限を指定します。それ以外の場合は、照合中に無視されます。この値は、PortHigh でこのエントリに指定した値以下である必要があります。
PortHigh	プロトコルが UDP または TCP の場合は、照合されるトランスポート層の宛先ポート範囲の上限を指定します。それ以外の場合は、照合中に無視されます。この値は、この DestPortLow のエントリに指定した値以上である必要があります。この値が「0」の場合は、照合中に UDP または TCP ポート番号が無視されます。

フィールド	説明
Precedence	<p>各フレーム内の IP トラフィックの優先度パラメータは、特定のネットワークを通じてデータグラムを送信するときに、実際のサービスパラメータの選択を案内するために使用されます。ほとんどのネットワークは、高い優先度のトラフィックを他のトラフィックよりも重要なものとして扱います。IP Precedence 値の範囲は「0」～「7」ですが、「7」が最も優先度が高く、「0」が最も優先度が低くなります。値「-1」は、任意の IP precedence のフレームと一致することを意味します。つまり、この値が「-1」の場合、IP precedence パラメータはチェックされません。優先レベルは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • routine(0) : ルーティング トラフィックの優先度 • priority(1) : プライオリティ トラフィックの優先度 • immediate(2) : 即時トラフィックの優先度 • flash(3) : フラッシュ トラフィックの優先度 • flashOverride(4) : フラッシュ オーバーライド トラフィックの優先度 • critical(5) : クリティカルな優先順位 • internet(6) : インターネットワーク制御トラフィックの優先順位 • network(7) : ネットワーク制御トラフィックの優先順位。
TOS	<p>フレームのサービスタイプ (ToS) 。TOS 値の範囲は「0」～「15」です。値「-1」は、任意の TOS 値と一致します。</p>
ICMPType	<p>このフィルタは、照合される ICMP メッセージを指定します。この値を「-1」に設定すると、フィルタリングで任意の ICMP メッセージタイプが一致します。</p>
ICMPCode	<p>このフィルタは、照合される ICMP メッセージコードを指定します。この値を「-1」に設定すると、フィルタリングで任意の ICMP コードが一致します。</p>
TCPEstablished	<p>このフィルタが true の場合は、TCP プロトコルで接続が確立されているときに、TCP データグラムが ACK、FIN、PSH、RST、SYN、または URG のコントロール ビット セットを持っていると一致と見なされます。false の場合は、任意の TCP データグラムで一致と見なされます。</p>
LogEnabled	<p>フィルタリング サブシステムによってフィルタリングされたフレームが記録されるかどうかを指定します。true の場合は、すべてのフレームが記録されます。false の場合は、いずれのフレームも記録されません。</p>

SSH/Telnet

フィールド	説明
Enable SSH/Telnet	<p>チェックボックスをオンにして SSH または Telnet を有効にします。</p>
NumBits	<p>キーの生成に使用するビット数。これは、SSH によって生成されるキー文字列の長さを決定します。</p>

Key	生成される SSH キー文字列。
LastCreationTime	キーが最後に作成された時刻。
フィールド	説明
Enable	デバイスで Secure Shell (SSH) サービスを有効または無効にします。

ポート セキュリティのアクション

フィールド	説明
Activation	
Action	<ul style="list-style-type: none"> • activate - この VSAN/VLAN 上の有効なポート バインディングがアクティブになります。 • activate (Turn LearningOff) - この VSAN/VLAN 上の有効なポート バインディングがアクティブになり、アクティブ データベースにコピーされます。また、アクティブ化が完了すると、この VSAN/VLAN の自動学習がオフになります。 • force activate - アクティベーション中にエラーが発生した場合でも強制的にアクティベーションが行われ、アクティブになったポート バインディングがアクティブ データベースにコピーされます。 • force activate (Turn Learning Off) - 強制的にアクティベーションが行われ、アクティベーション後に自動学習がオフになります。また、アクティブになったポート バインディングがアクティブ データベースにコピーされます。 • deactivate - この VSAN/VLAN 上で現在アクティブになっている有効なポート バインディング (ある場合) が非アクティブ化されます。アクティブ データベースに含まれていた現在アクティブなエントリ (ある場合) は削除されます。 • 自動学習がイネーブルになっている場合、その VSAN 上でのアクティベーションは許可されません。
Enabled	この VSAN/VLAN のアクティベーションの状態。true の場合は、この VSAN/VLAN に対する最新の操作として、アクティベーションが試みられています。false の場合は、この VSAN/VLAN に対する最新の操作として、アクティベーションが試みられていません。
結果	最新のアクティベーション/非アクティベーションの結果を示します。
Last Change	この VSAN/VLAN 上の有効なポート バインディングが最後にアクティブ化されたタイミング。エージェントの前の再初期化前に最後のアクティベーションが行われている場合、この値は N/A になります。
CopyActiveToConfig	イネーブルの場合、アクティブ ポート バインディング データベースがこの VSAN/VLAN のコンフィギュレーション データベースにコピーされます。学習済みエントリもコピーされます。

フィールド	説明
AutoLearn	そのすべてのポート上のローカル デバイスにログイン済みのデバイス/ポートの有効なポート バインディング設定の学習を支援し、前述のアクティブ データベースを同じ内容を入力します。一定期間にわたってローカル デバイスにログイン済みのデバイス/ポートの設定を「学習」して、設定を入力するこのメカニズムは、ユーザーにとって便利なメカニズムです。特定の VSAN でイネーブルになっている場合、その VSAN に対する後続のすべてのログイン (FLOGI) は、その VSAN 上で実行されている既存のポート バインディングと競合しないならば、実行されたポート バインディング データベースに入力されます。ディセーブルの場合、学習メカニズムは停止します。ただし、学習済みエントリはアクティブ データベースに保存されます。
Clear AutoLearned	
Action	<ul style="list-style-type: none"> • VSAN をクリアすると、この VSAN 上のポート バインド自動学習済みエントリがクリアされます。 • インターフェイスをクリアすると、この VSAN 上の指定されたインターフェイスのポート バインド自動学習済みエントリがクリアされます。
Interface	ポート バインド自動学習済みエントリをクリアする必要があるインターフェイスを指定します。

ポート セキュリティ構成データベース

フィールド	説明
Interface or fWWN	<p>指定したデバイスが FLOGI することができる、ローカル デバイス上のポートのアドレスを表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • fwwn の場合、値はローカル デバイス上のポートのファブリック WWN です。 • intfIndex の場合、ローカル デバイス上のポートはそのインターフェイスによって表されます。 • wildCard の場合、ワイルドカードエントリを表します。ワイルドカードは、ローカル デバイス上の任意のポートを表します。
Type	スイッチ ポートを特定するためのメカニズムです。
WWN	ログインデバイス アドレスを表します。

ポート セキュリティ アクティブ データベース

フィールド	説明
-------	----

Interface or fWWN	ローカル デバイス上のポートのアドレスです。
フィールド	説明
Type	スイッチ ポートを識別するメカニズム == fwwn : ローカル スイッチ ポートはファブリック WWN (fWWN) で識別されます。 == intfIndex : ローカル スイッチ ポートは intfIndex で識別されます。 == wildCard : ワイルドカード (ローカル デバイス上の任意のスイッチ ポート)。
WWN	ログイン デバイス アドレスを表します。
IsLearnt	このエントリが学習済みエントリかどうかを示します。

ポート セキュリティ データベースの相違点

フィールド	説明
CompareWith	<p>比較するデータベースを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • configDb - 構成データベースをこの VSAN/VLAN 上のアクティブ データベースと比較します。そのため、アクティブ データベースがリファレンス データベースとなり、差演算の結果はアクティブ データベースに対するものになります。 • activeDb - アクティブ データベースをこの VSAN/VLAN 上の構成データベースと比較します。そのため、コンフィギュレーション データベースがリファレンス データベースとなり、差演算の結果はコンフィギュレーション データベースに対するものになります。
VSANId	比較対象の VSAN の ID です。
Interface/fWWN	ローカル デバイス上のポートのアドレスです。
Type	<p>スイッチ ポートを特定するためのメカニズムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • fwwn - ローカル スイッチ ポートはファブリック WWN (fWWN) で識別されます。 • intfIndex - ローカル スイッチ ポートは ifIndex で識別されます。 • wildCard - ワイルドカード (ローカル デバイス上の任意のスイッチ ポート)。
WWN	ログイン デバイス アドレスを表します。
Reason	このエントリに関する、比較しているデータベース間の相違点の理由を示します。

ポート セキュリティ違反

フィールド	説明
-------	----

Interface	ログインが拒否されたローカルデバイス上のポートの fWWN です。
End Device	ローカルデバイスのポートのいずれかで FLOGI が拒否されたデバイスの pWWN です。
Or Switch	ローカルデバイスのポートのいずれかでエントリが拒否されたデバイスの sWWN です (デバイスがスイッチの場合)。
フィールド	説明
Time	ログインが拒否された時刻です。
Count	この特定の pWWN/nWWN または sWWN が、この特定のローカルインターフェイスでログインを拒否された回数です。

ポートセキュリティ統計情報

フィールド	説明
AllowedLogins	この VSAN/VLAN で許可された FLOGI 要求の数です。
DeniedLogins	この VSAN/VLAN で拒否された FLOGI 要求の数です。
Clear	Clear に設定すると、この VSAN/VLAN 上のポート バインド統計情報カウンタがクリアされます。

IPsec

フィールド	説明
[Interface]、 [CryptomapName]	管理対象エンティティのインターフェイスへ、クリプト マップ セットの バインディングを設定します。

イベント

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [Call Home 一般](#)
- [Call Home 宛先](#)
- [Call Home 電子メール セットアップ](#)
- [Call Home アラート](#)
- [Call Home HTTP プロキシ サーバ](#)
- [Call Home SMTP サーバ](#)
- [Call Home ユーザ定義コマンド](#)
- [遅延トラップ](#)
- [Call Home プロファイル](#)
- [イベント宛先アドレス](#)
- [イベント宛先セキュリティ \(詳細\)](#)
- [イベントフィルタ 一般](#)
- [イベントフィルタ インターフェイス](#)
- [イベント フィルタ制御](#)
- [リンク インシデント履歴](#)
- [RMON しきい値制御](#)
- [RMON しきい値 64 ビットアラーム](#)
- [RMON しきい値 32 ビットアラーム](#)
- [RMON しきい値イベント](#)
- [RMON しきい値ログ](#)

Call Home 一般

フィールド	説明
連絡先	このスイッチの連絡先担当者。この担当者への連絡方法に関する情報も含む。
PhoneNumber	連絡先担当者の電話番号。電話番号は、「+」で始まり、空白と「-」以外はすべて数字にする必要があります。+44 20 8332 9091、+45 44886556、+81-46-215-46 215-4678 +1-650-327-2600 などの電話番号が有効です。
EmailAddress	連絡先担当者の電子メールアドレス。 raj@helpme.com 、 bob@service.com 、 mtom@abc.caview.ca.us などの電子メールアドレスが有効です。

StreetAddress	このスイッチの送付先住所です。
フィールド	説明
CustomerId	お客様を識別するための任意の適切な形式の文字列です。
ContractId	お客様とサポート パートナーの間のサポート契約を識別するための任意の適切な形式の文字列です。
SiteId	このデバイスのロケーション ID です。
DeviceServicePriority	デバイスのサービス プライオリティです。これにより、デバイスにサービスが提供される速さが決定されます。
有効	ローカル デバイスで CallHome インフラストラクチャを有効または無効にします。

Call Home 宛先

フィールド	説明
ProfileName、ID	接続先プロファイル名と識別子。
Type	送信方式のタイプ。
EmailAddress	この接続先プロファイルに関連付けられる電子メールアドレス。 raj@helpme.com 、 bob@service.com 、 mtom@abc.caview.ca.us などになります。
Http Url	この宛先プロファイルに関連付けられた HTTP URL。

Call Home 電子メール セットアップ

フィールド	説明
From	SMTP を使用して電子メールを送信する際に、From フィールドに使用される電子メール アドレス。 raj@helpme.com 、 bob@service.com 、 mtom@abc.caview.ca.us などになります。
ReplyTo	SMTP を使用して電子メールを送信する際に、Reply-To フィールドに使用される電子メール アドレス。 raj@helpme.com 、 bob@service.com 、 mtom@abc.caview.ca.us などになります。
IP Address Type	IP アドレス タイプ (IPv4、IPv6、または DNS)。
Name or IP Address	SMTP サーバの名前または IP アドレス。
ポート	SMTP サーバの TCP ポート。

Call Home アラート

フィールド	説明
操作	Test : Call Home メッセージを送信します TestWithInventory : インベントリの詳細を示すメッセージを送信します。

ステータス	最後の callhome アクション呼び出しのステータス。
FailureCause	最後の callhome テスト呼び出しの失敗原因。
フィールド	説明
LastTimeSent	最後の CallHome アラートが送信された時刻。
NumberSent	送信された CallHome アラートの数。
Every	定期的なソフトウェア インベントリ Call Home メッセージを送信するためのタイム フレーム。
Throttling Enable	オンの場合、システムに実装されているメッセージ スロットリング メカニズムがイネーブルになり、一定のタイム フレーム内での特定のアラート タイプの callhome メッセージの数が制限されます。最大は 2 時間のタイム フレーム内で 30 件であり、それ以上のそのアラート タイプのメッセージは廃棄されます。
Enable	オンの場合、システム上での定期的なソフトウェア インベントリ callhome メッセージの送信がイネーブルになります。

Call Home HTTP プロキシ サーバー

フィールド	説明
Master	スイッチ名。
Address Type	HTTP プロキシ サーバー アドレスの値で表される HTTP プロキシ サーバーのタイプ。
Address	HTTP プロキシ サーバーのアドレス。
Port	HTTP プロキシ サーバーのポート。
Enable	HTTP 経由で callhome メッセージを送信するように構成された HTTP プロキシ サーバーの使用を有効または無効にします。

Call Home SMTP サーバー

フィールド	説明
Address Type、Address	SMTP サーバーの IP アドレス。
Port	SMTP サーバーの TCP ポート。
Priority	優先値

Call Home ユーザ定義コマンド

フィールド	説明
ユーザー 定義コマンド	callhome アラート グループ タイプのユーザー定義コマンドを構成します。

遅延トラップ

フィールド	説明
Enable	遅延トラップを有効または無効にします。
Delay	分単位の遅延時間（有効な値の範囲は 1 ～ 60）

Call Home プロファイル

フィールド	説明
MsgFormat	XML、フルテキスト、またはショートテキスト。
MaxMsgSize	この宛先プロファイルで示される宛先に送信可能な最大メッセージサイズ。
MsgLevel	しきい値レベル。宛先に送信されるアラートメッセージのフィルタリングに使用されます。設定されたしきい値レベルよりも低い重大度の Callhome アラートメッセージは送信されなくなります。デフォルトのしきい値レベルはデバッグ (1) です。この場合、すべてのアラートメッセージが送信されます。
AlertGroups	この接続先プロファイルに構成されているアラートグループのリスト。

イベント接続先アドレス

フィールド	説明
Address/Port	イベントを送信する IP アドレスとポート。
Security Name	このアドレスに送信されるメッセージを生成する際に使用される SNMP パラメータ。
Security Model	このエントリを使用して SNMP メッセージを生成する際に使用されます。
情報タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • Trap：未確認応答イベント • Inform：確認応答イベント
Inform Timeout	このアドレスとの通信に求められる最大ラウンドトリップ時間。
RetryCount	生成したメッセージに対する応答が受信されない場合に行われる再試行の回数。
Status	<ul style="list-style-type: none"> • Active-ポートはアクティブです。 • NotInService-ポートはサービス停止中です。

イベント接続先セキュリティ（詳細）

フィールド	説明
MPModel	このエントリを使用して SNMP メッセージを生成する際に使用されるメッセージ処理モデル。
SecurityModel	このエントリを使用して SNMP メッセージを生成する際に使用されるセキュリティモデル。

フィールド	説明
SecurityName	このエントリを使用して SN メッセージが生成される対象識別者を別します。
SecurityLevel	このエントリを使用して SNMP メッセージを生成する際に使用されるセキュリティレベル。

イベント フィルター一般

フィールド	説明
FSPF - Nbr State Changes	ローカル スイッチが VSAN 上のインターフェイスでネイバーの状態 (FSPF ネイバー有限状態マシンの状態) の変化を検出したときに通知を発行するかどうかを指定します。
Domain Mgr - ReConfig Fabrics	ローカル スイッチが VSAN 上での ReConfigureFabric (RCF) の送受信時に通知を発行するかどうかを指定します。
Zone Server - Request Rejects	Zone Server が拒否時に通知を発行するかどうかを指定します。
Zone Server - Merge Failures	Zone Server がマージ失敗時に通知を発行するかどうかを指定します。
Zone Server - Merge Successes	Zone Server がマージ成功時に通知を発行するかどうかを指定します。
Zone Server - Default Zone Behavior Change	伝播ポリシーが変化した場合にゾーン サーバが通知を発行するかどうかを指定します。
Zone Server - Unsupp Mode	ゾーン サーバが unsupp モードの変化時に通知を発行するかどうかを指定します。
FabricConfigServer - Request Rejects	ファブリック構成サーバーが拒否時に通知を発行するかどうかを指定します。
RSCN - ILS Request Rejects	SW_RSCN 要求が拒否されるときに RSCN モジュールが通知を生成するかどうかを指定します。
RSCN - ILS RxRequest Rejects	SW_RSCN 要求が拒否されるときに RSCN モジュールが通知を生成するかどうかを指定します。
RSCN - ELS Request Rejects	SCR または RSCN 要求が拒否されるときに RSCN モジュールが通知を生成するかどうかを指定します。
FRU Changes	false 値の場合、このシステムによって現場交換可能ユニット (FRU) の通知は生成されません。
SNMP - Community Auth Failure	SNMP エンティティが authenticationFailure トラップの生成を許可されているかどうかを示します。

VRRP	VRRP 対応ルータがこの MIB に定義されているイベントに対して SNMP トラップを生成するかどうかを示します。
FDMI	登録要求が拒否される時に FDMI が通知を生成するかどうかを指定します。
フィールド	説明
License Manager	システムが通知を生成するかどうかを示します。
Port/Fabric Security	ポート/ファブリック セキュリティの問題が発生したときにシステムが通知を生成するかどうかを指定します。
FCC	エージェントが通知を生成するかどうかを指定します。
Name Server	オンの場合、要求が拒否されたときにネーム サーバーが通知を生成しません。オフの場合、通知は生成されません。

イベント フィルタ インターフェイス

フィールド	説明
EnableLinkTrap	このインターフェイスに対して linkUp/linkDown トラップが生成されるかどうかを示します。

イベント フィルタ 制御

フィールド	説明
Variable	制御される通知を表します。
Descr	通知に関する説明。
Enabled	オンにすると、コントロールの通知がイネーブルになります。コントロールのステータスを表示します。



[説明 (Descr)] 列は、Cisco NX-OS リリース 5.0 以降が動作しているスイッチ上でのみ表示されます。

リンク インシデント履歴

フィールド	説明
Host Time	ホストのローカル時間。
Switch Time	スイッチのローカル時間。
Port	リンク インシデントのポート番号。
Interface	指定されたポートのファイバチャネルインターフェイス。
Link Incident	発生したインシデントのタイプ。

RMON しきい値制御

フィールド	説明
AlarmEnable	true の場合、RMON アラーム機能はイネーブルになります。RMON 機能をディセーブルにすると、RMON アラームに関連したポーリングはすべて停止されます。これは、RMON の CPU 使用率が悪影響を及ぼすことがないようにするために、RMON アラーム機能を一時的にディセーブルにする場合のみ使用します。この機能を永続的にディセーブルにする場合は、alarmTable 内のすべてのエントリを削除することが推奨されます。
MaxAlarms	alarmTable の最大許容エントリ数。

RMON しきい値 64 ビット アラーム

フィールド	説明
Interval	データを上昇しきい値および下限しきい値と比較するためのデータのサンプリング間隔の秒数。deltaValue サンプリングの場合、この変数を設定する際に注意が必要です。サンプリングされた変数が 1 つのサンプリング間隔において $2^{31} - 1$ を上回る幅で増減することがないように、間隔を十分短く設定する必要があります。
Variable	サンプリングされる変数です。INTEGER (INTEGER、Integer32、Counter32、Counter64、Gauge、または TimeTicks) の ASN.1 プリミティブ型になる変数のみがサンプリングされます。
SampleType	選択された変数のサンプリング方式、およびしきい値と比較される値の計算方式。この値が absoluteValue の場合、選択された変数の値は、サンプリング間隔の終了時にしきい値と直接比較されます。この値が deltaValue の場合、選択された変数の直前のサンプリング値が現在の値から減算され、その差がしきい値と比較されます。
Value	最後のサンプリング期間の統計値。たとえば、サンプルタイプが deltaValue の場合、この値は、その期間の開始時のサンプルと終了時のサンプルの差となります。サンプルタイプが absoluteValue の場合、この値は、その期間の終了時にサンプリングされた値となります。この値が、上昇しきい値および下限しきい値と比較されます。現在のサンプリング期間の値は、その期間が完了すると使用可能になり、次の期間が完了するまで使用できます。
StartupAlarm	このエントリが初めて有効に設定されたときに送信されるアラーム。
Rising Threshold	サンプリングされた統計値に対するしきい値。現在のサンプリング値がこのしきい値以上で、最後のサンプリング期間の値がこのしきい値未満であった場合、単一のイベントが生成されます。
Rising EventId	上昇しきい値を超えたときに使用される eventEntry の ID。

Falling Threshold	サンプリングされた統計値に対するしきい値。現在のサンプリング値がこのしきい値以下で、最後のサンプリング期間の値がこのしきい値を超えた場合、単一のイベントが生成されます。
フィールド	説明
Falling EventId	下限しきい値を下回ったときに使用される eventEntry の ID。このインデックスの値で識別される eventEntry は、そのインデックスと同じ値の eventIndex で識別されるものと同じです。eventTable 内に対応するエントリがない場合、関連付けは存在しません。特に、この値が N/A の場合、N/A は有効なイベント インデックスではないので、関連するイベントが生成されることはありません。
FailedAttempts	アラーム変数がポーリングされ（アクティブ状態）、応答が受信されなかった回数。
Owner	このエントリを設定したユーザの ID。

RMON しきい値 32 ビット アラーム

フィールド	説明
Interval	データを上昇しきい値および下限しきい値と比較するためのデータのサンプリング間隔の秒数。deltaValue サンプリングの場合、この変数を設定する際に注意が必要です。サンプリングされた変数が 1 つのサンプリング間隔において $2^{31} - 1$ を上回る幅で増減することがないように、間隔を十分短く設定する必要があります。
Variable	サンプリングされる変数です。INTEGER（INTEGER、Integer32、Counter32、Counter64、Gauge、または TimeTicks）の ASN.1 プリミティブ型になる変数のみがサンプリングされます。
SampleType	選択された変数のサンプリング方式、およびしきい値と比較される値の計算方式。
Value	最後のサンプリング期間の統計値。
StartupAlarm	このエントリが初めて有効に設定されたときに送信されるアラーム。
上昇しきい値	サンプリングされた統計値に対するしきい値。現在のサンプリング値がこのしきい値以上で、最後のサンプリング期間の値がこのしきい値未満であった場合、単一のイベントが生成されます。
Rising EventId	上昇しきい値を超えたときに使用される eventEntry の ID。
Falling Threshold	サンプリングされた統計値に対するしきい値。現在のサンプリング値がこのしきい値以下で、最後のサンプリング期間の値がこのしきい値を超えた場合、単一のイベントが生成されます。
Falling EventId	下限しきい値を下回ったときに使用される eventEntry の ID。
FailedAttempts	アラーム変数がポーリングされ（アクティブ状態）、応答が受信されなかった回数。
Owner	このエントリを設定したユーザの ID。

RMON しきい値イベント

フィールド	説明
Description	このイベント エントリを説明しているコメント。
Type	プローブがこのイベントに関して行う通知のタイプ。ログの場合、イベントごとにエントリがログ テーブルに作成されます。SNMP トラップの場合、SNMP トラップが 1 つ以上の管理ステーションに送信されます。
Community	コミュニティ ストリング。
LastTimeSent	このイベント エントリによりイベントが最後に送信された時刻。このエントリがイベントを 1 つも生成していない場合、この値は N/A になります。
Owner	このエントリを設定したエンティティ。このエントリに割り当てられたリソースを使用します。

RMON しきい値ログ

フィールド	説明
Time	このログ エントリが作成された時刻。
Description	このログ エントリをアクティブにしたイベントの説明。

Admin

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [設定のコピー](#)
- [フラッシュファイル](#)
- [コンパクトフラッシュ](#)
- [ライセンス機能](#)
- [ライセンス マネージャ キー](#)
- [ライセンス マネージャのインストール](#)
- [ライセンス マネージャの使用](#)
- [ポート ライセンス](#)
- [機能セット](#)
- [機能制御](#)
- [NTP サーバ \(NTP Servers\)](#)
- [NTP 全般](#)
- [実行中のプロセス](#)
- [起動/実行構成の表示](#)
- [EPLD バージョンを表示](#)
- [フラッシュ ファイルのコピー](#)
- [TAC Pac ファイルの生成](#)
- [技術サポートの表示](#)
- [イメージ バージョンの表示](#)
- [オンボード ログの表示](#)
- [一覧ビュー](#)
- [RLIR ERL](#)
- [優先ホスト](#)
- [優先経路 \(Preferred Path\)](#)
- [Edit iSCSI Advertised Interfaces](#)
- [DNS 全般](#)
- [\[DNS Servers\]](#)
- [Cisco Fabric Services \(CFS\) の機能](#)
- [Cisco Fabric Services \(CFS\) の IP マルチキャスト](#)
- [Cisco Fabric Service \(CFS\) IP 静的ピア](#)
- [Cisco Fabric Services \(CFS\) のリージョンごとの機能](#)

- Cisco Fabric Services (CFS) のすべてのリージョン
- Cisco Fabric Services (CFS) のオーナー
- Cisco Fabric Services (CFS) のマージ

構成のコピー

フィールド	説明
送信元	コピー元のファイルのタイプを指定します。
送信先	コピー先のファイルのタイプを指定します。
ServerAddress	構成ファイルのコピー元（またはコピー先）のサーバーの IP アドレス。
FileName	ファイルのファイル名（該当する場合はパスを含む）。
Protocol	コピーに使用されるプロトコル。
UserName	リモートユーザー名。
UserPassword	リモートユーザーのパスワード
CopyState	この構成コピー要求の状態を指定します。このオブジェクトの値は、行がインスタンス化された後にのみインスタンス化されます。たとえば、CopyEntryRowStatus がアクティブになった後です。
CopyFailCause	config-copy 操作が失敗した理由。このオブジェクトは、このエントリの CopyState が失敗状態になった場合にのみインスタンス化されます。

フラッシュファイル

フィールド	説明
Name	ファイル内でコピーしているユーザーが指定したフラッシュファイル名。
Size (B)	ファイルのサイズ（バイト単位）。このサイズには、ファイルシステムのファイルヘッダーのサイズが含まれていないことに注意してください。
Modified	ファイルの最終変更日時。

コンパクトフラッシュ

フィールド	説明
Device	デバイスの名前。
Partition	パーティションを参照するために使用されるフラッシュパーティション名。
Size	パーティションのサイズ。

ライセンス機能

フィールド	説明
Missing	ローカル システムに、この機能のライセンスを含む 1 つ以上のインストール済みライセンス ファイルがない場合、この機能の不足している使用ライセンスの数を示します。通常の状態では、値は 0 です。
Installed Type	demo、permanent、counted、unlicensed、inGracePeriod ライセンスの組み合わせ。
Installed Count	このライセンス機能の最大同時使用数。これは、この機能のライセンス情報を含む、インストールされているすべてのライセンス ファイルから取得した、この機能の累積ライセンス使用可能数です。
Status	このライセンスされた機能の現在の使用数を表します。
ExpiryDate	ライセンスされた機能の有効期限です。
GracePeriod	この機能の残りの猶予期間を表します (日/秒)。猶予期間は、ライセンスのない機能またはライセンスの期限が切れた機能の、実行が許可される時間です (秒単位)。
Errors	エラー (存在する場合)。
DefaultLicenses	デフォルトで含まれるこのライセンス機能の最大同時使用数。

ライセンス マネージャ キー

フィールド	説明
LastModified	ライセンス ファイルの内容が最後に変更された時刻を表します。
Feature	インストールされたライセンス ファイル名を指定します。
Version	ライセンス ファイルのバージョン番号。
Type	<ul style="list-style-type: none"> permanent : 永久ライセンスを示します。
Count	<ul style="list-style-type: none"> uncounted - この機能のカウントされないライセンス数を指定しました。 counted - このライセンス機能の同時使用の最大数を示します。

ライセンス マネージャのインストール

フィールド	説明
HostId	ローカル システムのライセンス ホスト ID が含まれます。このシステムのライセンスを要求するときに、ローカル システムを識別するために使用されます。
URI	インストール用にライセンス ファイルが選択されるローカル システム上の保存場所を表します。CISCO-CCO またはその他の方法 (CLI など) で入手したライセンス ファイルを、この場所にコピーしておく必要があります。たとえば、値は「bootflash:licfile1」のようになります。これは、「インストール」する前に有効な値に設定する必要があります。アンインストール操作の場合、値は関係ありません。

Target Filename	ライセンス ファイルのインストールに使用する名前、またはアンインストールするライセンス ファイルの名前を表します。
Status	<p>ライセンスのインストール/アンインストール操作のステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • success (1) - インストール/アンインストール操作が正常に完了しました。 • InProgress (2) - ライセンスのインストール/アンインストール操作が進行中です。 • corruptedLicenseFile (3) - ライセンス ファイルの内容が無効/破損しています。 • targetLicenseFileAlreadyExist (4) - ターゲット ライセンス ファイル名がすでに存在しています。 • invalidLicenseFileName (5) - ライセンス ファイルが存在しません。 • duplicateLicense (6) - ライセンス ファイルは既にインストールされています。 • licenseInUse (7) - 使用中のライセンス ファイルをアンインストールできません。 • generalLicensingFailure (8) - License Manager からの一般的なエラーです。 • none (9) - インストール/アンインストール操作は実行されません。 • licenseExpiryConflict(10) - 機能に対応した、有効期限の異なるライセンスが存在しています。 • invalidLicenseCount(11) - 機能に対応した、ライセンス数が無効です。 • notThisHost (12) - ライセンス ファイルのライセンス ホスト ID が一致しません。 • licenseInGraceMore(13) - 猶予期間内のライセンス数がインストール ライセンス ファイル内の値を超えています。 • licenseFileNotFound(14) - インストール、アンインストール、または更新処理用のライセンス ファイルが見つかりません。 • licenseFileMissing (15) - インストール済みライセンス ファイルがないことがわかりました。 • invalidLicenseFileExtension (16) - ライセンス ファイルに .lic 拡張子がありません。 • invalidURI (17) - インストール処理で指定したライセンス ファイル URI が無効です。 • noDemoLicenseSupport (18) - デモ ライセンスはサポートされていません。 • invalidPlatform (19) - 無効なプラットフォーム

ライセンス マネージャの使用状況

フィールド	説明
Name	機能をチェックアウトしたアプリケーションの名前を示します。
Application	機能をチェックアウトしたアプリケーション。

ポート ライセンス

フィールド	説明
Id	ローカル システムのライセンス ホスト ID を表示します。ライセンスを要求するときに、ローカル システムを識別するために使用されます。
Max	このライセンスの最大同時使用数。
Used	このライセンスされた機能の現在の使用数を表します。

機能セット

フィールド	説明
Name	機能制御セットの名前。
OpStatus	機能の現在の運用状況です。
Action	機能セットに対して実行されるアクション。
LastCommand	機能に対してトリガーされるアクション。
Result	機能セットに適用された最後のアクションの結果。

機能制御

フィールド	説明
Feature Name	機能の名前。
Status	機能の現在の運用状況です。
Action	機能を有効または無効にします。
LastCommand	機能の最後のアクションの結果。
Result	機能に対してトリガーされた最後のアクションの実行が失敗した理由の説明。

NTP サーバー

フィールド	説明
IP Address Type	ピアの IP アドレス タイプ (IPv4 または IPv6) 。
Name or IP Address	ピアの名前または IP アドレス。

フィールド	説明
Mode	ピア：このモードで動作しているホストは、ピアの到達可能性の状態や階層に関係なく、定期的にメッセージを送信します。このモードで動作することにより、ホスト（通常は LAN ワークステーション）は、ピアに基づいて同期される用意があることを通知しますが、ピアを同期させることはありません。サーバー：このタイプの関連付けは、通常、クライアント要求メッセージの到着時に作成され、その要求に応答するためにのみ存在します。その後、関連付けは解消されます。このモードで動作することにより、ホスト（通常は LAN タイム サーバー）は、ピアを同期させる用意があることを通知しますが、ピアに基づいて同期されることはありません。
Preferred	このピアが他のピアよりも優先されるかどうかを指定します。デフォルトでは、NTP は、ローカル システム上にあるピアで、時刻を同期するものを選択します。true の場合、NTP は、対応するピアを時刻の同期相手として選択します。複数のエントリが true の場合、NTP は最初に設定するエントリを選択します。

NTP 全般

フィールド	説明
LEAP	NTP 時間スケールへのうるう秒の挿入が間近に迫っていることを示す、2 ビット コードの警告です。
RootDelay	同期サブネットの起点にあるプライマリ リファレンス ソースへのラウンドトリップ遅延（秒単位）を示す符号付き固定小数点数。
RootDispersion	同期サブネットの起点にあるプライマリ リファレンス ソースとの最大誤差（秒単位）。

実行中のプロセス

フィールド	説明
Name	このプロセスに関連付けられた名前。名前が 32 文字を超える場合、最初の 31 文字に切り捨てられ、最後の文字として「*」が追加されます。これにより、プロセス名が切り捨てられていることを示します。
MemAllocated (B)	このプロセスがシステムから動的に割り当てられているすべてのメモリの合計。これには、すでにシステムに返されたメモリが含まれている場合があります。
CPU Time (us)	プロセスが使用した CPU 時間（ミリ秒）

起動時/実行中の構成の表示

フィールド	説明
Startup	スイッチの起動時構成を、指定されたファイル名で別のコンピュータにバックアップします。
Running	スイッチの実行構成を、指定されたファイル名で別のコンピュータにバックアップします。
TCP Timeout	タイムアウトする前に TCP 接続の確立を待機する時間の値（秒単位）。有効な値は 1 ～ 120 です。タイムアウトが発生すると、バックアップアクションは中止されます。
FileName	バックアップの詳細が保存されるファイルの名前を指定します。
Compress File	[ファイルを圧縮 (Compress File)] チェック ボックスをオンにして、バックアップログファイルを圧縮します。

EPLD のバージョンの表示

フィールド	説明
Image URI	イメージの URI。
Result	URI で指定されたイメージのバージョン。

Flash ファイルのコピー

フィールド	説明
Direction	ファイル転送の方向を指定します。
Protocol	コピーに使用するプロトコル。
ServerAddress	使用するサーバー アドレス。
RemoteUserName	FTP、SFTP、および SCP プロトコルのリモート ユーザー名。
RemotePassword	FTP、SFTP、または SCP で使用されるリモート ユーザーのパスワード。
Server File	コピー コマンドのタイプに応じて、フラッシュまたはサーバー上のサーバー ファイル名。必須。フラッシュからコピーする場合：ファイル名は [device>:][:] の形式で指定する必要があります。FlashDeviceName から取得した値、FlashPartitionName から取得した値、フラッシュ内のファイル名を使用します。xFTP プロトコルを使用してファイルをコピーする場合、サーバー ファイルの場所は xFTP ルート パスからの相対パスで指定しなければならないことがあります。 注 必要に応じて、ファイルパスを手動で変更する必要がある場合があります。
Switch File	スイッチのファイル名。フラッシュへのコピーの場合：ファイル名は form {device>:][:] の形式である必要があります。FlashDeviceName から取得した値、FlashPartitionName から取得した値、および埋め込まれたコロン文字のない任意の文字列を使用します。

TAC Pac ファイルの生成

Tac-Pac は .zip形式のファイルとしてダウンロードできます。

フィールド	説明
プロトコル	
TCP Timeout	タイムアウトする前に TCP 接続の確立を待機する値（分単位）。有効値は 1 ～ 60 です。タイムアウトは、バックアップアクションの打ち切りを導きます。
Management Interface	インターフェイスのタイプを選択します。次のオプションを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • デフォルト • vrf management • vrf default
ServerAddress	使用するサーバー アドレス。
UserName	リモート ユーザー名。
UserPassword	リモート ユーザーのパスワード
FileName	show tech support information がキャプチャされるファイルの名前。

技術サポートの表示

フィールド	説明
TCP Timeout	タイムアウトまでに CLI を待機する秒数。
FileName	show tech support information がキャプチャされるファイルの名前。
Compress File	テキスト ファイルを ZIP ファイルに圧縮するには、チェックボックスをオンにします。

イメージのバージョンの表示

フィールド	説明
Image URL	イメージの URL。
Result	指定された URL にあるイメージのバージョン。

導入準備ログの表示

フィールド	説明
Filter Log By	Module Number
シャーシに挿入されているカードのスロット番号。	Start Date
開始日時を指定します。	End Date

終了日時を指定します。	導入準備ログ出力をファイルにキャプチャ
フィールド	説明
TCP Timeout	ドロップダウン リストからタイムアウト間隔を指定します。
FileName	ログ ファイルの名前。
Compress File	ログ ファイルを圧縮するには、[ファイルの圧縮 (Compress File)] チェックボックスをオンにします。

概要ビュー

フィールド	説明
Description	ネットワーク マネージャによって指定されたインターフェイスのエイリアス名。ポート チャンネルと FCIP の場合、このフィールドは、メンバーが使用可能な場合は常にメンバーを表示します。FCIP の場合、圧縮されていれば、このフィールドには compress と表示されます。
VSAN(s)	VSAN メンバーシップ。
Mode	ポートの動作モード> (凡例を参照)。
Connected To	アタッチされたポート。これは、ホスト、ストレージ、またはスイッチポートである可能性があります。注：デバイス マネージャは、一度に 1 つのスイッチを接続して管理します。NPV スイッチ接続情報を持つスイッチがコア スイッチに保存されており、NPV スイッチを表示するように選択した場合、[接続先情報 (Connected To)] は表示されません。
Speed	最大帯域幅 (Gbps)
Rx	次のいずれかになります。使用率 % バイト数 フレーム数 平均フレーム サイズ
Tx	次のいずれかになります。使用率 % バイト数 フレーム数 平均フレーム サイズ
Errors	インターフェイス上の Rx および Tx エラーの総数。Rx エラーのタイプには、CRC エラー、フレームの分断化、サポートされていないクラス フレーム、Runt フレーム、Jabber フレーム、ジャイアント フレームなどがあります。Tx エラーのタイプは一般に CRC エラーですが、発生するのはまれです。[エラー (Errors)] フィールドが空でない場合は、Rx エラーが発生している可能性があります。エラー カウントの詳細な内訳については、適切なインターフェイスの [モニタ (Monitor)] ダイアログ ボックスを確認してください。
Discards	インターフェイスでの Rx と Tx の破棄の合計数。Rx フレームの破棄は、通常、プロトコル エラーが原因です。まれに、ハードウェア エラーなしでフレームが受信されたにもかかわらず、MAC アドレスに設定されているフィルタリング ルールの不一致により、フレームが破棄されることがあります。Tx フレームが破棄された場合には、タイムアウト フレーム破棄 (ポートがオフラインまたはアップしていない) か、スーパーバイザに返送されなかったタイムアウト フレーム (クラス F/2 フレーム) の可能性があります。[破棄 (Discards)] フィールドが空でない場

	合は、タイムアウト フレームが原因である可能性があります。
Log	オンにすると、ポーリング間隔ごとにレコードをメッセージログに書き込みます。

RLIR ERL

フィールド	説明
Vsan ID	ポートの VSAN 識別子。
FC ID	サブスクライブしている Nx_Port のファイバチャネル識別子。
フォーマット	Nx_Port が RLIR ELS を受信するデバイス タイプ。
RegType	サブスクライバの登録タイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ConditionalRx : VSAN 上の ERL からの他の受信者が選択されていない場合にのみ、Nx_Port はリンク インシデント レコードの受信者になります。 • AlwaysRx : Nx_Port は、常にリンク インシデント レコードの受信者として選択されます。

優先ホスト

フィールド	説明
Vsan ID	ポートの VSAN 識別子。
PreFcid	サブスクライブする Nx_Port の優先ファイバチャネル識別子。

優先経路 (Preferred Path)

フィールド	説明
Interface	一致した、または分類されたフレームが転送されるローカル デバイス上のインターフェイスを表します。
VSAN Id	この FC ルート マップの VSAN ID。この FC ルート マップ内のルート を識別する任意の整数値。優先レベル。優先パスのメトリックまたはコストを示します。数値が低いほど優先度が高くなります。
DestinationDomain	
FCID	フロー分類のソース アドレスと一致させる必要がある FC ID。
Description	
プライマリ ISL	
セカンダリ ISL	

iSCSI アドバタイズ インターフェイス の編集

フィールド	説明
Num	iSCSI ターゲットの数。
Interface	ターゲットをアドバタイズするインターフェイス。

DNS 全般

フィールド	説明
Enable	DNS 構成を有効または無効にします。
Domain Name	DNS サーバーが有効になっているドメインの名前。

DNS サーバー

DNS サーバー (DNS Servers)

フィールド	説明
IP Address	DNS サーバーの IP アドレス。

Cisco Fabric Services (CFS) の機能

フィールド	説明
Globally Enabled	このチェックボックスをオンにすると、このスイッチ上の CFS は機能の設定を他のスイッチに配信できるようになります。このチェックボックスをオフにすると、CFS は他のスイッチに設定を配信できなくなります。
Feature	CFS 対応機能の名前。
Status	CFS 対応機能のステータス。
Command	機能に対してトリガーされるアクション。アクションには次のものが含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• noop - 操作なし。• enable - スイッチでの CFS 配信を有効にします。• disable - スイッチでの CFS 配信を無効にします。• commit - セッション開始以降に行われた変更をコミットします。• abort - 行われた変更を破棄し、セッションを閉じます。• clear - 行われた変更を破棄しますが、セッションは閉じません。
Type	使用された最後の CFS 機能スコープタイプ。
VSAN Id	この機能が動作中の VSAN の ID。
RegionId	この CFS 対応機能がマッピングされている配信リージョン ID。このリージョンは、その使用よりも前に定義される必要があります。

フィールド	説明
View Config Changes As	変更が実行と保留のいずれであるかを決定します。保留構成は、その機能に対してコミットまたは中断のアクションがトリガーされるまで存在します。この値が [running] の場合、この機能の後続のすべての設定取得は、ローカル デバイス上の実行構成から行われます。この値が [pending] の場合、この機能の後続のすべての設定取得は、ローカル デバイス上の保留構成から行われます。
LastCommand	この機能に対して実行された最後のアクション。
Result	CFS 対応機能に対して実行されたアクションの結果。
Scope	このオブジェクトの値は、CFS インフラストラクチャに登録されている CFS 対応機能の属性を表します。 <ul style="list-style-type: none"> • fcFabric - 機能の CFS ベースの配信が FC (ファイバチャネル) ファブリック全体にわたることを示します。 • ipNetwork - 機能の CFS ベースの配信が IP ネットワーク全体にわたることを示します。 • vsanScope - 機能の CFS ベースの配信が VSAN 単位で行われ、FC (ファイバチャネル) ファブリック内の特定の VSAN に制限されることを示します。
PendingConfOwnerAddress	機能に対する保留コンフィギュレーションが存在する、ファブリック内のデバイスのアドレス。
所有者スイッチのロック	この範囲内の機能に対する保留構成が存在する、ファブリック内のデバイスのアドレス。
Lock Owner UserName	この範囲内の機能に対する保留構成が存在する、ファブリック内のデバイスの名前。
Merge Status	システムのスコープ タイプとスコープ値の組み合わせのコンテキスト内での、この機能の最後のファブリック マージの結果。結果は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Success : ファブリックのマージが正常に完了しました。 • InProgress : ファブリックのマージが進行中です。このステータスは、ファブリックの一部であるローカル デバイスが別のファブリックとのマージプロセスに関与している場合に発生することがあります。 • Failure : ファブリックのマージに失敗しました。 • Waiting : 競合が解消されている間、既存のマージが完了するのを待機しています。ファブリックの一部であるローカル デバイスが、ファブリック マージの新しいインスタンスを開始する前に、競合が解決されるのを待機している場合、このステータスが表示されることがあります。 • Other : ここに列挙した他のどの値にも該当しません。
Master	CFS マスター スイッチを選択します。

Cisco Fabric Services (CFS) の IP マルチキャスト

フィールド	説明
IP アドレスタイプ	IP アドレス タイプ (IPv4、IPv6、または DNS)。
Multicast Address Domain	CFS 配信が制限されるマルチキャスト アドレス ドメイン。IP で CFS 対応スイッチを検出するためにキープアライブ メッセージが送受信されるデフォルトのマルチキャスト アドレスが IPv4 と IPv6 の両方に存在します。同じマルチキャスト アドレスを持つすべてのスイッチが 1 つの CFS-over-IP ファブリックを構成します。IPv4 のデフォルトのマルチキャスト アドレスは 239.255.70.83 で、サポートされる範囲は 239.255.0.0 ~ 239.255.255.255 です。IPv6 のデフォルトのマルチキャスト アドレスは ff13::7743:4653 で、サポートされる範囲は [ff13::0000:0000 - ff13::ffff:ffff] です。
アクション	対応するタイプのインターネット アドレスを使用した配信について CFS で採用される現在の動作モードを指定します。このオブジェクトの値を [有効 (enable)] に設定すると、CFS は、対応するタイプのインターネット アドレスを使用してファブリック経由でアプリケーションデータを配信する機能を有効化します。このオブジェクトの値を [無効 (disable)] に設定すると、CFS は、対応するタイプのインターネット アドレスを使用してファブリック経由でデータを配信する機能を無効化します。

Cisco Fabric Service (CFS) IP 静的ピア

フィールド	説明
IP Static Peer	配布対象の CFS ピア デバイスのアドレスを指定します。
DiscStatus	CFS 配信を目的としたユーザー定義のピア デバイスを指定します。

Cisco Fabric Services (CFS) のリージョンごとの機能

フィールド	説明
機能	配信リージョン内の CFS 対応機能の名前を特定します。
RegionId	CFS 配信リージョンを特定します。

Cisco Fabric Services (CFS) のすべてのリージョン

フィールド	説明
RegionId	CFS 配信リージョンを特定します。

Cisco Fabric Services (CFS) のオーナー

フィールド	説明
Feature, VSAN	CFS 対応機能の名前、およびその機能のイネーブル化やコミットが行われる VSAN。
Name or IP Address	機能の有効化やコミットが行われるスイッチの名前または IP アドレス。
UserName	機能の有効化またはコミットを実行したユーザーの名前。
Type	使用された最後の CFS 機能スコープ タイプ。

Cisco Fabric Services (CFS) のマージ

フィールド	説明
Feature	CFS 対応機能の名前。
CFS Merge Status Value	最後に行われたファブリック マージの結果。

Logs

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [SysLog \(リブート以降\)](#)
- [SysLog \(重大なイベント\)](#)
- [アカウントिंग ログ](#)
- [スイッチのロギング](#)
- [Syslog 重大度レベル](#)
- [Syslogサーバ](#)

SysLog (リブート以降)



最新のログを表示するには、ログ ダイアログを閉じて起動してください。「更新」オプションは、ページごとのダイアログでは使用できません。

フィールド	説明
Switch Time	スイッチのローカル時間。
Facility	メッセージを生成したファシリティの名前。
Severity	メッセージの重大度
Event	ログに記録されているイベントの名前
VSAN Id	イベントが発生した VSAN。
Host Time	ホストのローカル時間。
Description	ログに記録されているイベントの説明。

SysLog (重大なイベント)

フィールド	説明
Switch Time	スイッチのローカル時間。
Facility	メッセージを生成したファシリティの名前。
Severity	メッセージの重大度。
Event	ログに記録されているイベントの名前
VSAN Id	イベントが発生した VSAN。
Host Time	ホストのローカル時間。
Description	ログに記録されているイベントの説明。

アカウントイング ログ



最新のログを表示するには、ログ ダイアログを閉じて起動してください。「更新」オプションは、ページごとのダイアログでは使用できません。

フィールド	説明
スイッチ時間	スイッチのローカル時間。
Action	発生したアクション（開始、停止、または更新）。
Protocol & Source	送信元スイッチのプロトコルと IP アドレス。
User	ユーザーの名前。
Description	該当する場合、アクションの説明。

スイッチ ロギング

フィールド	説明
ConsoleEnable	Syslog メッセージがコンソールに送られたかどうかを示します。
ConsoleMsgSeverity	コンソールに送信するメッセージの最小重大度。
TerminalEnable	Syslog メッセージがターミナルに送られたかどうかを示します。
TerminalMsgSeverity	ターミナルに送信するメッセージの最小重大度。
LinecardEnable	Syslog メッセージがライン カードで生成されたかどうかを示します。
LinecardMsgSeverity	ラインカードから送信されるメッセージの最小重大度。
LogFileMsgSeverity	ログ ファイルに送信するメッセージの最小重大度。
SyslogLogFileName	Syslog メッセージがログ記録されるファイルの名前。

Syslog の重大度レベル

フィールド	説明
Facility	メッセージを生成するバッチ処理。
Severity	Syslog メッセージ ファシリティにより生成されるメッセージの最小重大度。

Syslog サーバー

フィールド	説明
IPAddress Type	IP アドレス タイプ（IPv4、IPv6、または DNS）。
Name or IP Address	Syslog サーバーのアドレス。
MsgSeverity	この Syslog サーバーに送信するメッセージの最小重大度。

フィールド	説明
Facility	Syslog メッセージをこのサーバーを送信するときに使用されるファシリティ。

エンドデバイス - ホスト

フィールド	説明
Host Enclosure	ホスト エンクロージャの名前
Name	VMware の名前
IP Address	VMware の IP アドレス
CPU Count	VMware の CPU 数
Memory Size	VMware のメモリ サイズ
Status	VMware の現在のステータス。
OS	VMwareのOS。
Data Store	VMware データストアの名前。
Last Update Time	DCNM-SAN サーバーが VMware を最後に更新した時刻。

インテリジェント機能 - サマリ

フィールド	説明
Switch	スイッチの IP アドレス。
Module	モジュールの名前。
Name	スイッチ名。
IOA	IOA 機能が有効になっている場合、有効と表示されます。この機能が無効になっている場合、フィールドは空白になります。
DMM	DMM 機能が有効になっている場合、有効と表示されます。この機能が無効になっている場合、フィールドは空白になります。
SANTap	SANTap 機能が有効になっている場合、有効と表示されます。この機能が無効になっている場合、フィールドは空白になります。

Data Mobility Manager – モジュール

フィールド	ジョブ行の説明	セッション行の説明
Name	ジョブの名前。	このフィールドは空白になります。
ID	ジョブにシステムが割り当てた一意の識別子。 unique	ジョブ内のセッション番号。
Mode	サーバーモードまたはストレージモード。	このフィールドは空白になります。
Existing Storage	既存ストレージのポートのエイリアス名。	既存のストレージの LUN 番号。
New Storage	新しいストレージのポートのエイリアス名。	新しいストレージの LUN 番号
Status	ジョブのステータス。作成またはスケジュールされたジョブはまだ開始されていません。進行中のジョブは現在移行中です。完了または検証済みのジョブは正常に終了しました。停止、失敗、またはリセットされたジョブは正常に終了しませんでした。	セッションのステータス。
Time	ジョブを開始するようにスケジュールされた日時。ジョブがスケジュールされていない場合、このフィールドは空白です。ジョブが進行中の場合、このフィールドにはジョブが開始された日時が表示されます。	セッションが進行中の場合、このフィールドには、セッションが完了するまでの推定残り時間が表示されます。それ以外の場合、フィールドは空白です。
SSM1	移行ジョブを実行している SSM のスイッチ番号とスロット。	セッションが SSM 1 で実行されている場合は、 On SSM 1 と表示されます。
SSM2	移行ジョブを実行している SSM のスイッチ番号とスロット。	セッションが SSM 2 で実行されている場合は、 On SSM 2 と表示されます。
Type	オンラインまたはオフラインの移行。	このフィールドは空白になります。
Rate	ベスト エフォート、低速、中速、高速。移行ジョブを構成するときにレートを設定します。	このフィールドは空白になります。

ストレージメディア暗号化

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [メンバー](#)
- [インターフェイス](#)
- [ホスト](#)

メンバー

フィールド	説明
Cluster	SME クラスタ名。
State	SME クラスタの動作状態。
Master	SME クラスタ マスターの IP アドレスを識別します。
Members	SME クラスタのメンバーであるスイッチの IP アドレスを識別します。
IsLocal?	スイッチがこのクラスタのローカルメンバーかリモートメンバーかを識別します。

インターフェイス

フィールド	説明
Cluster	この SME インターフェイスが属するクラスタを識別します。
Interfaces	SME インターフェイスを識別します。
State	SME インターフェイスの動作状態。

ホスト

フィールド	説明
Host	ホスト Nx_Port のファイバチャネル ポート名 (P_WWN)。
Cluster	このホスト ポートが属するクラスタを識別します。

SSM の機能

次のセクションは、これらのエリアでさらに詳しく説明します。

- [概要 \(Summary\)](#)
- [FCWA](#)
- [SSM](#)
- [MSM](#)
- [SANTap CVT](#)
- [SANTap DVT](#)
- [NASB](#)
- [NASB ターゲット](#)
- [仮想イニシエータ](#)
- [DMM レート](#)
- [FCWA Config Status](#)
- [統計ステータス](#)
- [統計 I/O トラフィック](#)
- [統計 I/O トラフィックの詳細](#)
- [統計 SCSI コマンド](#)
- [統計 SCSI エラー](#)
- [統計 SCSI センス エラー](#)
- [コンパクト](#)

サマリー

フィールド	説明
Switch	インテリジェント モジュールのスイッチの名前。
Module	インテリジェント モジュールのロット番号。
Name	インテリジェント モジュールの名前。
IOA	インテリジェント モジュールの IOA 状態。
DMM	インテリジェント モジュールの DMM 状態。
SANTap	インテリジェント モジュールの SANTap 状態。
SE	インテリジェント モジュールの SE 状態。

FCWA

フィールド	説明
フローID	フロー ID を表します。
Init WWN	フロー内の発信側の pWWN を表します。
Init VSAN	フローが設定されている発信側の VSAN ID です。
Target WWN	フロー内のターゲットの pWWN を表します。
TargetVSAN	フローが設定されているターゲットの VSAN ID です。
WriteAcc	このフローに対して書き込みアクセラレーション機能がイネーブルになっているかどうかを指定します。true に設定すると、イネーブルになります。false に設定すると、ディセーブルになります。
BufCount	書き込みアクセラレーションに使用するバッファ数を指定します。
Stats Enable	このフローに対する統計情報収集をイネーブルにする必要があるかどうかを指定します。true に設定すると、イネーブルになります。false に設定すると、ディセーブルになります。
Stats Clear	このフローの統計情報のクリアを支援します。
Init Verification	SCSI フローに対応する発信側デバイスの検証ステータスです。
Init Module	SCSI フローの発信側デバイスがあるラインカードのステータスです。
Target Verification	SCSI フローに対応するターゲット デバイスの検証ステータスです。
Target Module	SCSI フローのターゲット デバイスがあるラインカードのステータスです。

SSM

フィールド	説明
StartPort、 EndPort 、 Feature	インターフェイスの機能関連情報を含んでいるテーブルです。このテーブルには、さまざまな機能に割り当てられているインターフェイスのリストがあります。サポートされているインターフェイスは、ファイバチャンネルのタイプです。
PartnerImageURI	SSM 機能からインターフェイス マッピングに関連しているオブジェクトのコレクションです。

MSM

フィールド	説明
Switch	MSM モジュールのスイッチの名前。
Module、 StartNode 、 EndNode、 Feature	MSM モジュール番号、さまざまな機能に割り当てられるノード範囲など、機能に関連する情報を含むテーブル。



MSM (マルチサービス モジュール) と SSM (サービス モジュール) の違いは、SSM がカードのポート範囲ごとに機能を有効にできることです。MSM の場合、カード全体で有効にする必要があります。

SANTap CVT

フィールド	説明
Node WWN	モジュール上で作成された CVT のノード ワールド ワイド名を表します。
Port WWN	モジュールで作成された CVT のポート ワールド ワイド名を表します。
Name	この CVT に管理上割り当てられた名前。

SANTap DVT

フィールド	説明
VSAN Id、Port WWN	作成された DVT のポート ワールド ワイド名を表します。これは、データが複製される実際のターゲットのポート ワールド ワイド名と同じになります。
Interface	DVT が作成されるモジュールのポートを表します。
Target VSAN Id	この DVT が作成されている実際のターゲットの VSAN を表します。
Name	この DVT に管理上割り当てられた名前。
LUNSize Handling	DVT が仮想 LUN の実際のターゲット LUN サイズを使用するか、それともサポートされる最大 LUN サイズである 2TB を使用するかを示します。
IO Timeout (sec)	DVT に関連付けられた IO タイムアウト値を表します。このオブジェクトは、DVT の作成時に設定する必要があるため、後で変更することはできません。
Target IO Timeout (sec)	DVT に関連付けられたターゲット IO タイムアウト値を表します。

NASB

フィールド	説明
Control	TPC ターゲットによって公開される LUN のデバイス タイプを指定します。値 1 は、デバイス タイプをデフォルト値のディスクに設定します。値 2 は、デバイス タイプをストレージ アレイ コントローラに設定します。その他の値は、将来の変更のために予約されています。
Multiple	TPC ターゲットが単一の LUN または複数の LUN モードで動作しているかどうかを指定します。値 1 は、単一の LUN であるデフォルトのモードを設定します。値 2 は、TPC ターゲットが 10 の LUN を公開するマルチ LUN モードを設定します。

NASB ターゲット

フィールド	説明
-------	----

Module、 VSAN Id、 Processor Id	TPC ターゲットに関連付けられた一意の ID 番号。この ID 番号は、TPC ターゲットが構成されている VSAN 内で一意です。
フィールド	説明
Virtual Target Node WWN	TPC ターゲットのノードのワールドワイド名。
Virtual Target Port WWN	TPC ターゲットのポートのワールドワイド名。
ステータス	TPC ターゲットの現在の状態。
XCOPY Num	このターゲットが構成されているモジュールがオンラインになってから、TPC ターゲットによって処理された xcopy コマンドの総数。
XCOPY MinData (KB)	このターゲットが構成されているモジュールがオンラインになってから、単一の xcopy コマンドで TPC ターゲットによって転送されたキロバイト単位の最小データ量。
XCOPY MaxData (KB)	このターゲットが構成されているモジュールがオンラインになってから、単一の xcopy コマンドで TPC ターゲットによって転送されたキロバイト単位の最大データ量。
XCOPY Avgthruput (KBps)	xcopy コマンドを処理する際の TPC ターゲットの 1 秒あたりの平均キロバイトスループット。

仮想イニシエータ

フィールド	説明
Processor Id	DPP ID です。
Control	false の場合はデータ パスです。true の場合はコントロール パスです。

DMM レート

フィールド	説明
Fast(MBps)	特定モジュールの高速属性の移行率の値を指定します。
Medium(MBps)	特定モジュールの中速属性の移行率の値を指定します。
Slow(MBps)	特定モジュールの低速属性の移行率の値を指定します。

FCWA Config Status

フィールド	説明
-------	----

Overall	このフローに対する書き込みアクセラレーション機能の設定ステータスです。
Initiator	このフローに対する書き込みアクセラレーション機能の発信側の設定ステータスです。
フィールド	説明
Target	このフローに対する書き込みアクセラレーション機能のターゲットの設定ステータスです。

統計のステータス

フィールド	説明
Overall	このフローに対する統計機能の構成ステータスです。
Initiator	このフローに対する統計機能のイニシエータ構成ステータスです。
Target	このフローに対する統計機能のターゲット構成ステータスです。

統計 I/O トラフィック

フィールド	説明
IOs Read	このフローでのこの LUN に対する SCSI 読み取り操作の総数。
IOs Write	このフローでのこの LUN に対する SCSI 書き込み操作の総数。
Blocks Read	このフローでこの LUN で読み取られたブロックの総数。
Blocks Write	このフローでこの LUN に書き込まれたブロックの総数。
Bytes Rx	このフローのこの LUN のリンク レベル フレームで受信されたオクテットの総数。
Bytes Tx	このフローのこの LUN のリンク レベル フレームで送信されたオクテットの総数。
Frames Rx	このフローのこの LUN で受信されたリンク レベル FC フレームの総数。
Frames Tx	このフローのこの LUN で送信されたリンク レベル フレームの総数。

統計 I/O トラフィックの詳細

フィールド	説明
Timeouts Read	このフローのこの LUN でタイムアウトした SCSI 読み取り操作の総数。
Timeouts Write	このフローのこの LUN でタイムアウトした SCSI 書き込み操作の総数。

MaxBlocks Read	このフローのこの LUN のすべての読み取り操作で読み取られたブロックの最大数。
MaxBlocks Write	このフローのこの LUN で書き込んだブロックの総数。
フィールド	説明
MaxTime Read	このフローのこの LUN のすべての読み取り操作に対する最大応答時間。
MaxTime Write	このフローのこの LUN に対するすべての書き込み操作に対する最大応答時間。
MinTime Read	このフローのこの LUN のすべての読み取り操作に対する最小応答時間。
MaxTime Write	このフローのこの LUN に対するすべての書き込み操作に対する最小応答時間。
Active Read	このフローのこの LUN で現在アクティブな読み取り操作の数。
Active Write	このフローのこの LUN で現在アクティブな書き込み操作の数。

統計 SCSI コマンド

フィールド	説明
TestUnitRdys	このフローのこの LUN で送信されたテストユニット準備完了 SCSI コマンドの数。
RepLuns	このフローのこの LUN で送信されたレポート LUN SCSI コマンドの数。
Inquirys	このフローのこの LUN で送信された SCSI 照会コマンドの数。
RdCapacitys	このフローのこの LUN で送信された容量読み取り SCSI コマンドの数。
ModeSenses	このフローのこの LUN で送信されたモードセンス SCSI コマンドの数。
ReqSenses	このフローの LUN で送信されたリクエストセンス SCSI コマンドの数。

統計 SCSI エラー

フィールド	説明
BusyStatuses	このフローのこの LUN で受信したビジー状態の SCSI ステータスの数。
StatusResvConf	このフローのこの LUN で受信した予約競合の SCSI ステータスの数。
TskSetFulStatuses	このフローのこの LUN で受信したタスクセットの完全な SCSI ステータスの数。
AcaActiveStatuses	このフローのこの LUN で受信した ACA アクティブ ステータスの数。

統計 SCSI 検知エラー

フィールド	説明
NotRdyErrs	このフローのこの LUN で受信した NOT READY SCSI SENSE キー エラーの数。これは、アドレス指定されている論理ユニットにアクセスできないことを示しています。
MedErrs	このフローのこの LUN で受信した MEDIUM ERROR SCSI SENSE キー エラーの数。これは、メディアの欠陥が原因である可能性がある、回復されないエラー状態のため、コマンドが終了したことを示しています。
HwErrs	このフローのこの LUN で受信した HARDWARE ERROR SCSI SENSE キー エラーの数。これは、ターゲットが回復不能なハードウェア障害を検出したことを示しています。
IllReqErrs	このフローのこの LUN で受信した ILLEGAL REQUEST SCSI SENSE キー エラーの数。
UnitAttErrs	このフローのこの LUN で受信した UNIT ATTENTION SCSI SENSE キー エラーの数。
DatProtErrs	このフローのこの LUN で受信した DATA PROTECT SCSI SENSE キー エラーの数。
BlankErrs	このフローのこの LUN で受信した BLANK CHECK SCSI SENSE キー エラーの数。
CpAbtrErrs	このフローのこの LUN で受信した COPY ABORTED SCSI SENSE キー エラーの数。
AbtrCmdErrs	このフローのこの LUN で受信した ABORTED COMMAND SCSI SENSE キー エラーの数。
VolFlowErrs	このフローのこの LUN で受信した VOLUME OVERFLOW SCSI SENSE キー エラーの数。
MiscmpErrs	このフローのこの LUN で受信した VOLUME OVERFLOW SCSI SENSE キー エラーの数。

コンパクト

フィールド	説明
Device	これは、フラッシュ デバイスのシーケンス番号で、初期化されたフラッシュ デバイスのテーブル内でインデックスを作成するために使用されます。最小値は 1 である必要があります。最大値は、 <code>ciscoFlashDevicesSupported</code> オブジェクトの値以下である必要があります

フィールド	説明
Partition	<p>これは、システムによってパーティションを参照するために使用される、フラッシュのパーティション名です。これは、AAAAAAAAnn の形式の任意の英数字文字列です。ここで A は任意に選べる英字を、n は数字を表しています。数字は常に文字列の末尾部分に置く必要があります。システムは、数値部分のみを使用してパーティション インデックスにマップします。フラッシュの操作では、この名前に基づいてデバイスのパーティションが選択されます。システムには、デフォルト パーティションの概念があります。これは、デバイスの最初のパーティションです。パーティション名が指定されていない場合、システムはデフォルトのパーティションを操作します。したがって、パーティション名は、操作をデフォルトのパーティションで実行する場合、またはデバイスに 1 つのパーティションしかない（パーティション分割されていない）場合を除き、必須です。</p>
Size	<p>これは、フラッシュ パーティションのサイズです。ciscoFlashDeviceMinPartitionSize の整数倍である必要があります。パーティションが 1 つだけである場合、このサイズは ciscoFlashDeviceSize に等しくなります。</p>

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco および Cisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標の一覧については、<http://www.cisco.com/go/trademarks> を参照してください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.